

曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (6) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-D1 [H-, V+] において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.69$ s)

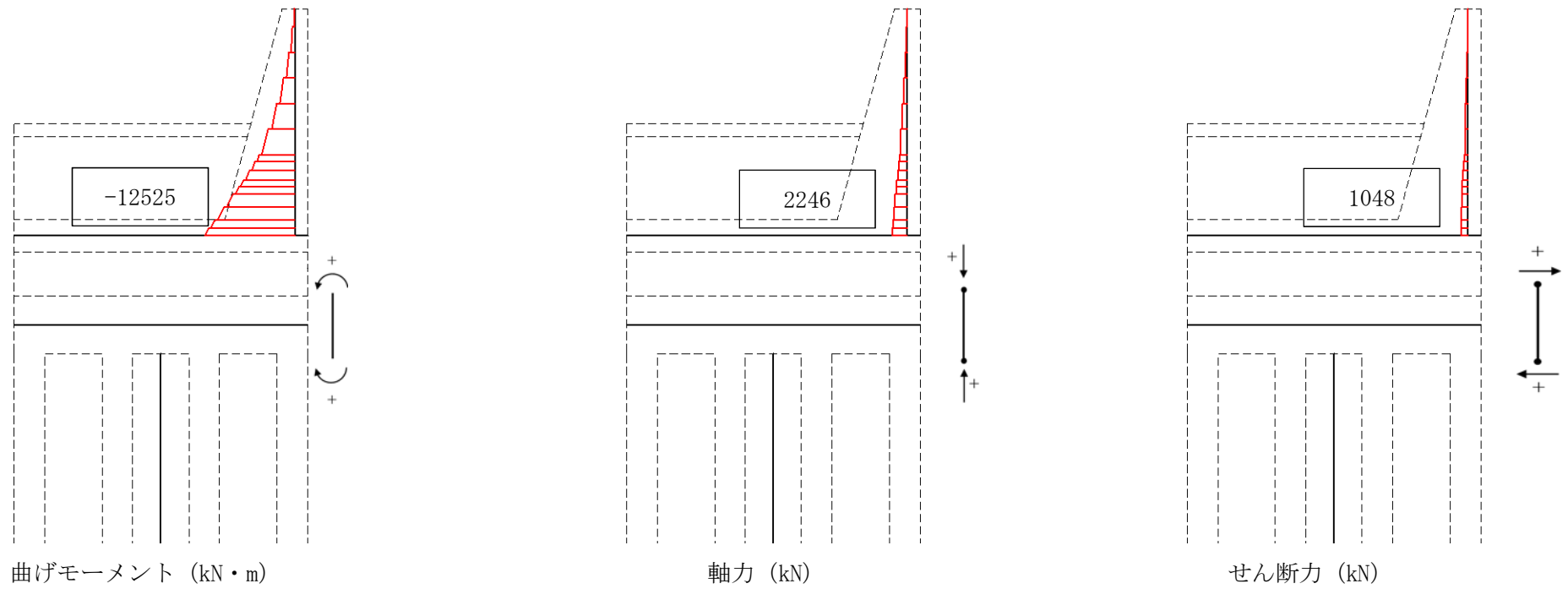
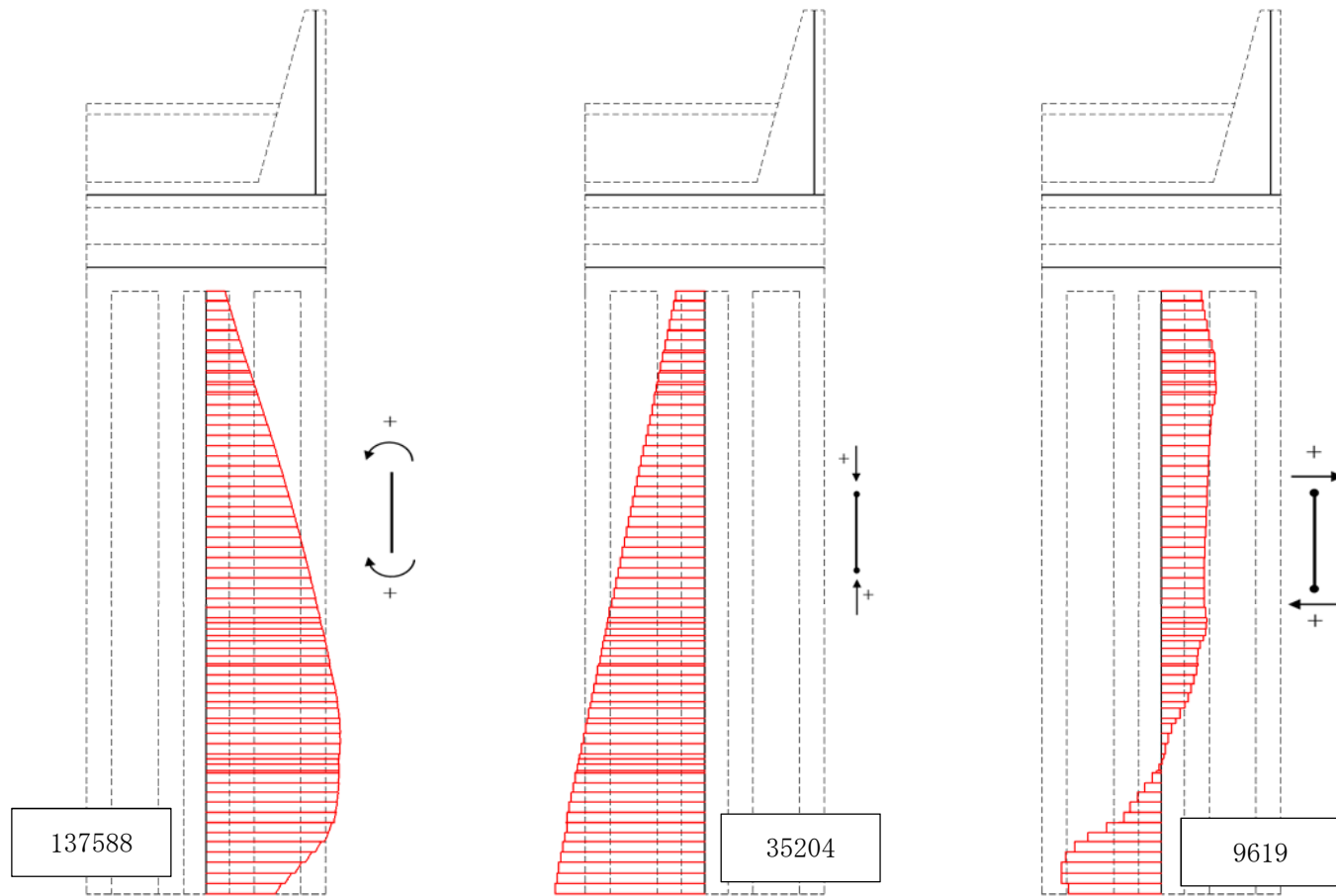


図 5.1-8 (7) 防潮壁横断方向 (上部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.95$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (8) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.70$ s)

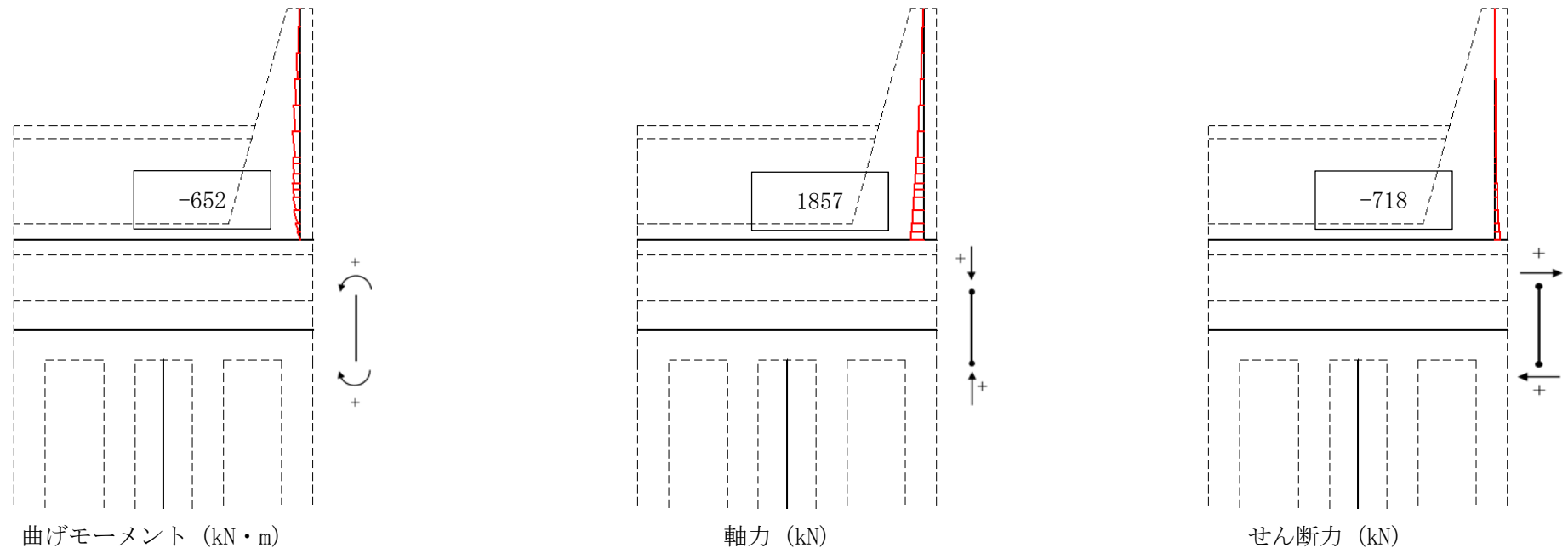


図 5.1-8 (9) 防潮壁横断方向 (上部構造) の S_s-11 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=23.68$ s)

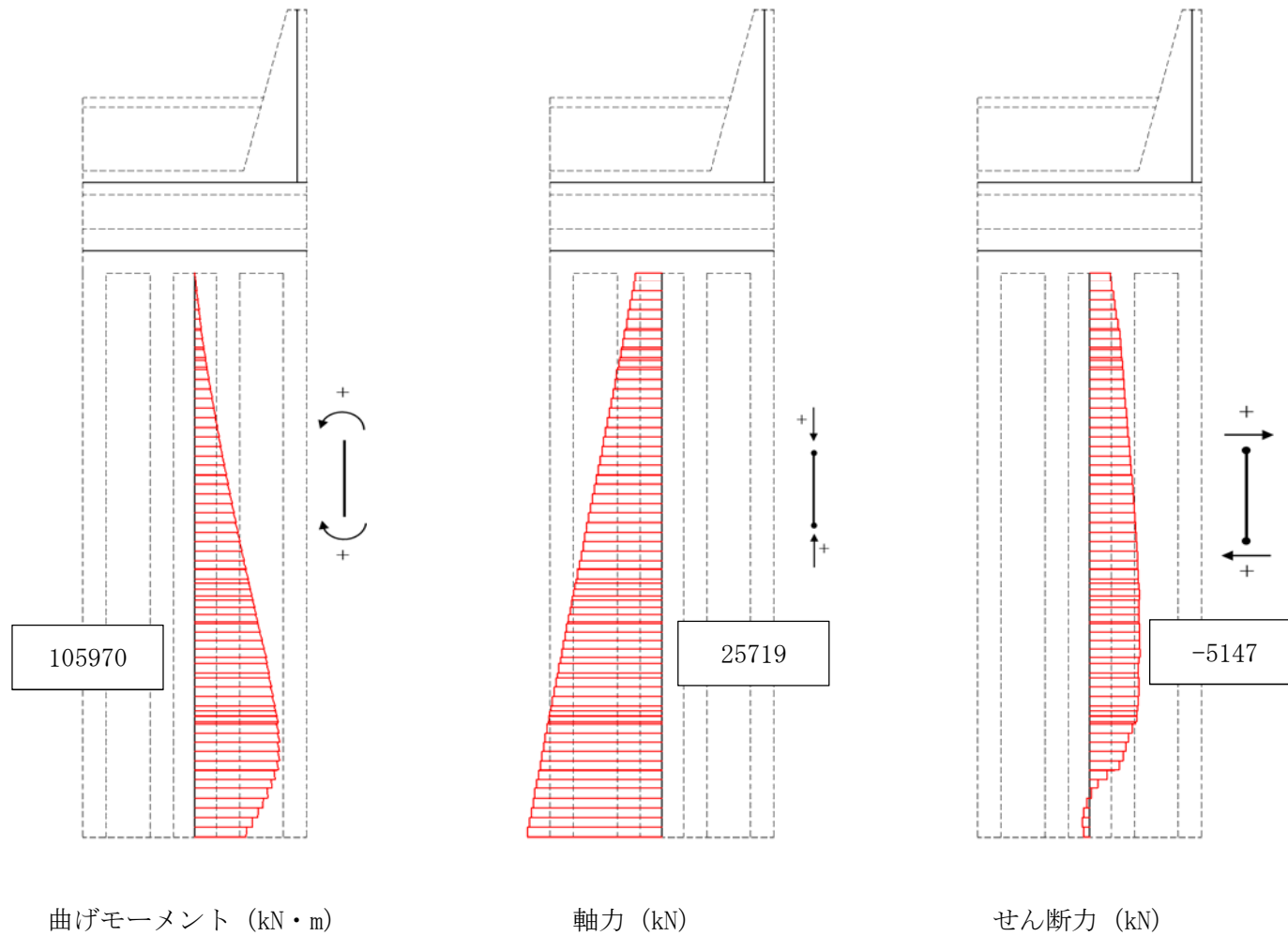


図 5.1-8 (10) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-11 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=69.51$ s)

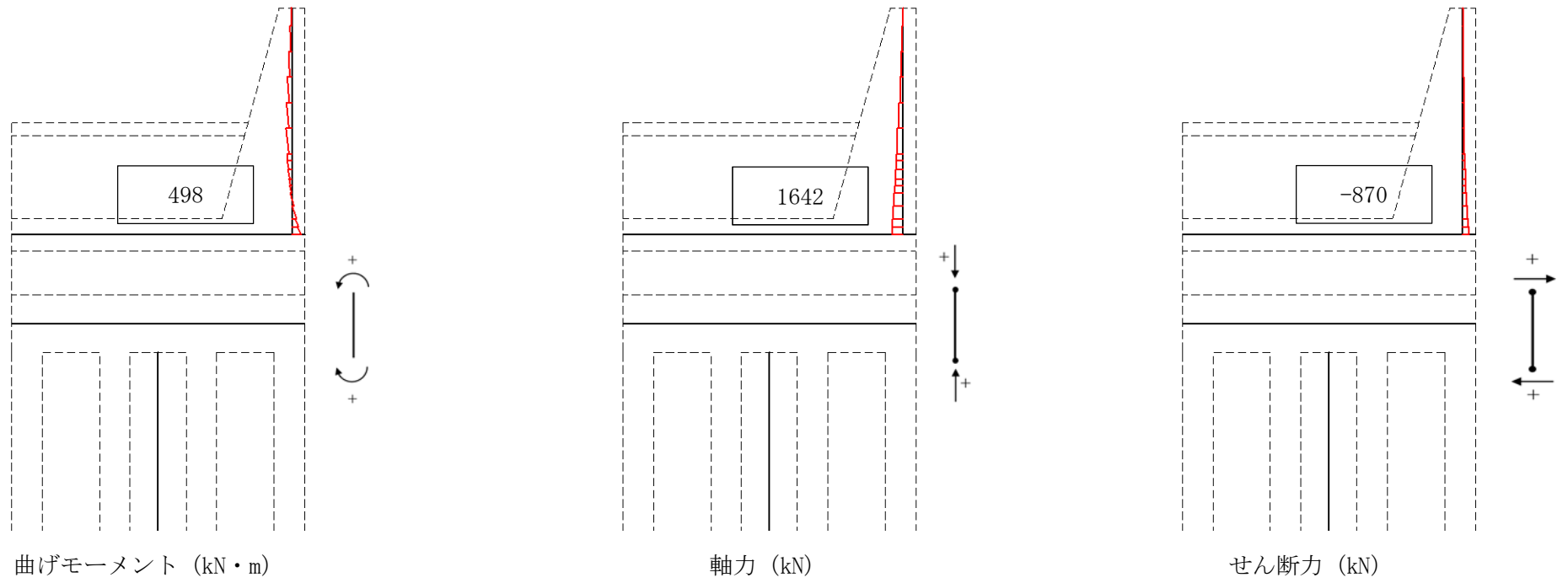
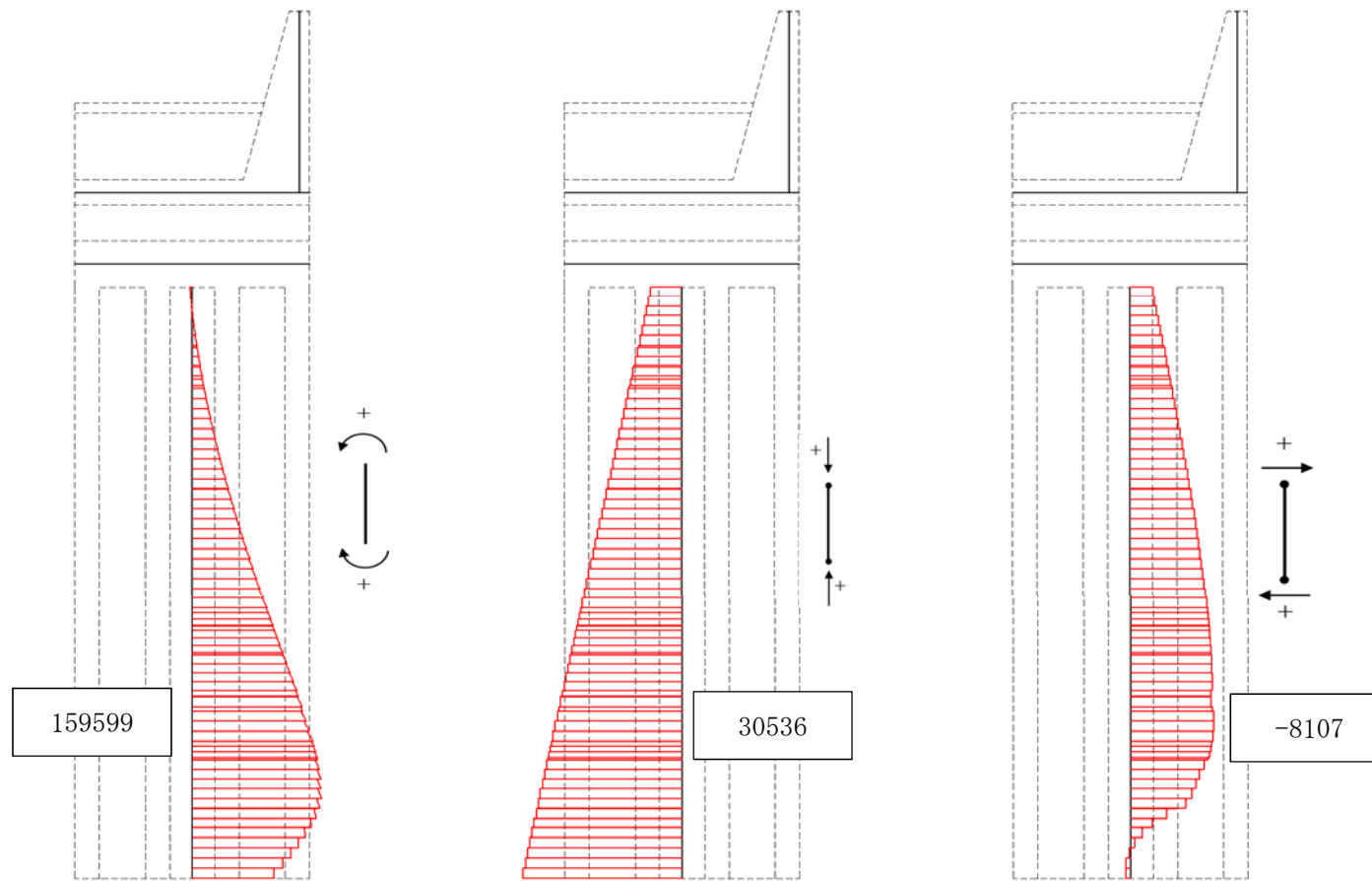


図 5.1-8 (11) 防潮壁横断方向 (上部構造) の S_s-12 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=28.96$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (12) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-12 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=28.86$ s)

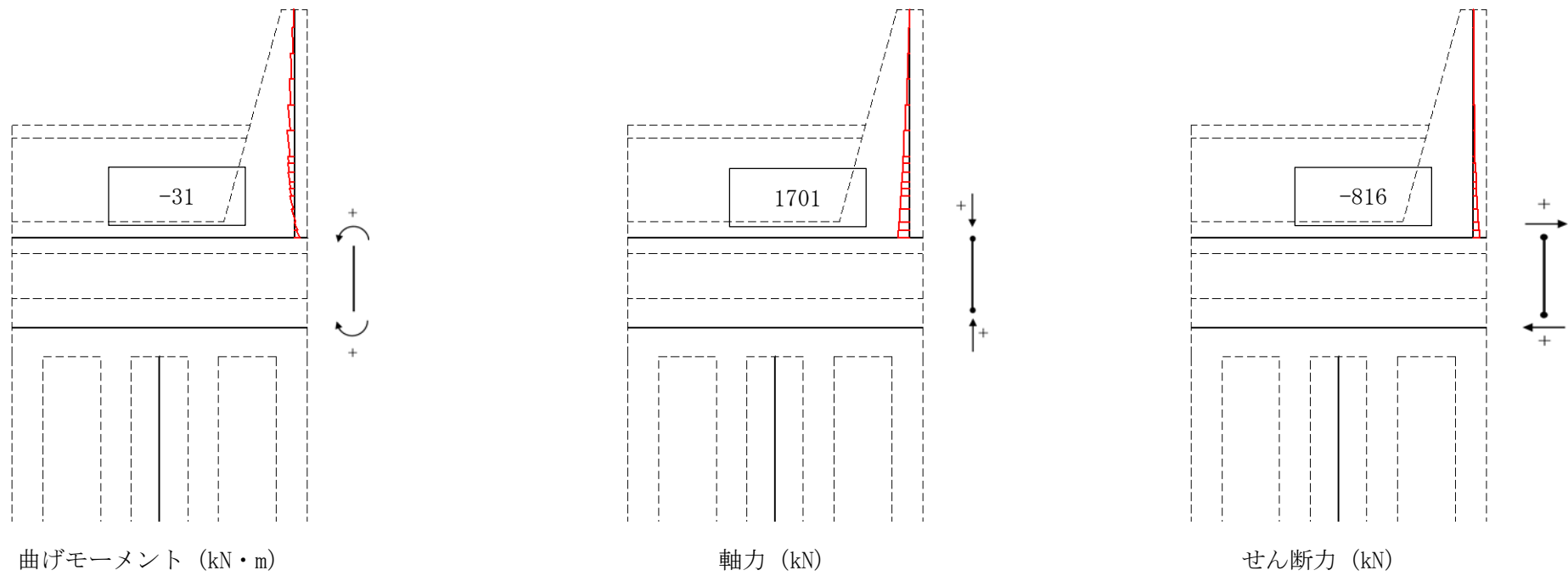
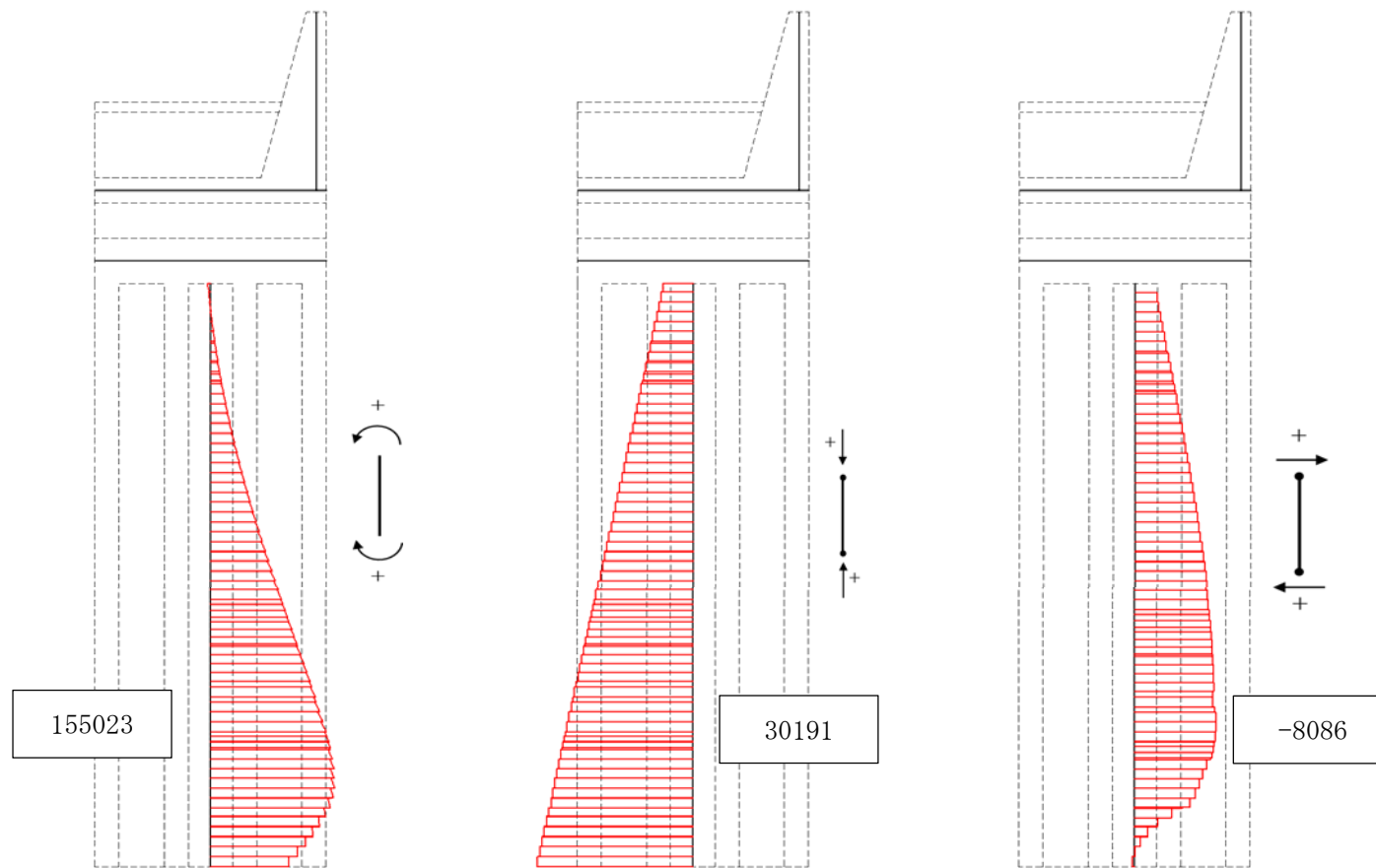


図 5.1-8 (13) 防潮壁横断方向 (上部構造) の $S_s - 13$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 26.17$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (14) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-13 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=26.07$ s)

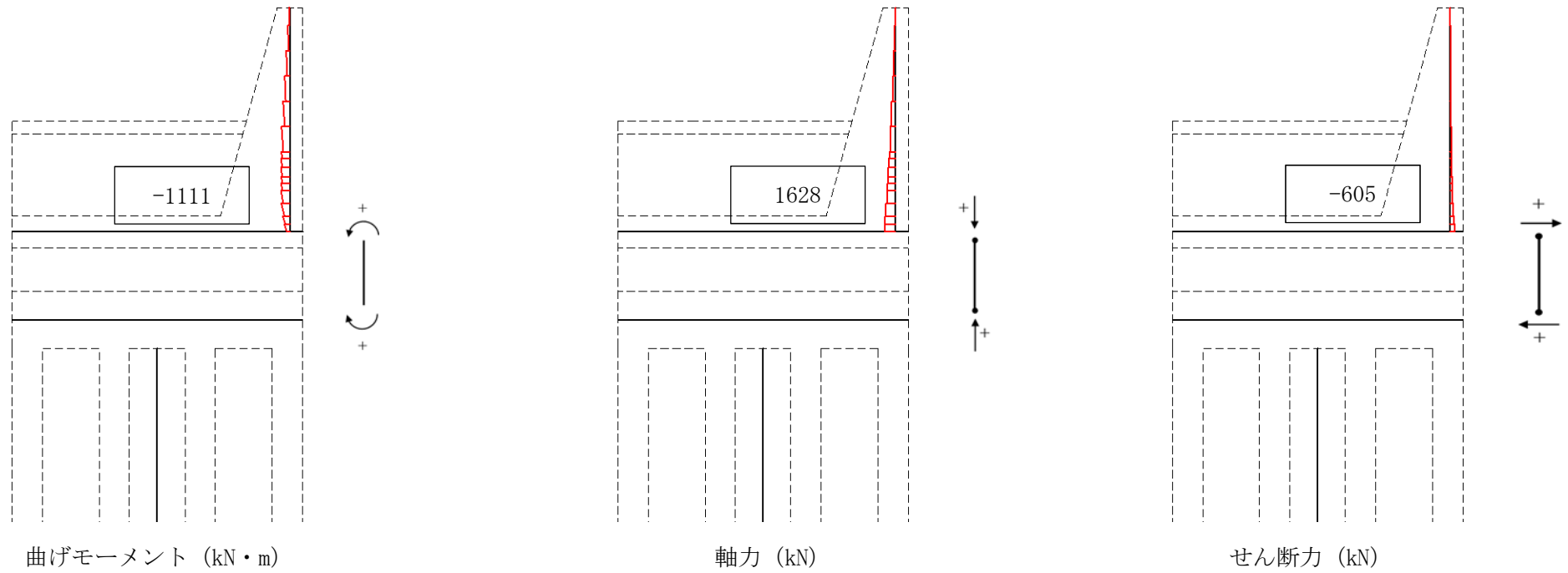
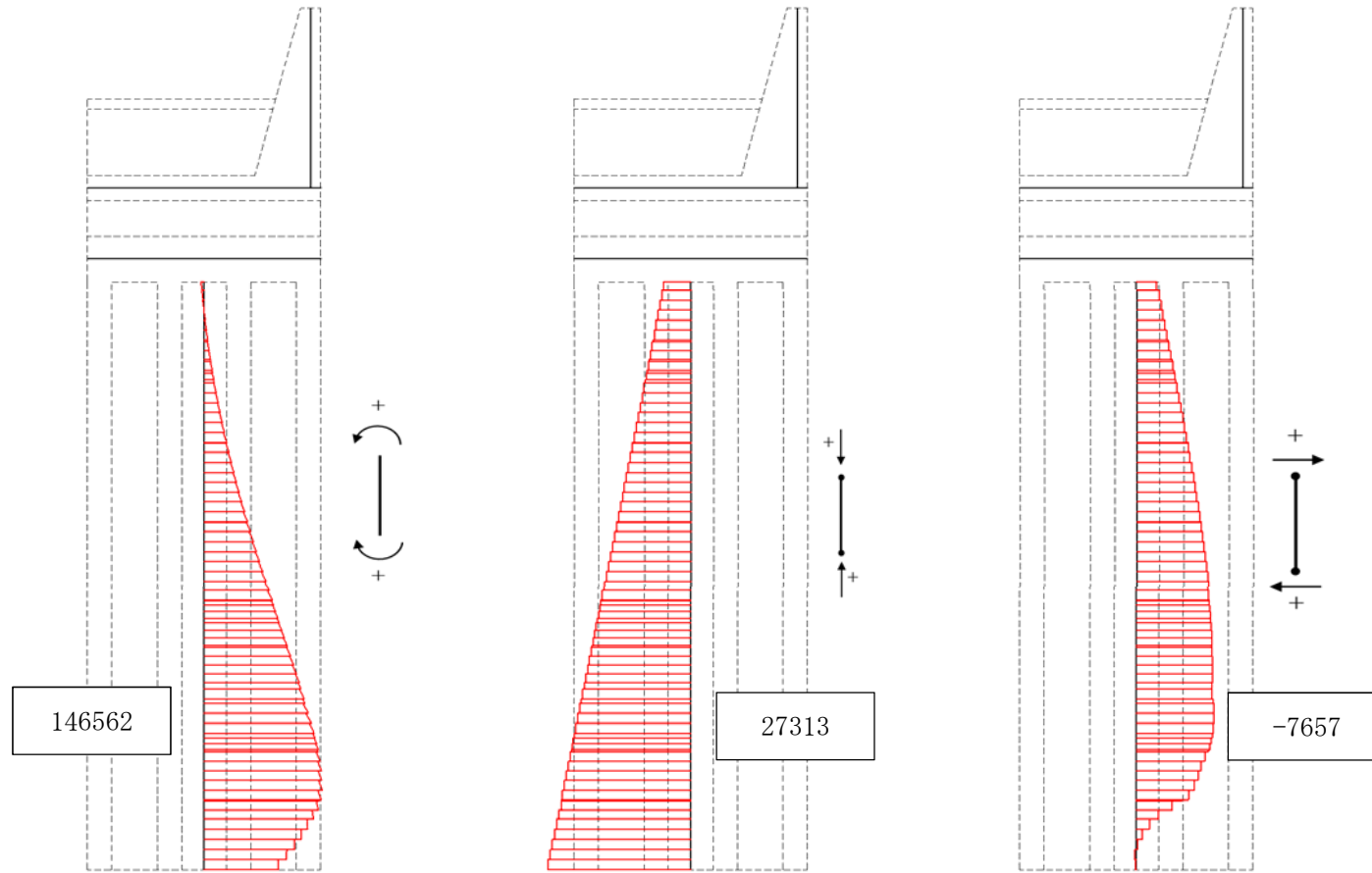


図 5.1-8 (15) 防潮壁横断方向 (上部構造) の $S_s - 14$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 28.93$ s)



曲げモーメント ($\text{kN}\cdot\text{m}$)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (16) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-14 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=28.85 \text{ s}$)

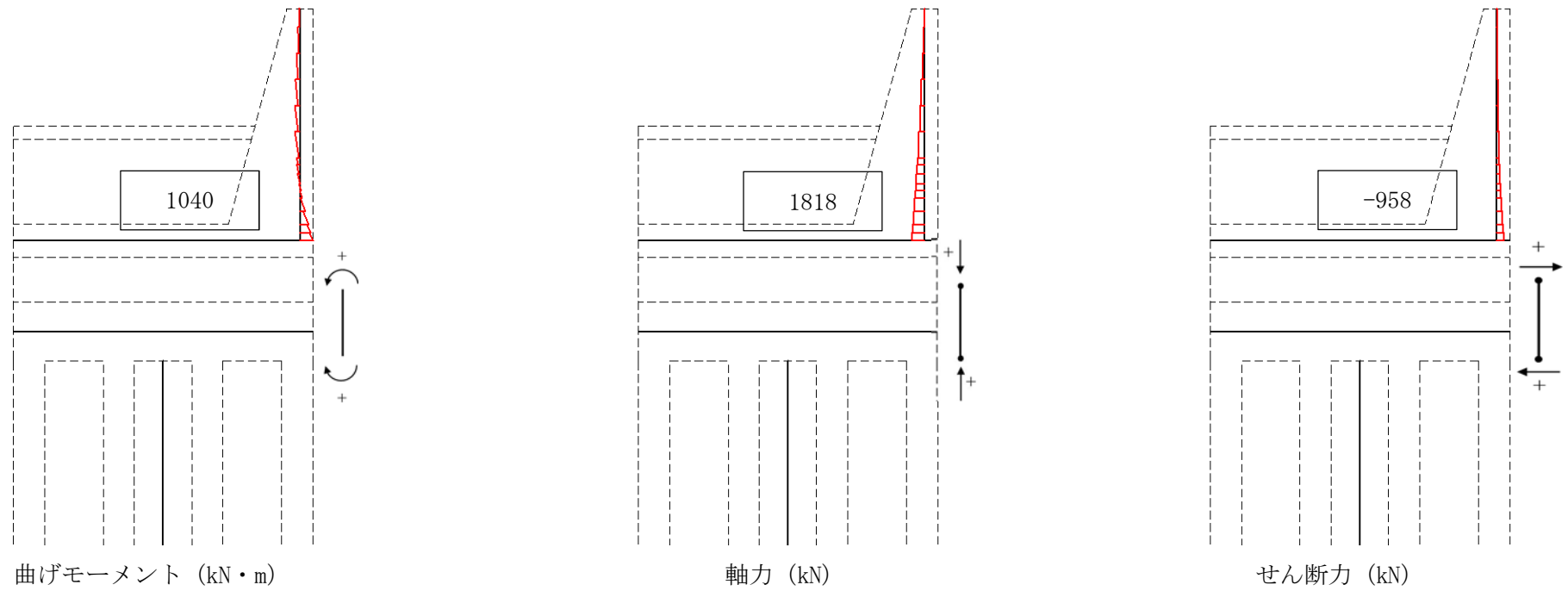
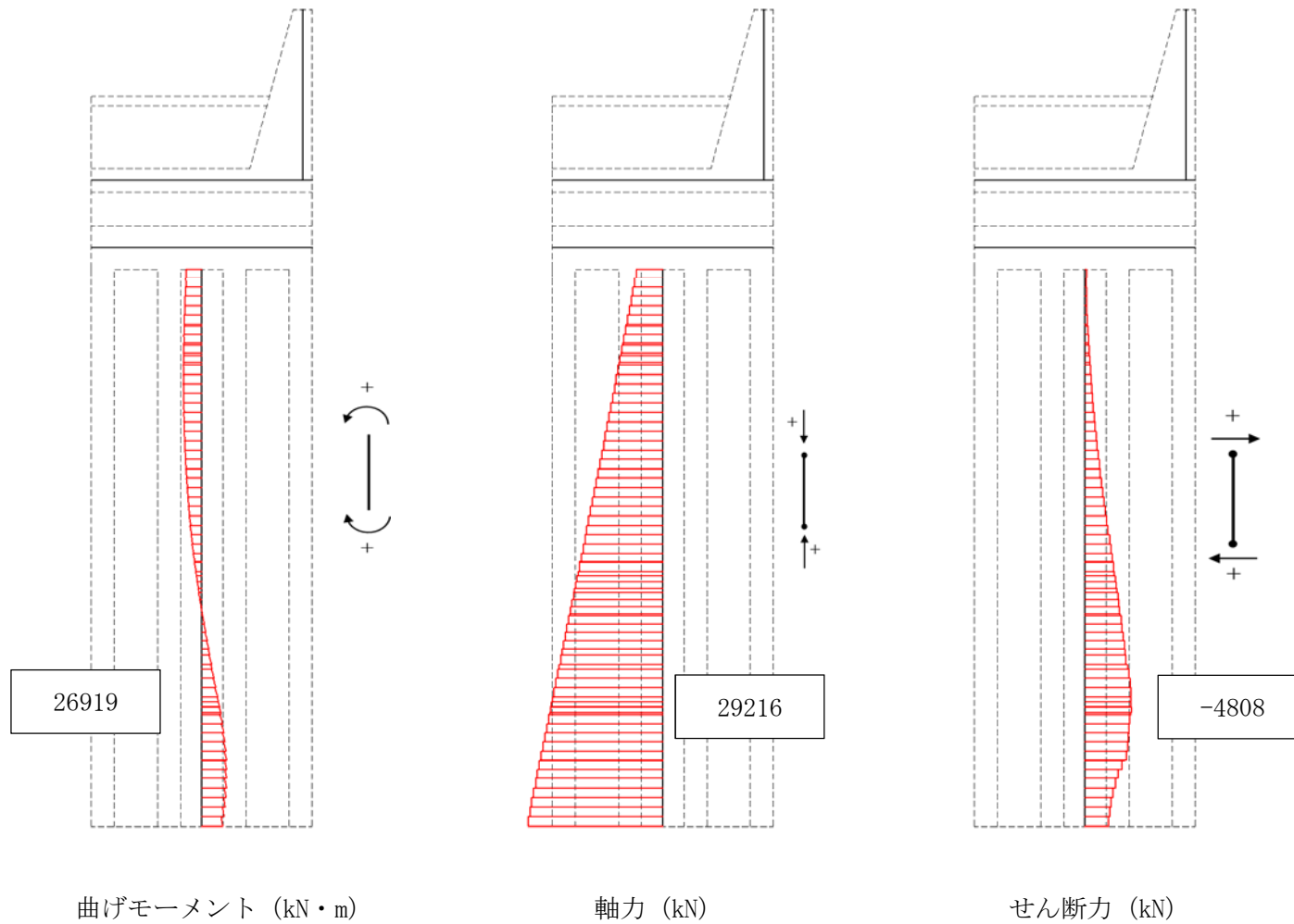


図 5.1-8 (17) 防潮壁横断方向 (上部構造) の $S_s - 21$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 64.71 \text{ s}$)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (18) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-21 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=66.66$ s)

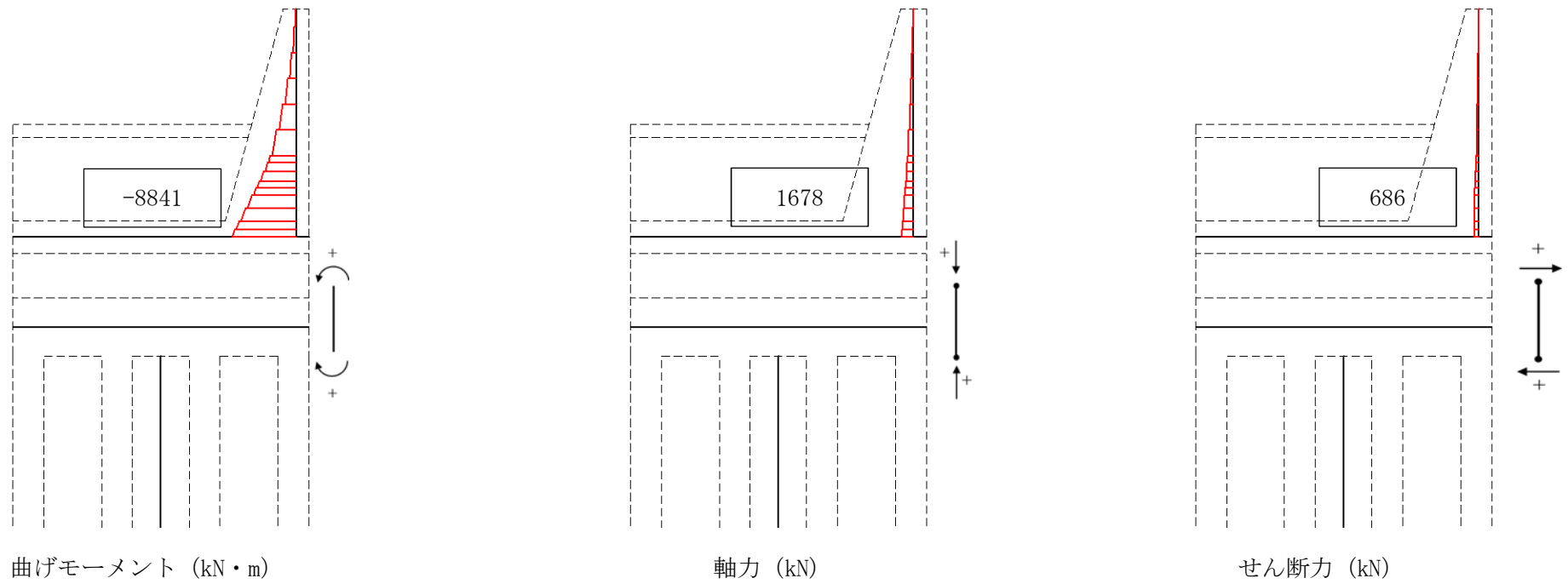
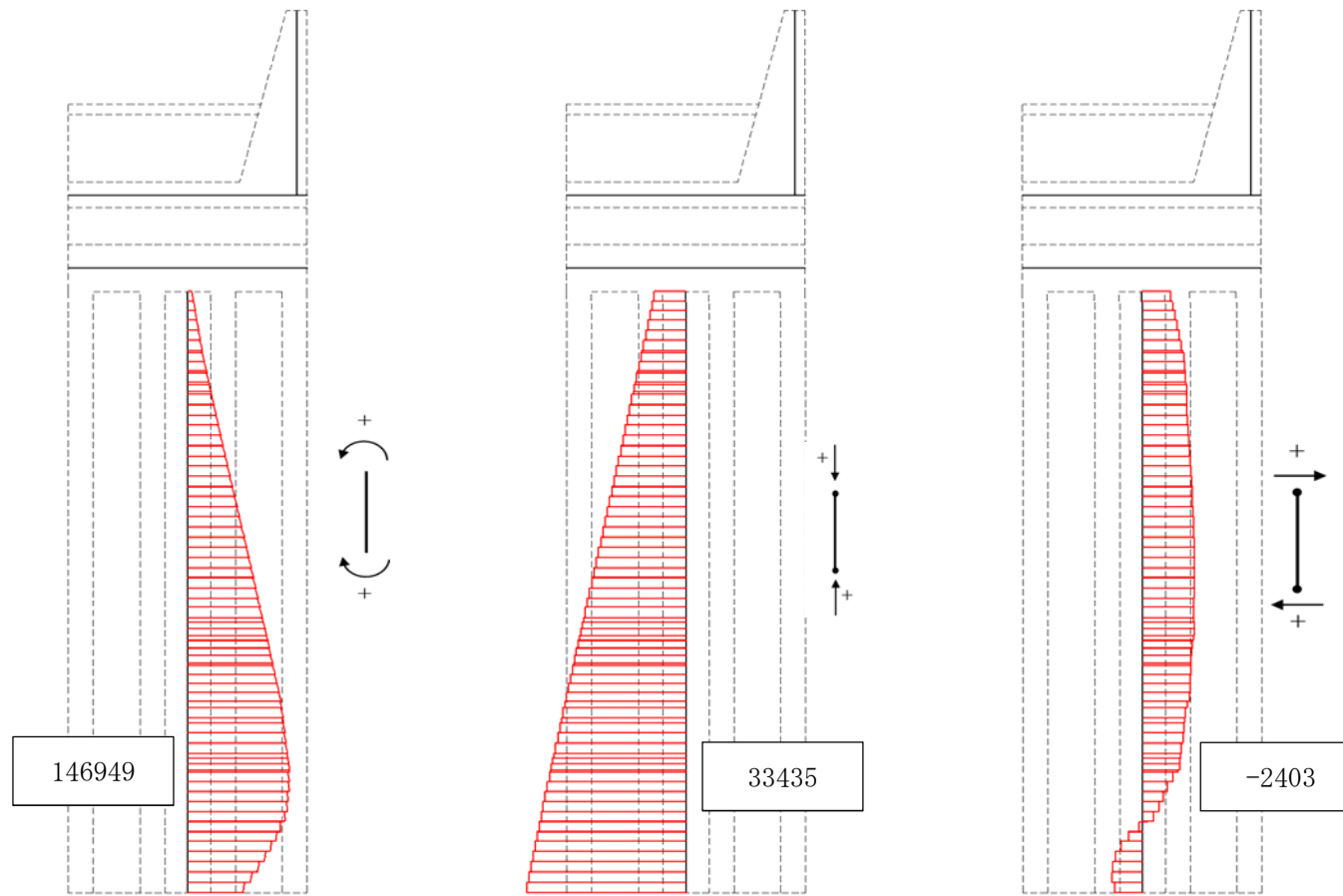


図 5.1-8 (19) 防潮壁横断方向 (上部構造) の $S_s - 22$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 79.88$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (20) 防潮壁横断方向 (下部構造) の S_s-22 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=81.56$ s)

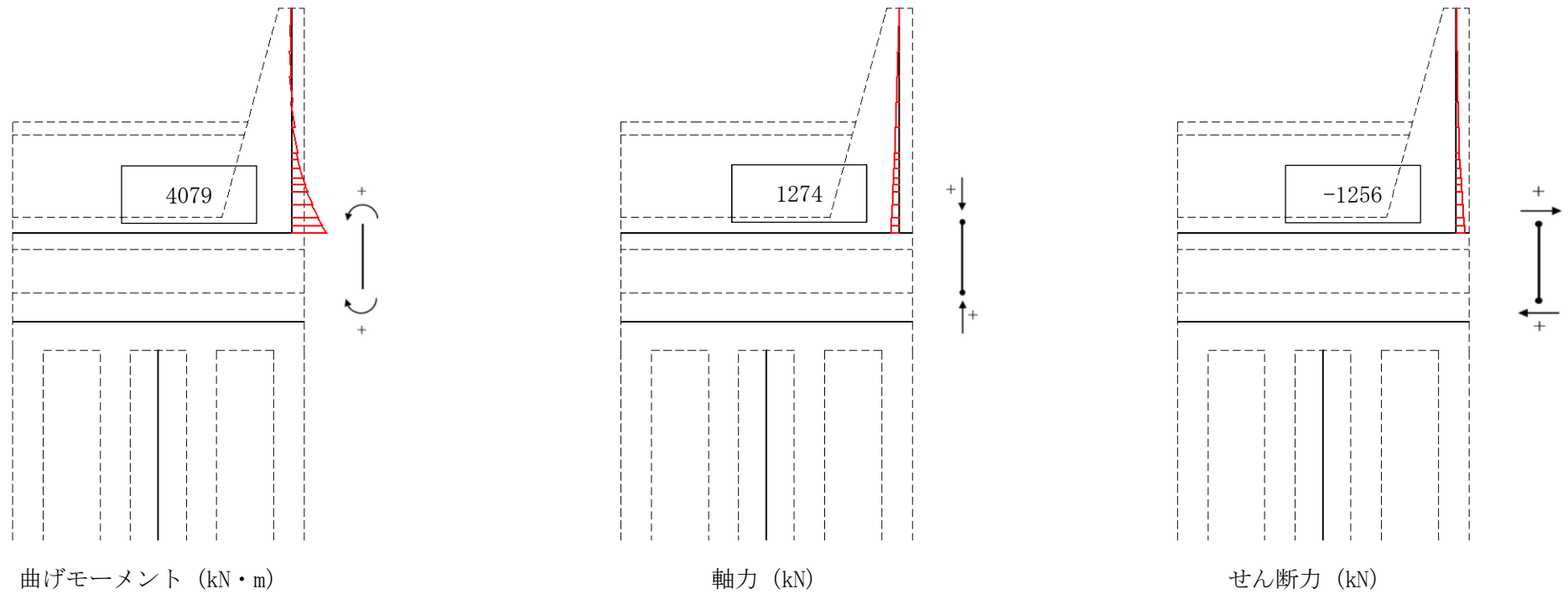
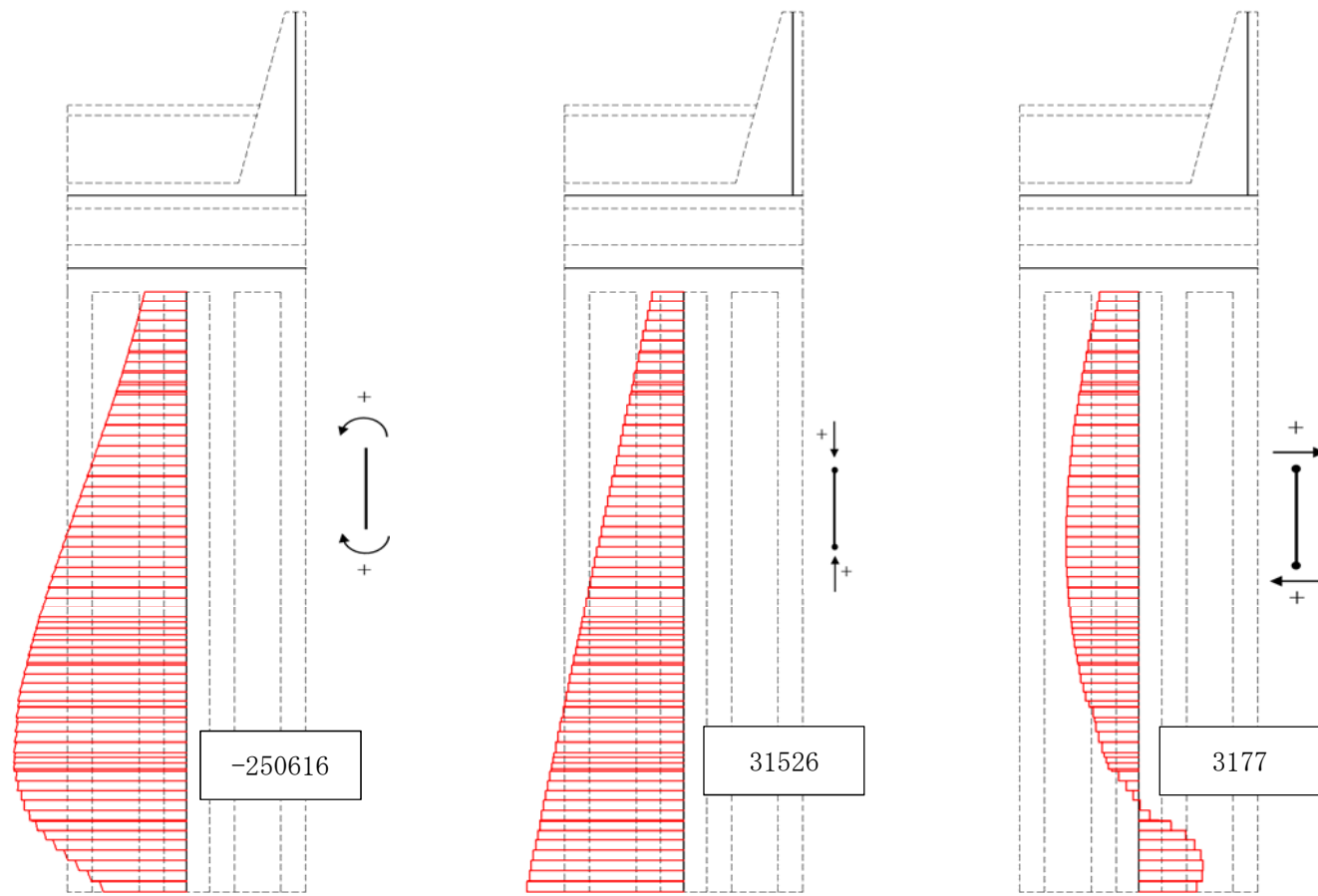


図 5.1-8 (21) 防潮壁横断方向 (上部構造) の S_s-31 [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=8.43$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (22) 防潮壁横断方向 (下部構造) の $S_s - 31$ [H+, V+] において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.83$ s)

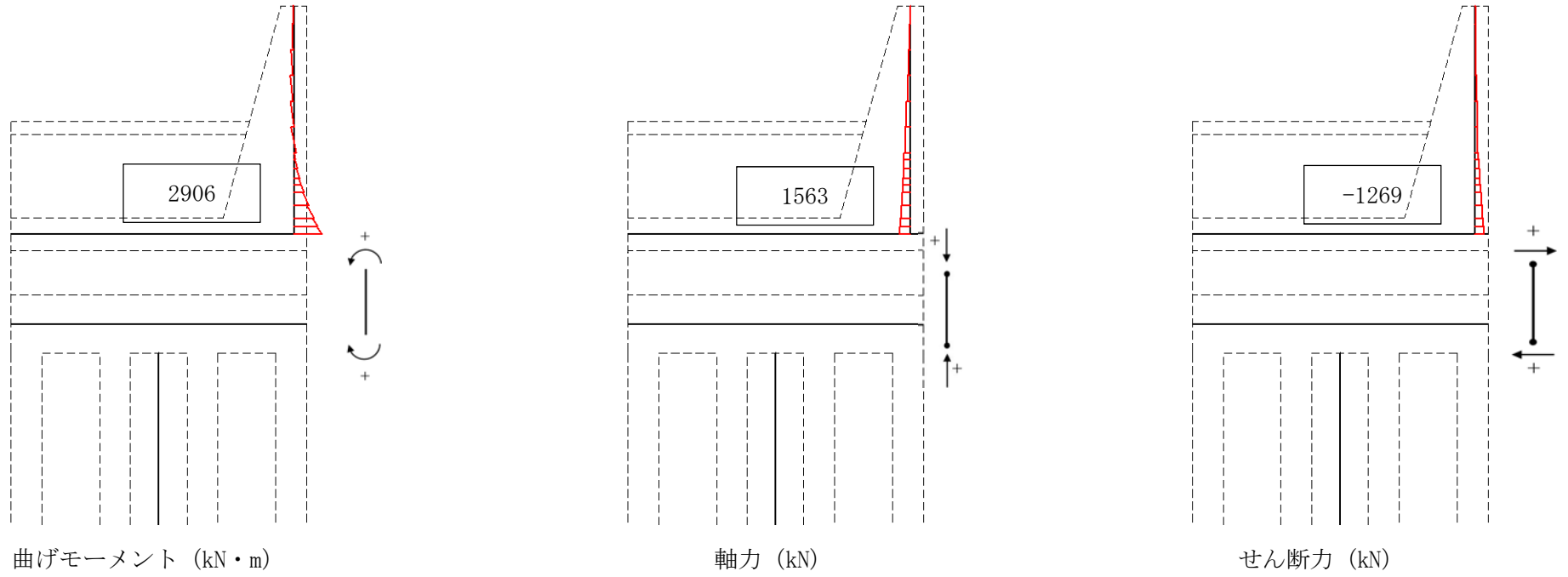
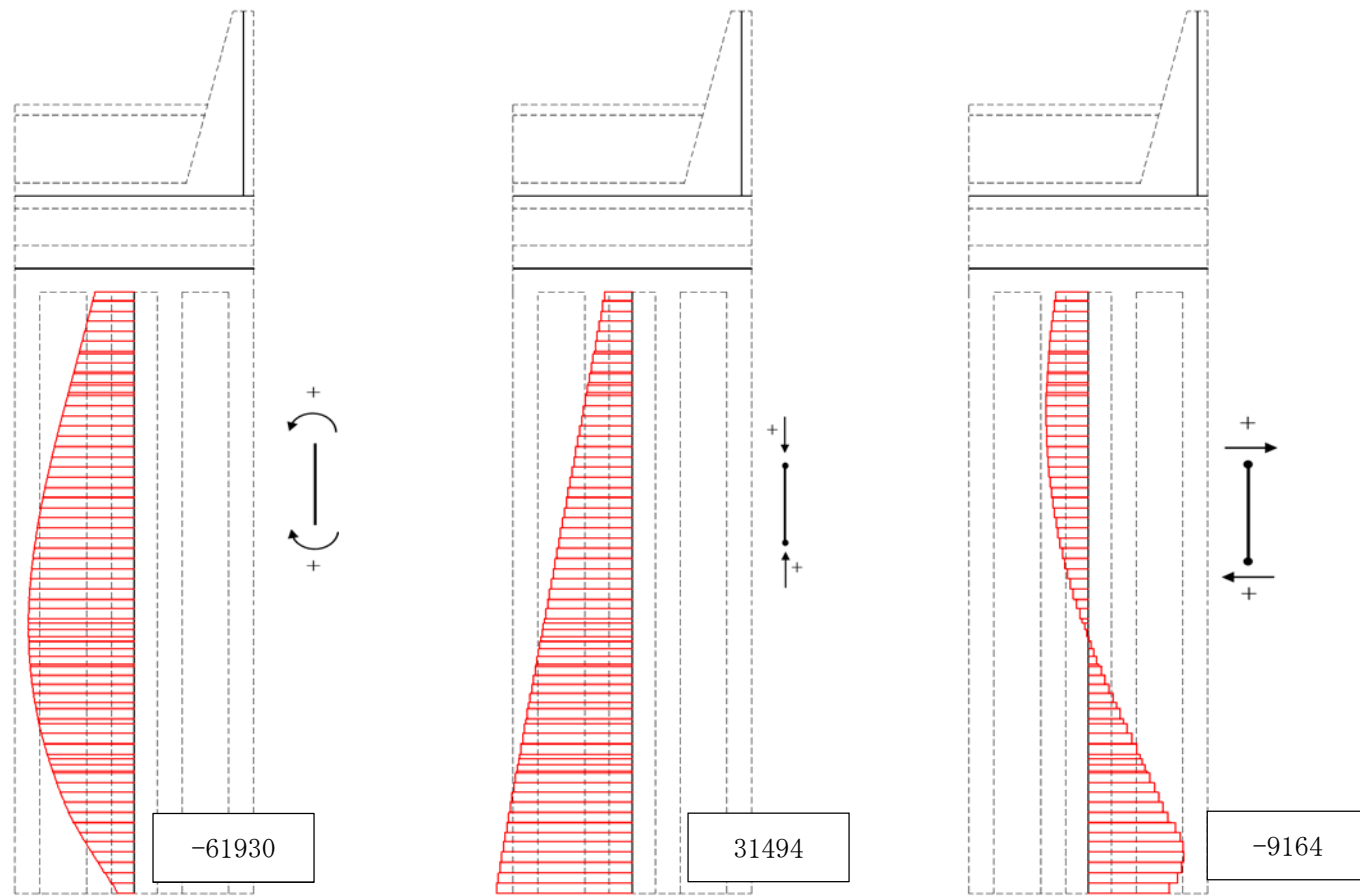


図 5.1-8 (23) 防潮壁横断方向 (上部構造) の S_s-31 [H-, V+] において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=8.80$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-8 (24) 防潮壁横断方向 (下部構造) の $S_s - 31$ [H-, V+] において

最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.47$ s)

表 5.1-8 (1) 防潮壁縦断方向（防潮壁部）（上部構造）の各地震波に対して最も厳しい照査値とその照査項目及び評価位置の結果

地震波	位相	抽出照査値と照査項目			
		照査値	照査項目	評価位置	
S _s -D1	H+, V+	0.51	曲げ軸力照査（鉄筋）	放水路左側壁	2
	H+, V-	0.50	せん断力照査	放水路右側壁	7
	H-, V+	0.51	せん断力照査	放水路左側壁	2
	H-, V-	0.50	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -11		0.29	せん断力照査	放水路右側壁	7
S _s -12		0.32	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -13		0.32	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -14		0.32	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -21		0.48	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -22		0.50	せん断力照査	放水路左側壁	1
S _s -31	H+, V+	0.51	せん断力照査	放水路右側壁	7
	H-, V+	0.52	せん断力照査	放水路左側壁	1

表 5.1-8 (2) 防潮壁縦断方向（防潮壁部）（下部構造）の各地震波に対して最も厳しい照査値とその照査項目及び評価位置の結果

地震波	位相	抽出照査値と照査項目			
		照査値	照査項目	評価位置	
S _s -D1	H+, V+	0.50	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
	H+, V-	0.50	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
	H-, V+	0.50	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
	H-, V-	0.50	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -11		0.22	曲げ軸力照査（コンクリート）	地中連続壁基礎	16
S _s -12		0.38	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -13		0.37	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -14		0.36	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -21		0.33	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -22		0.38	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
S _s -31	H+, V+	0.42	せん断力照査	地中連続壁基礎	16
	H-, V+	0.43	せん断力照査	地中連続壁基礎	16

注記 : 評価位置は図 5.1-4 に示す。

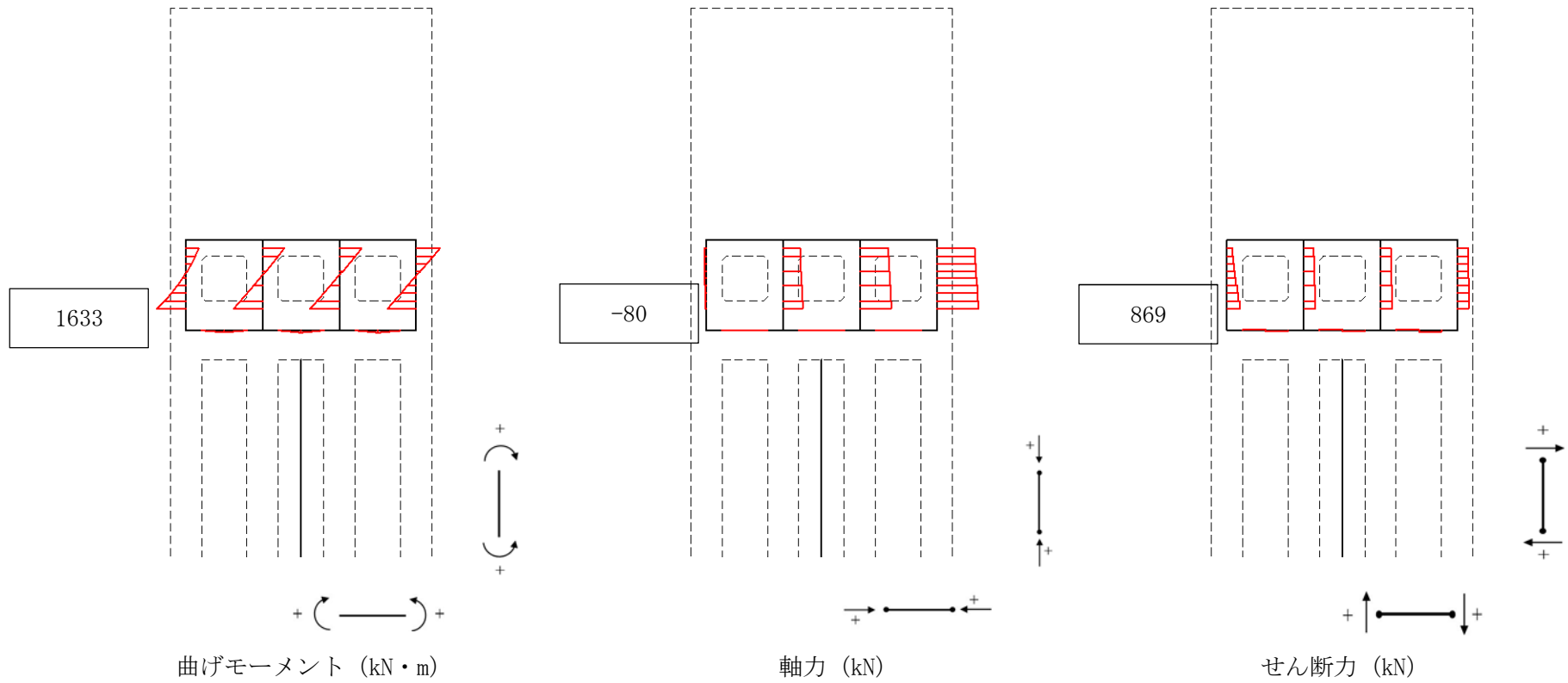
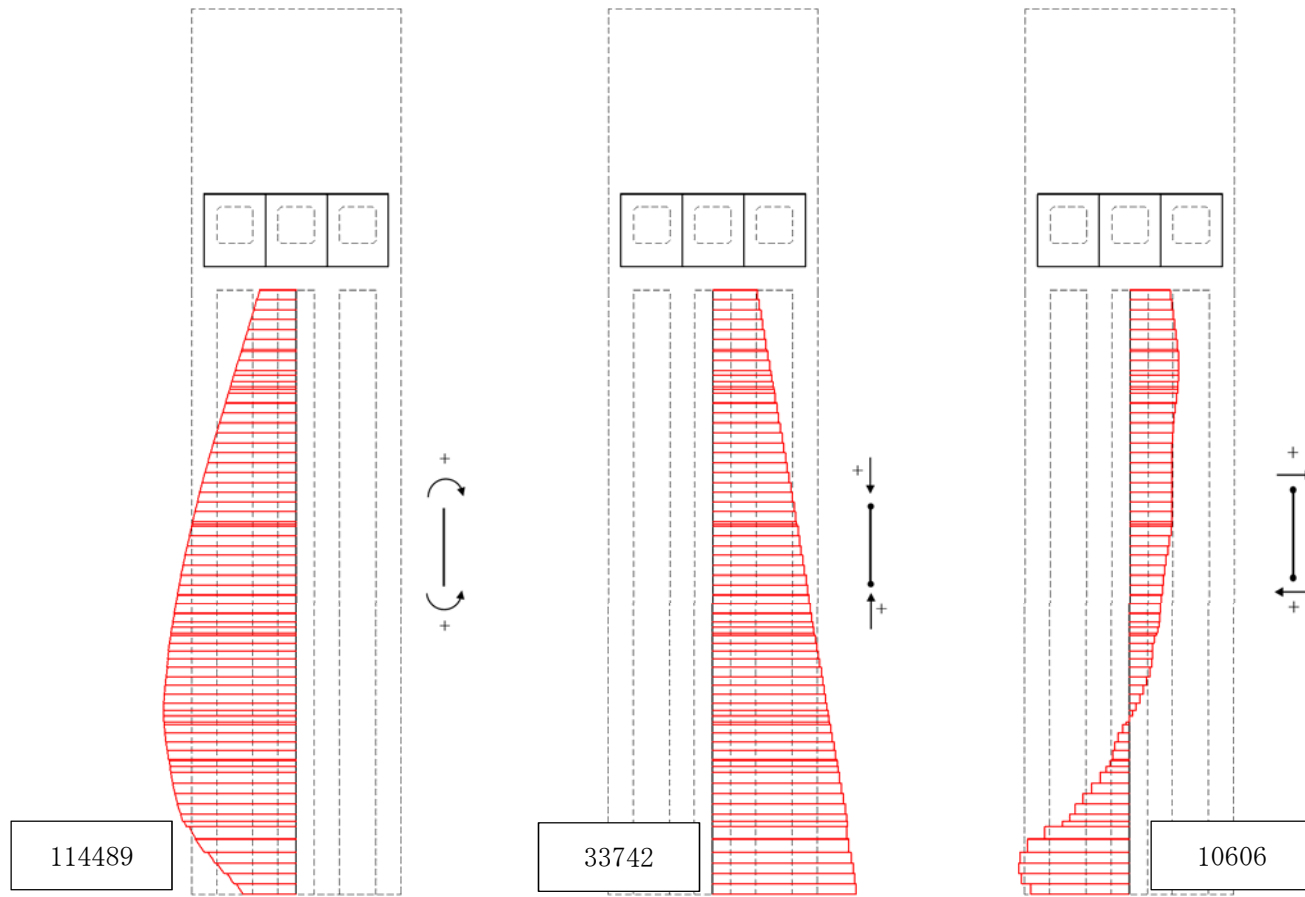


図 5.1-9 (1) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-D1 [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 19.58$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (2) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-D1 [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.70$ s)

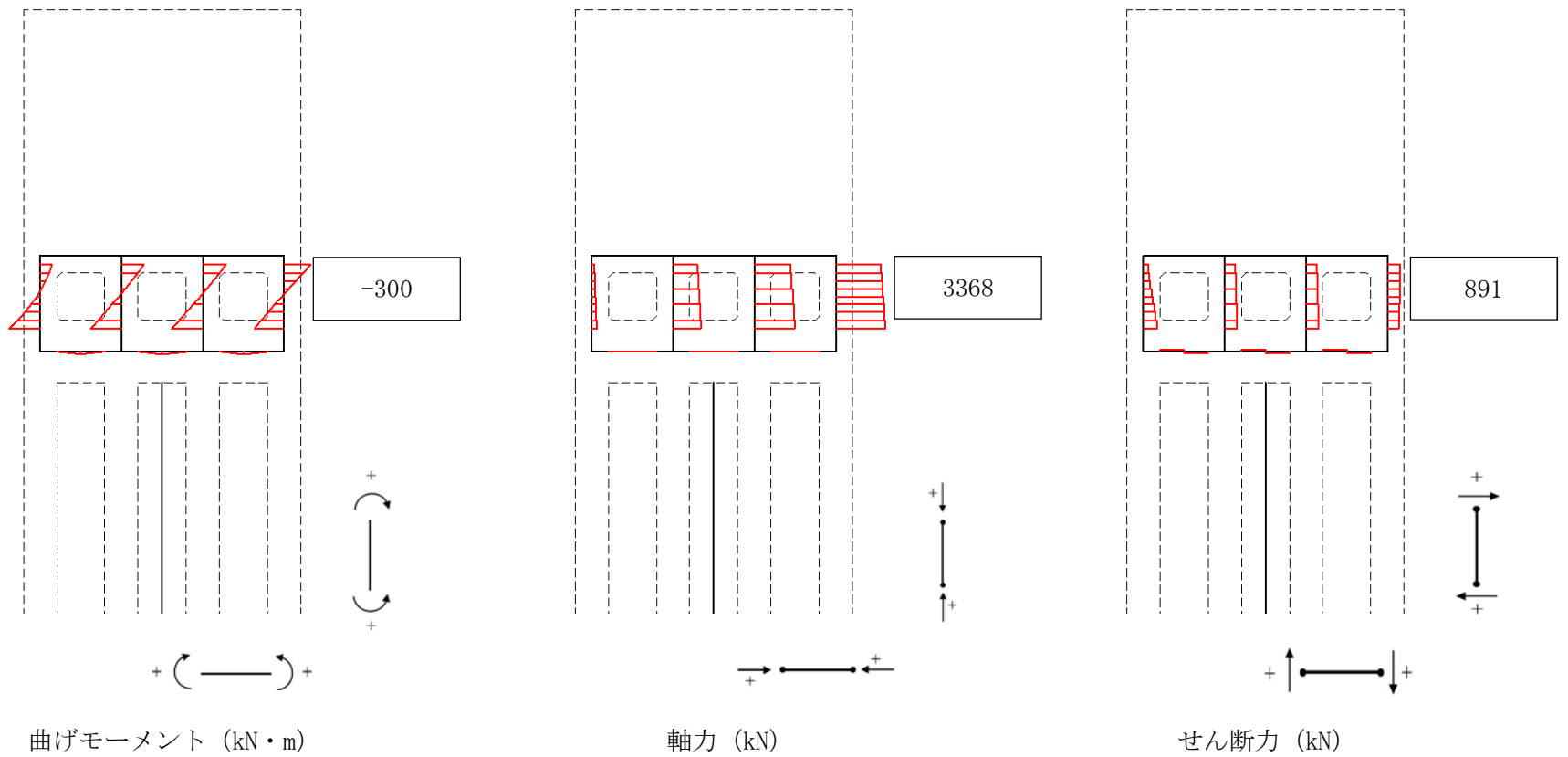
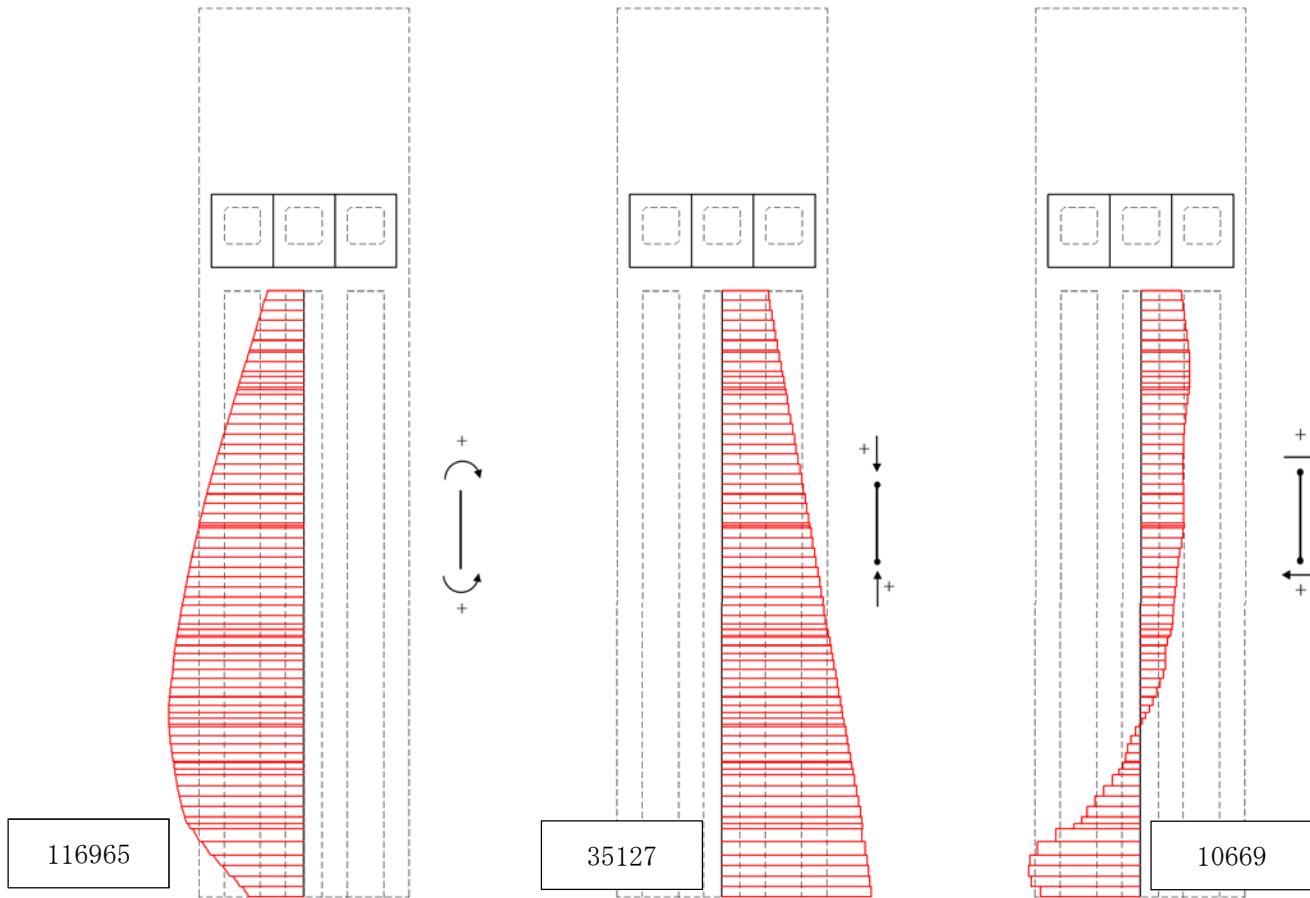


図 5.1-9 (3) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-D1 [H+, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=19.58$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (4) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-D1 [H+, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.70$ s)

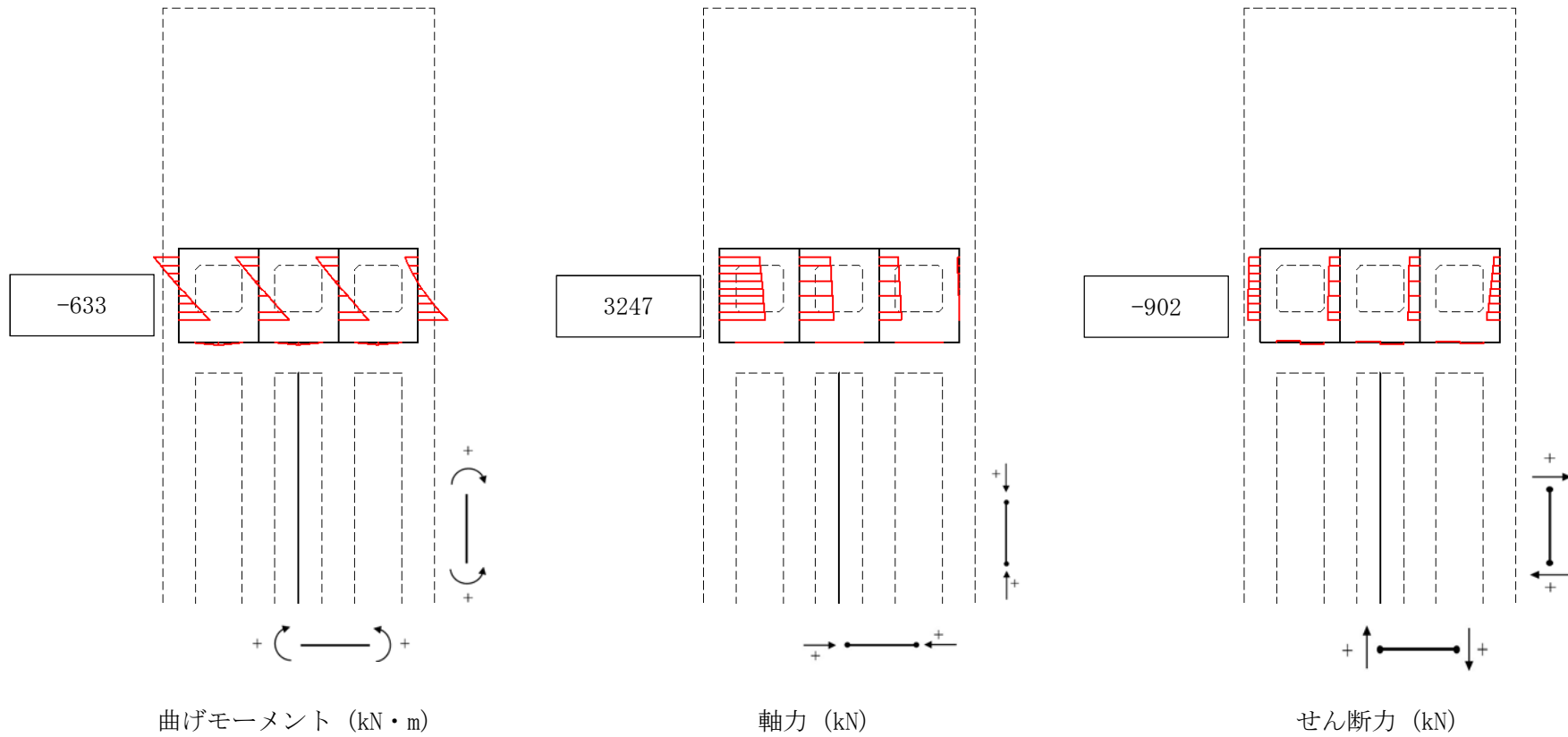
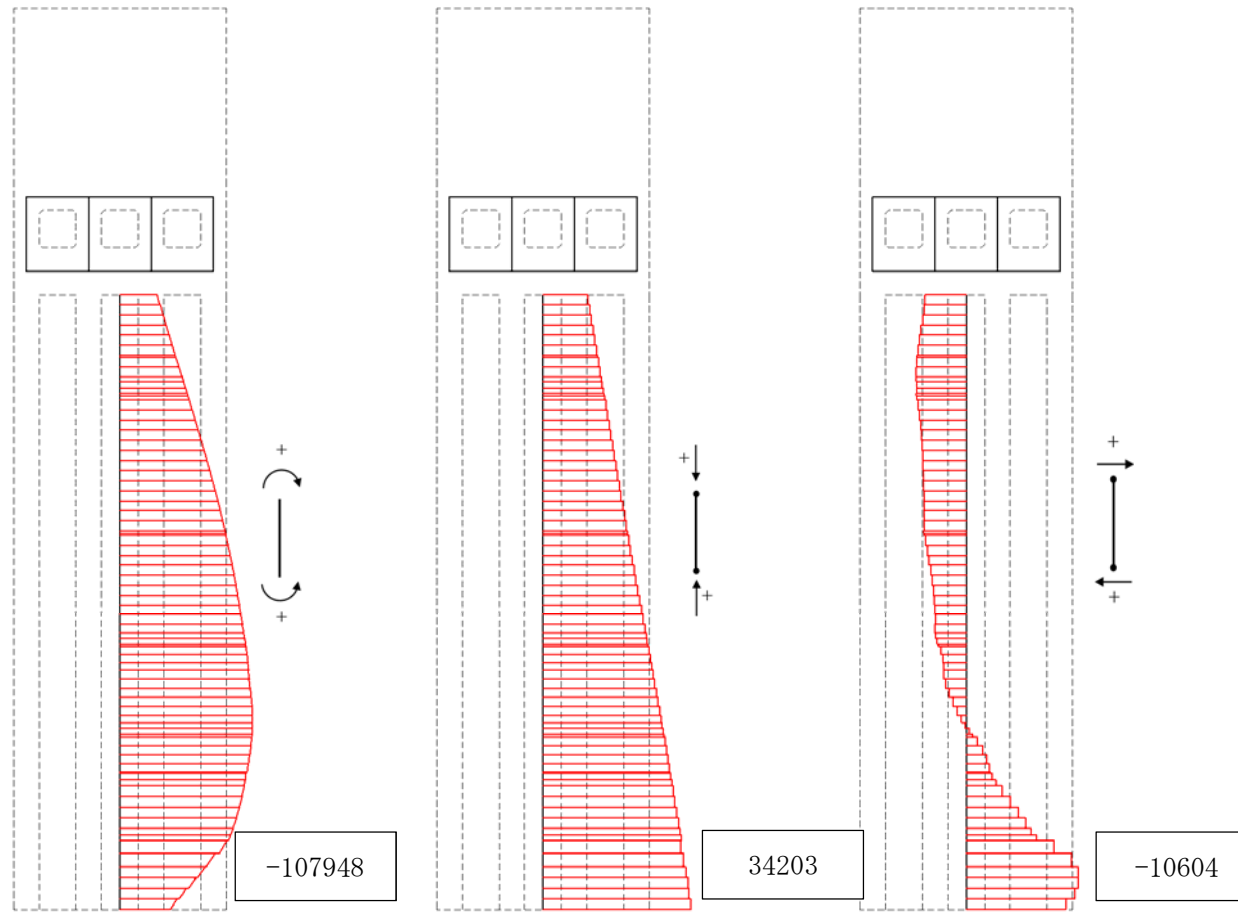


図 5.1-9 (5) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-D1 [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 19.60 \text{ s}$)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (6) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-D1 [H-, V+] において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.70$ s)

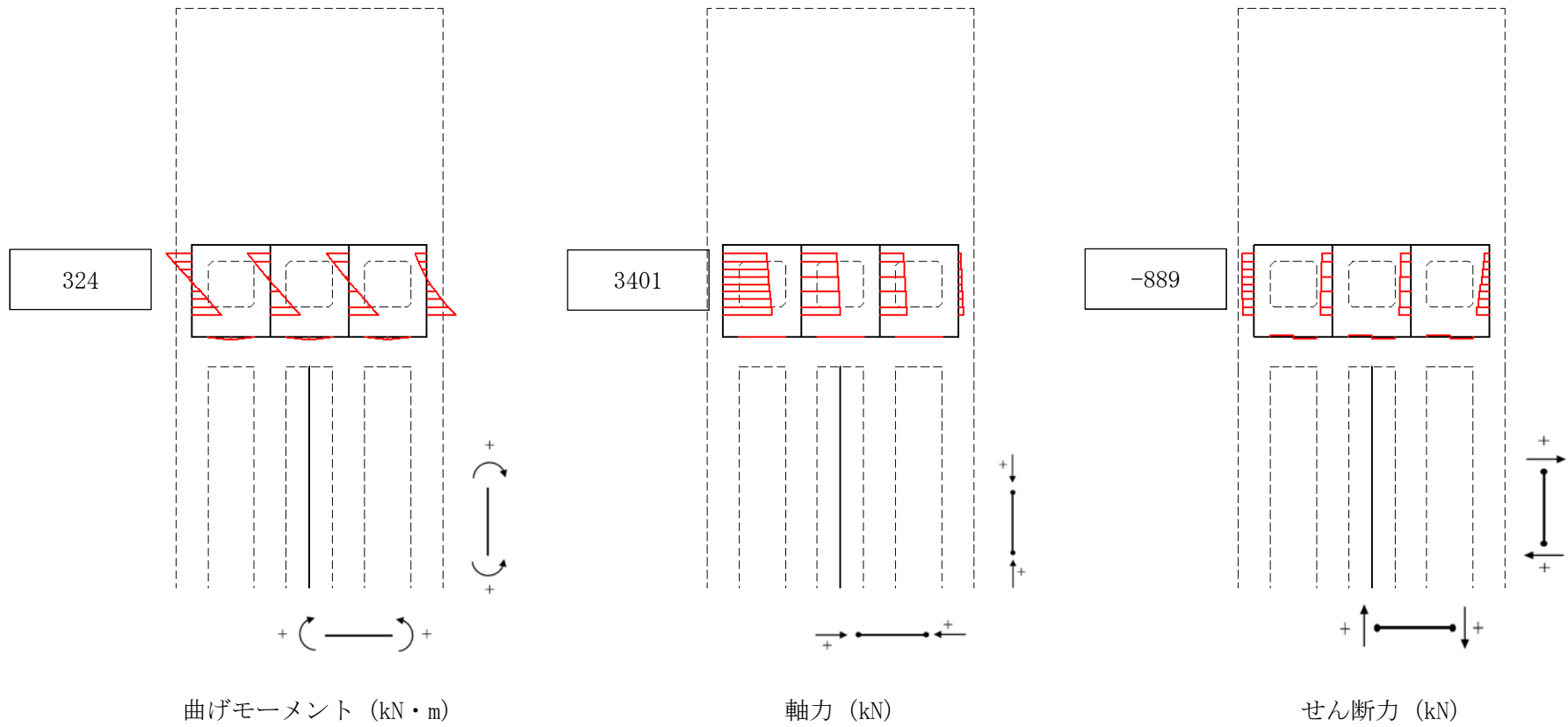
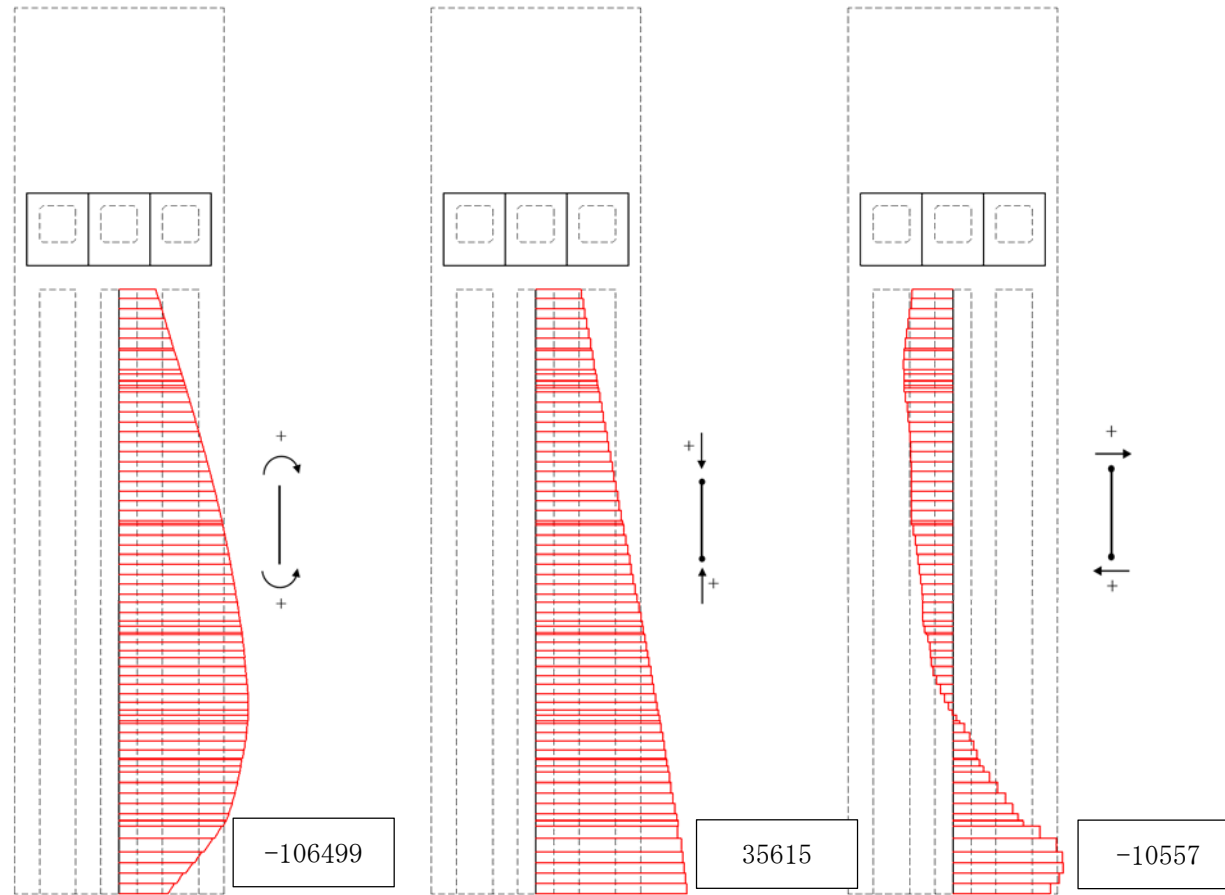


図 5.1-9 (7) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 19.58$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (8) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.70$ s)

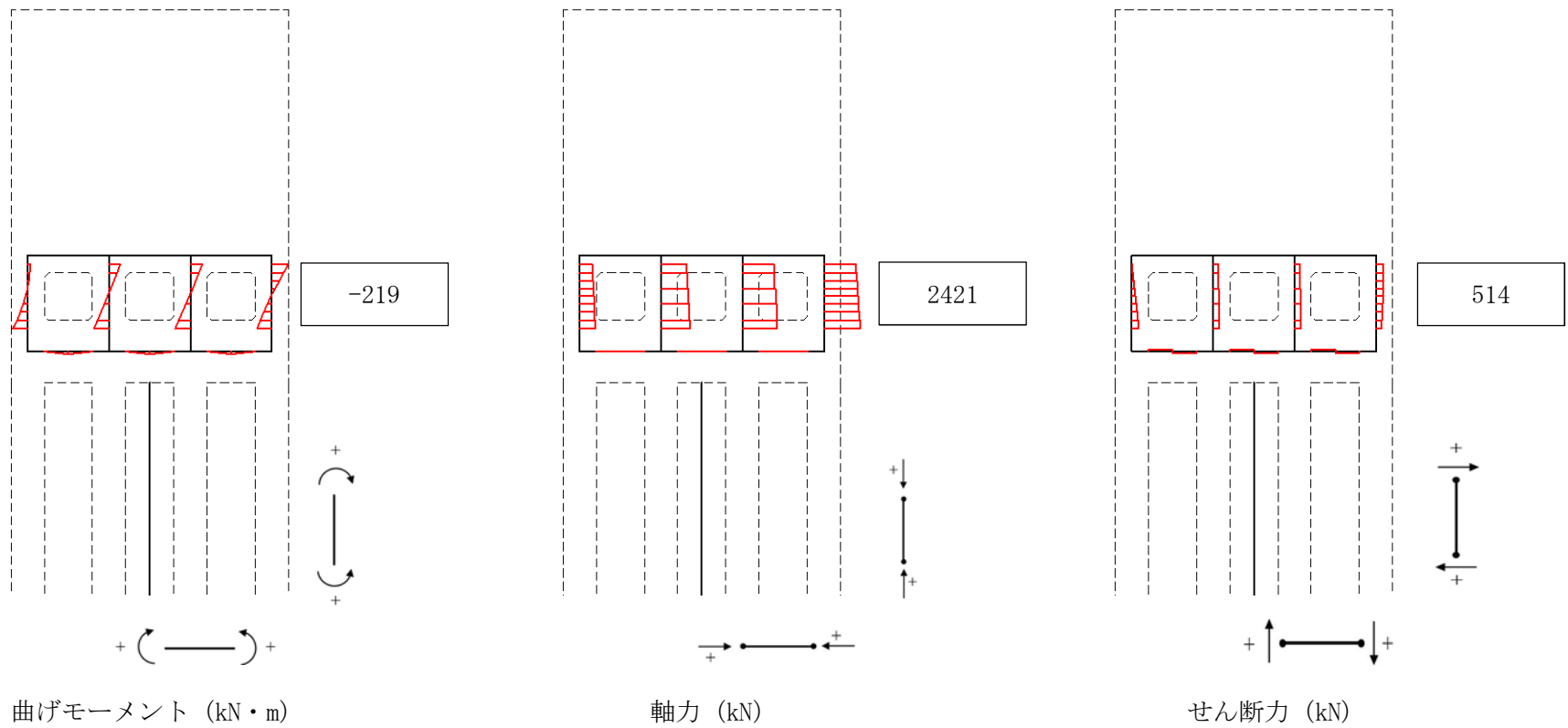


図 5.1-9 (9) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-11 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=65.01$ s)

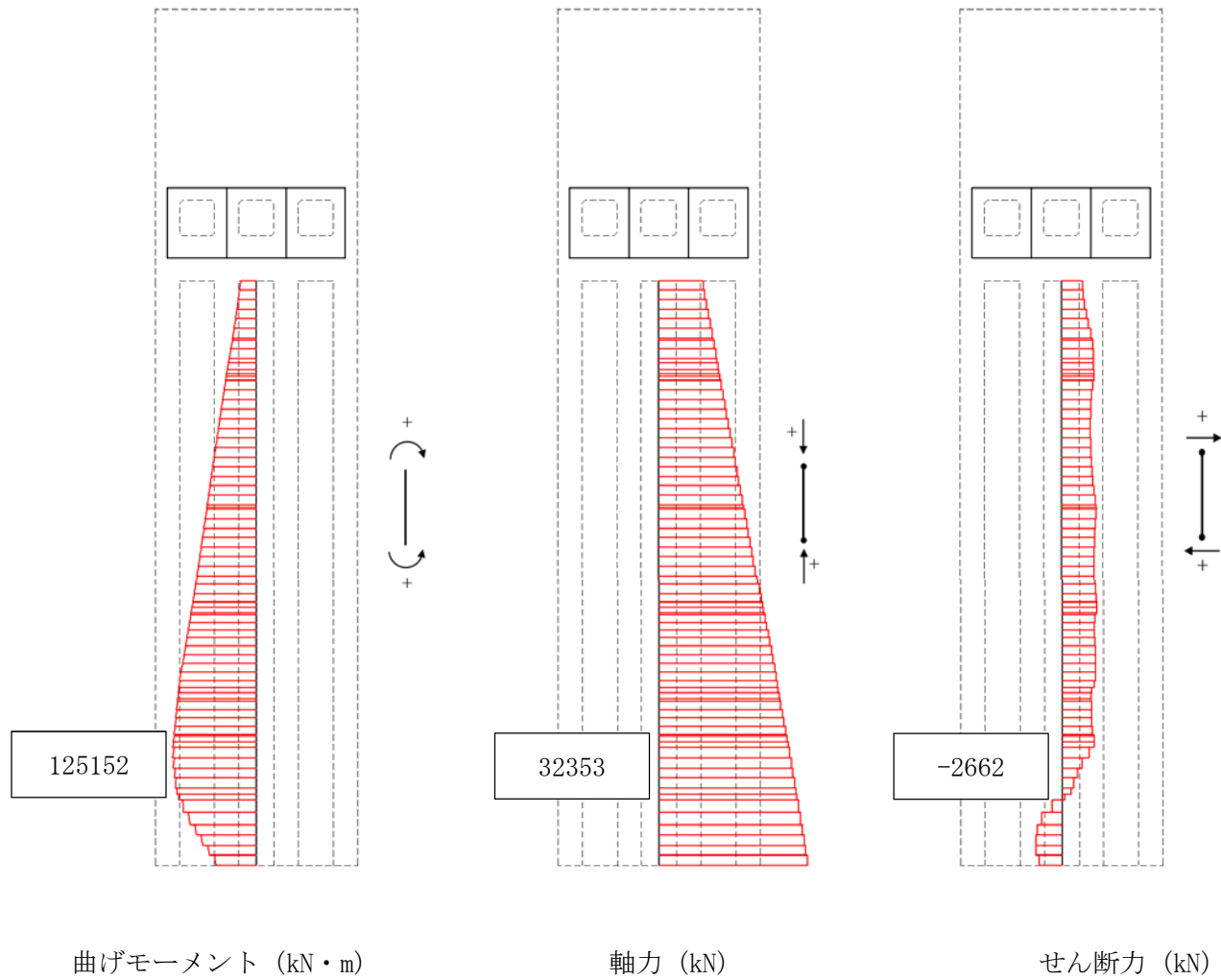


図 5.1-9 (10) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の $S_s - 1.1$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 68.83$ s)

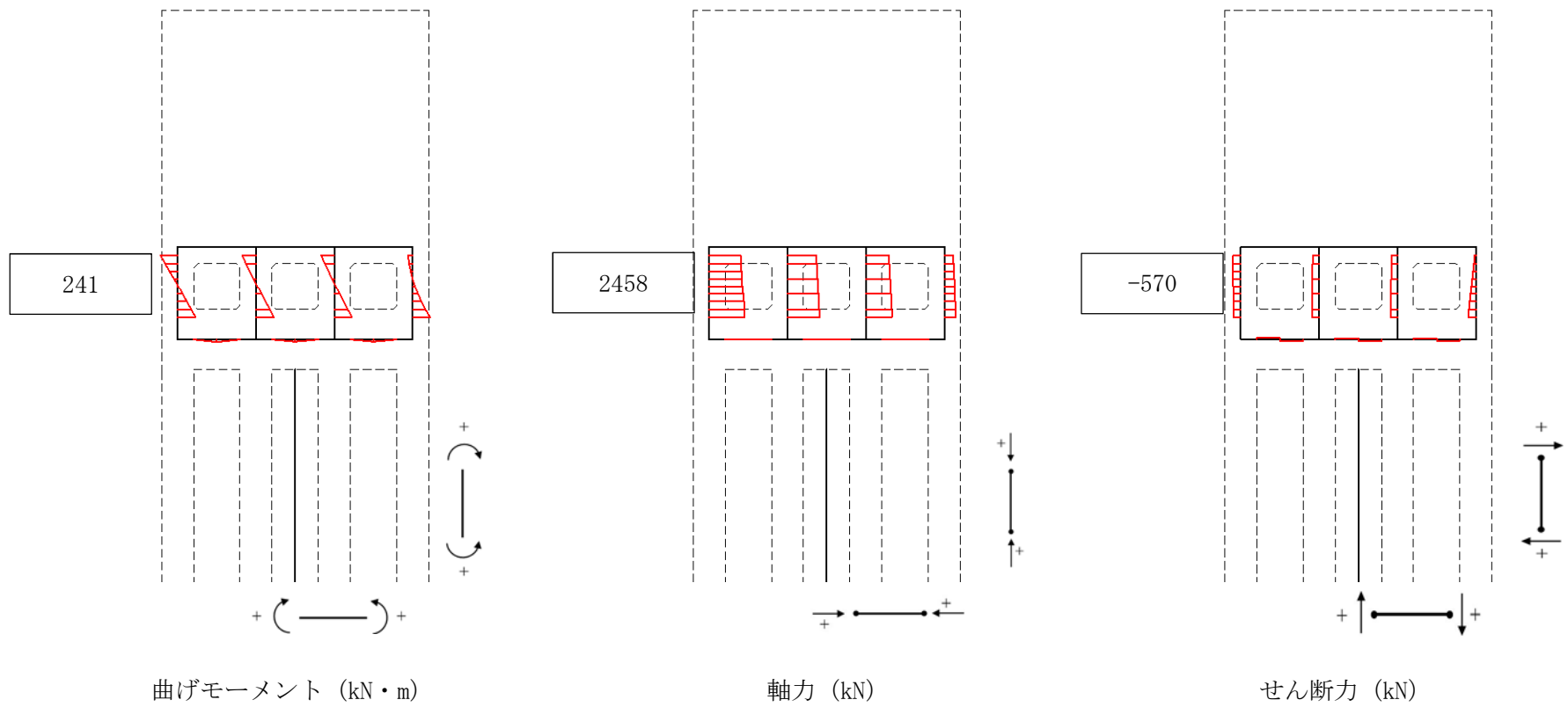
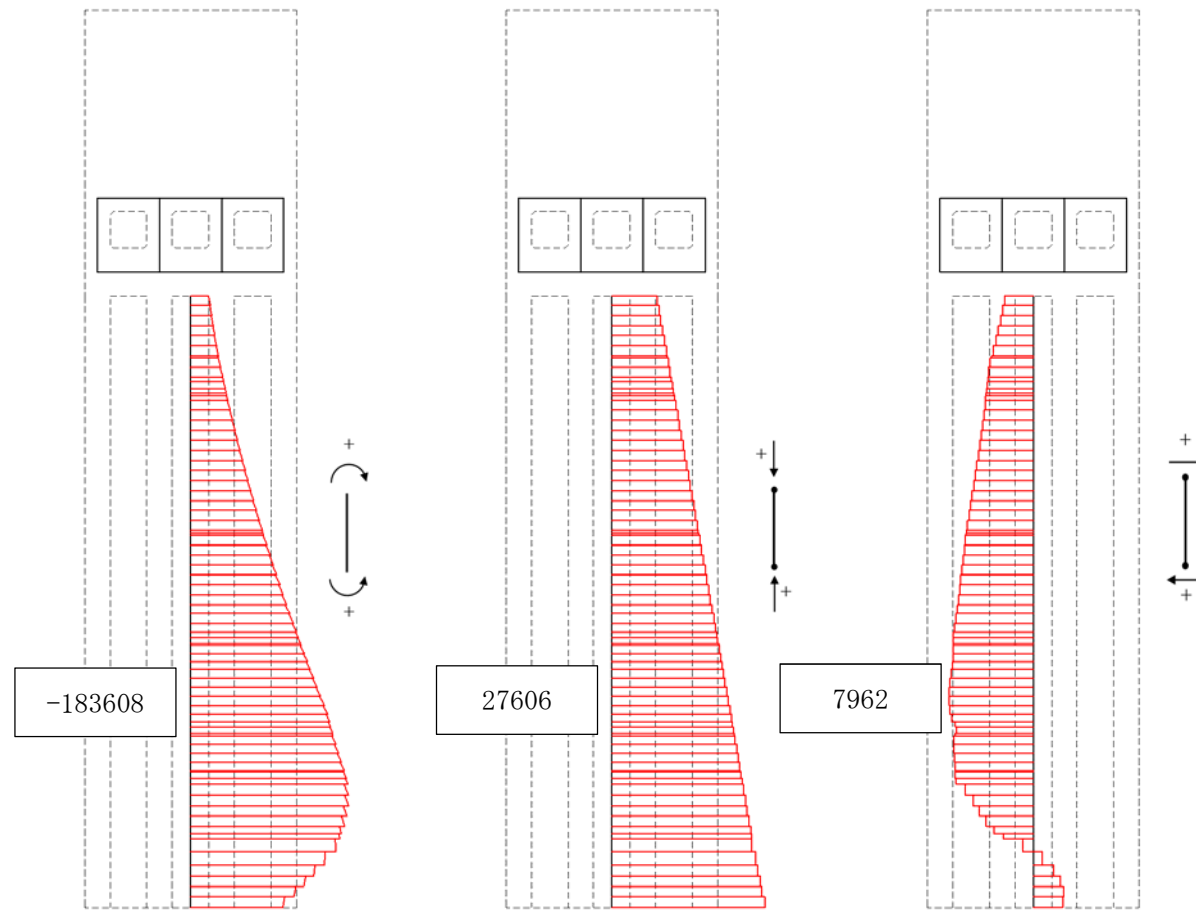


図 5.1-9 (11) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の S_s-12 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=31.78$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (12) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-12 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=31.85$ s)

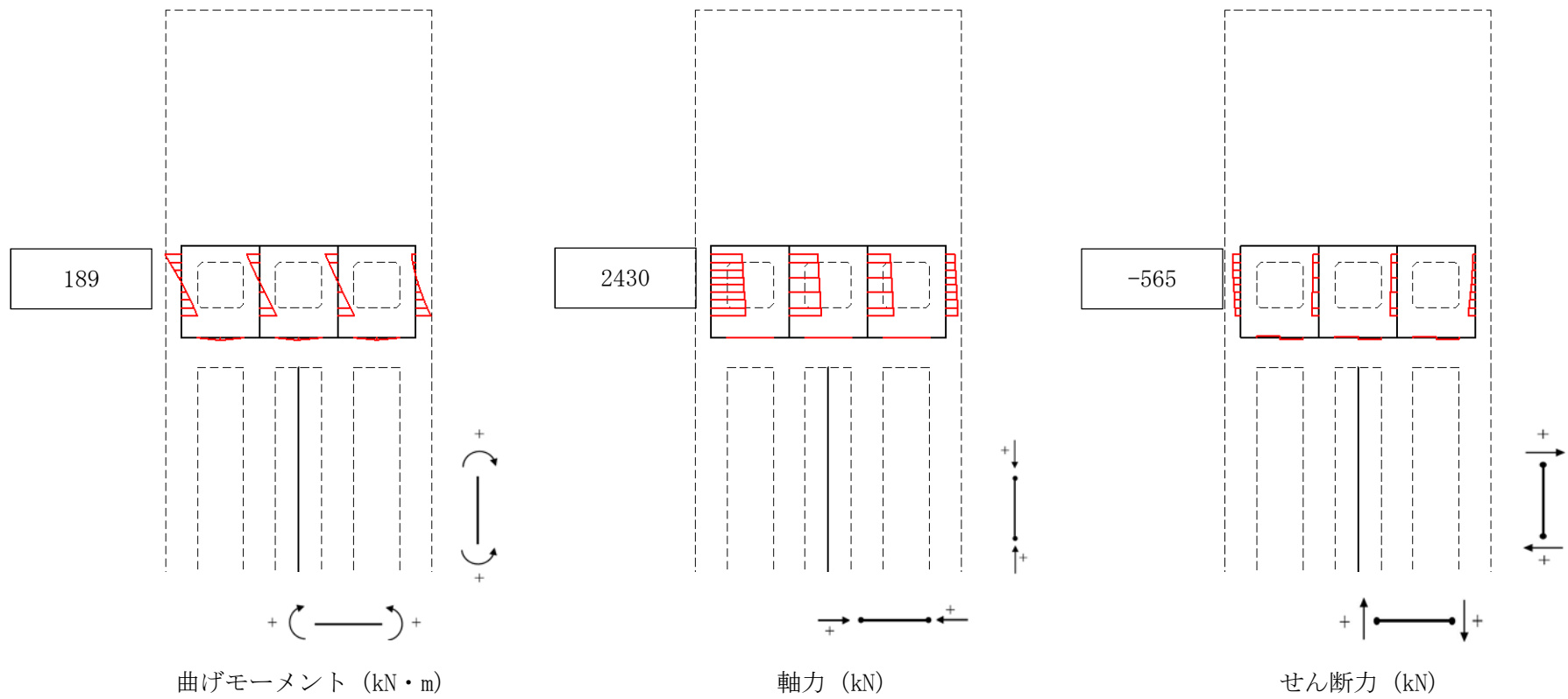
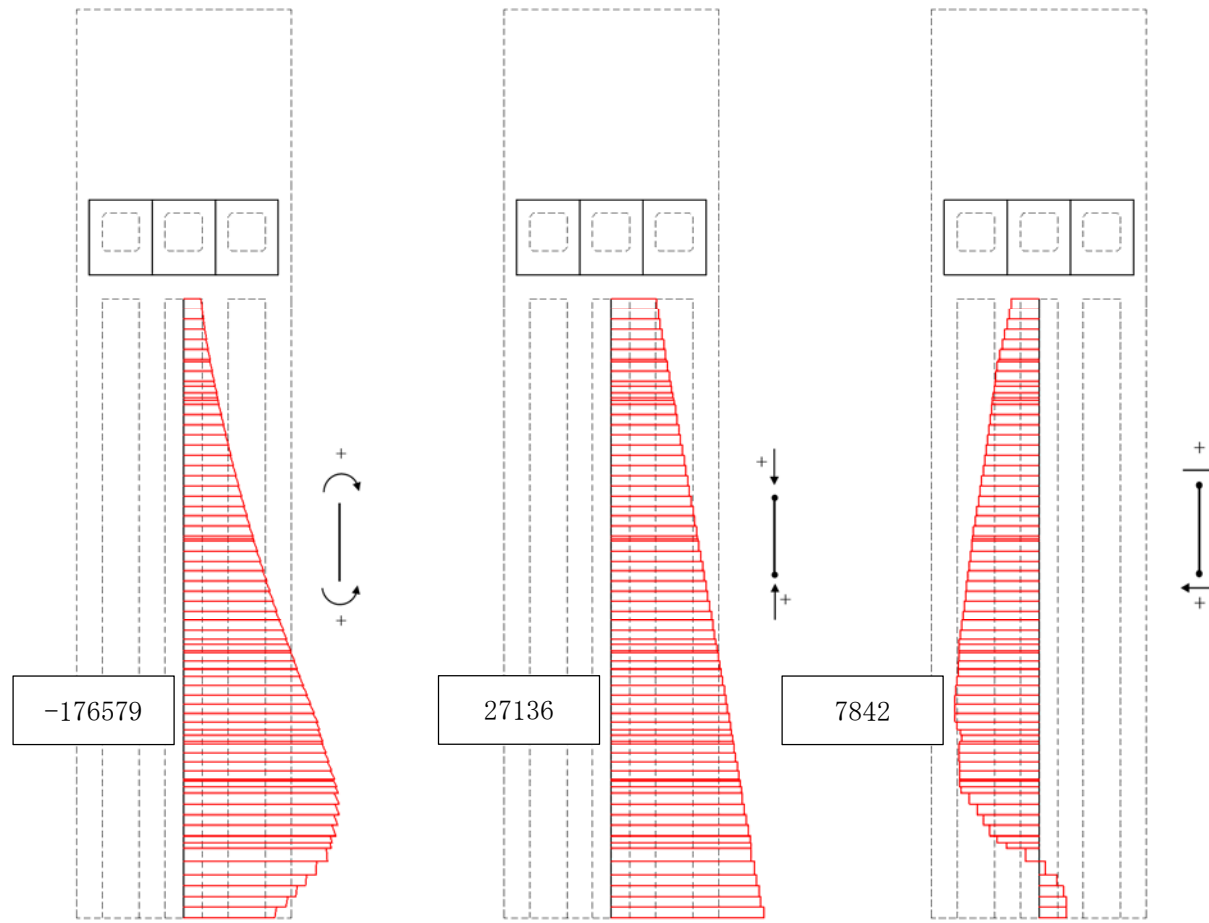


図 5.1-9 (13) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 13$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 28.82$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (14) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-13 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=29.07$ s)

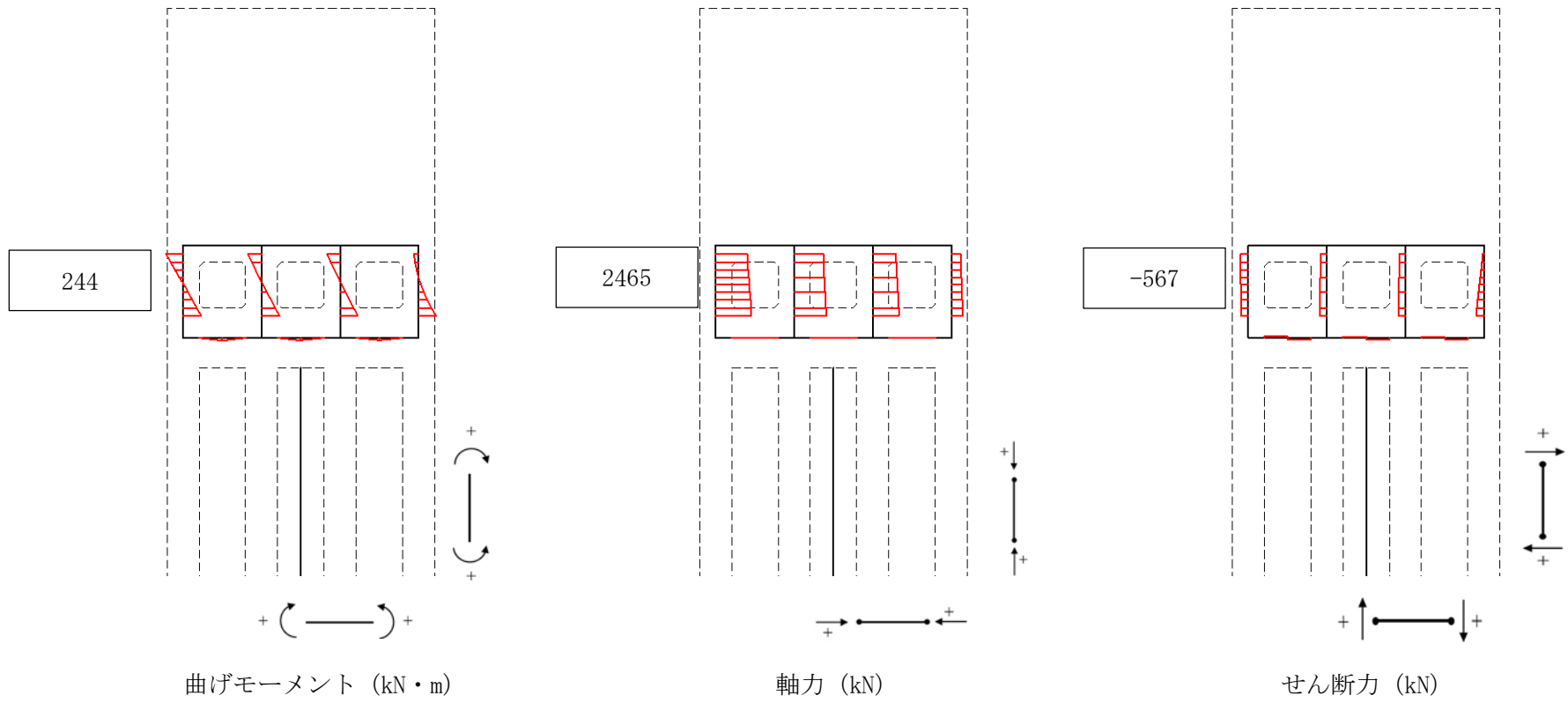
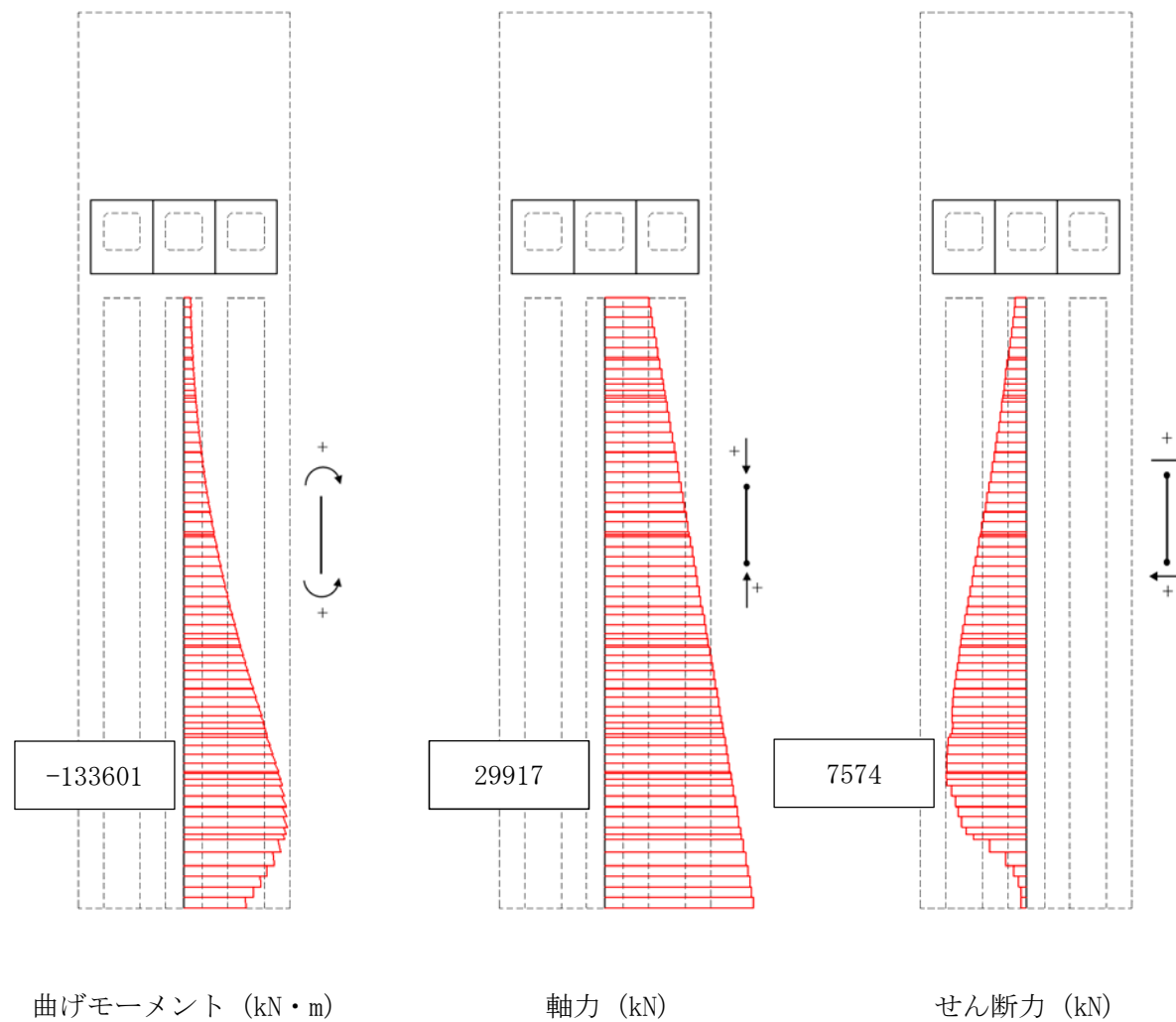


図 5.1-9 (15) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 14$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 31.95 \text{ s}$)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (16) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-14 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=31.61$ s)

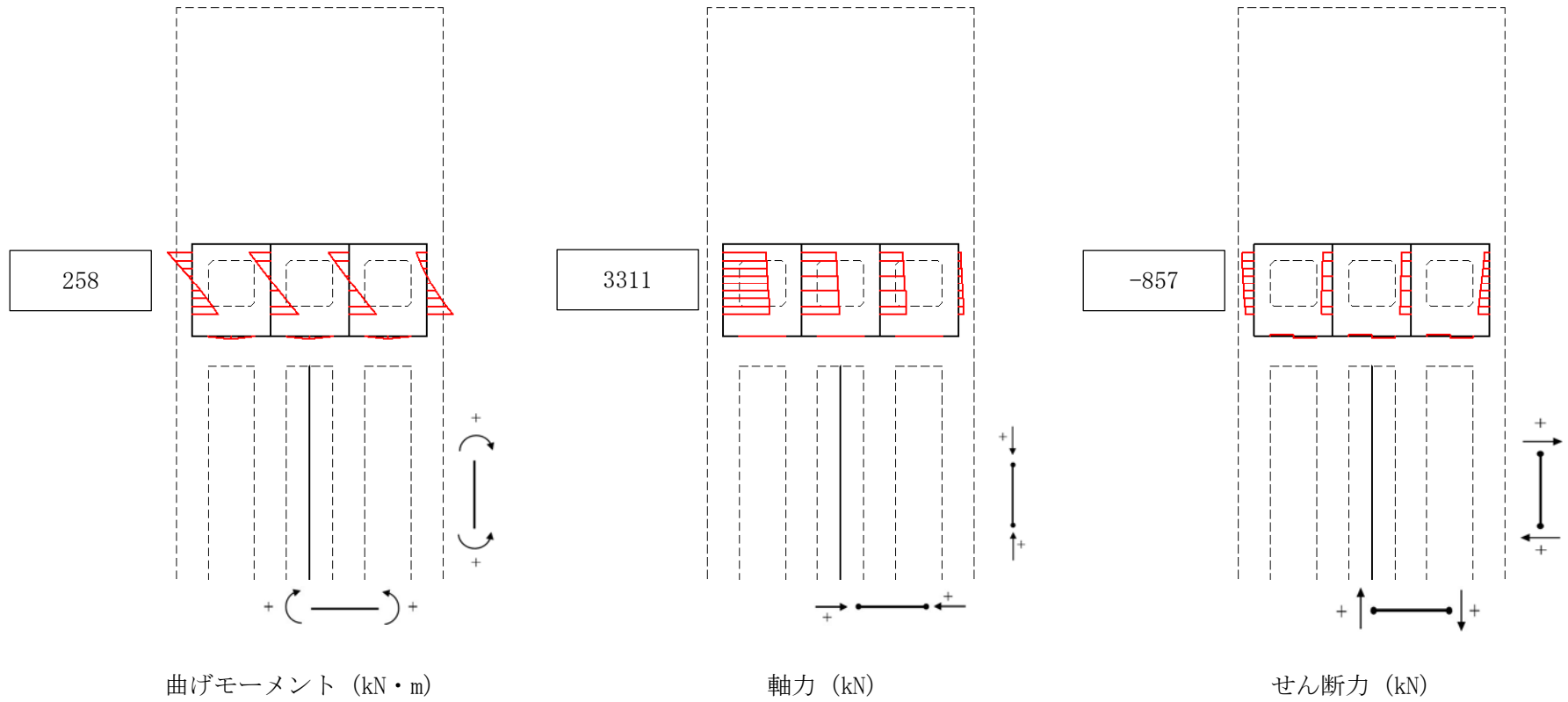
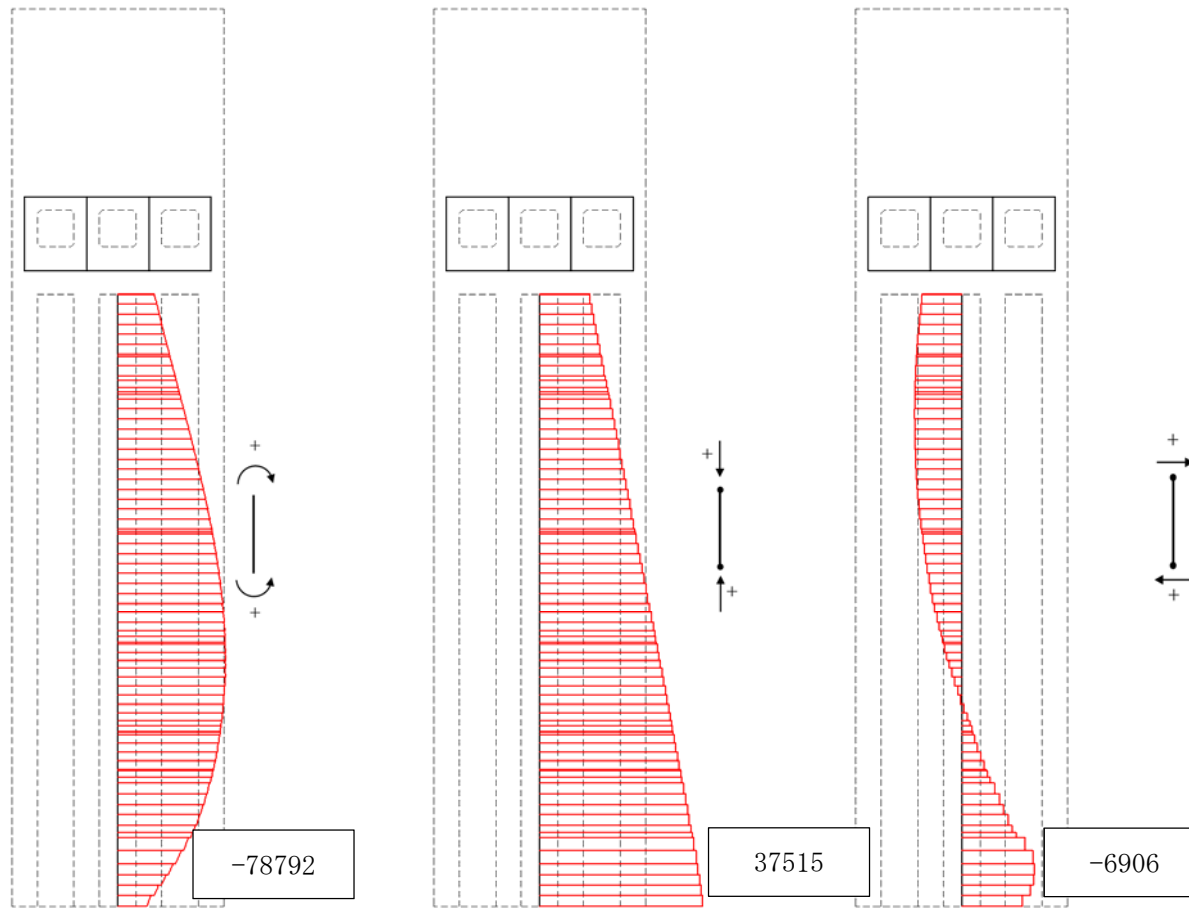


図 5.1-9 (17) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 21$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 61.76 \text{ s}$)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (18) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の $S_s - 2 1$ において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 61.76 \text{ s}$)

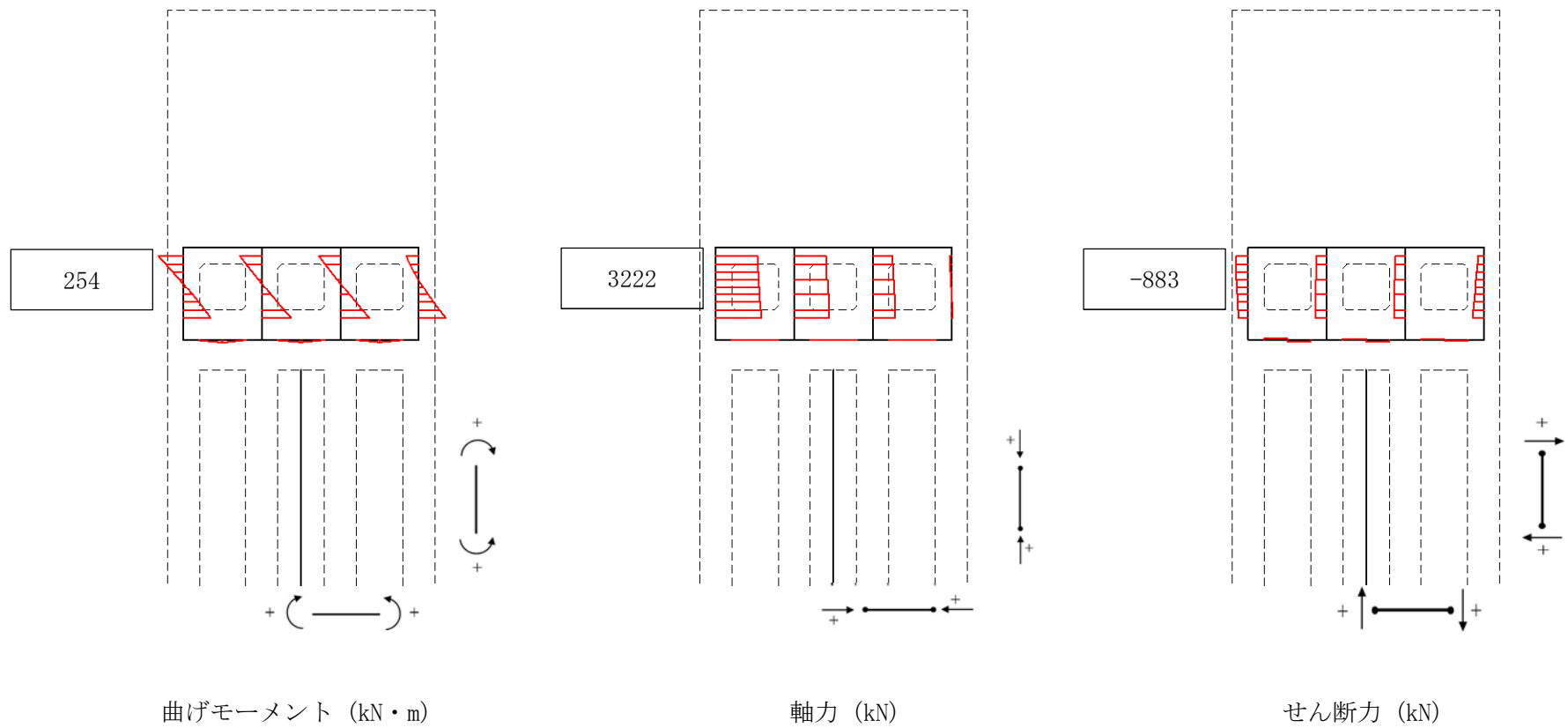
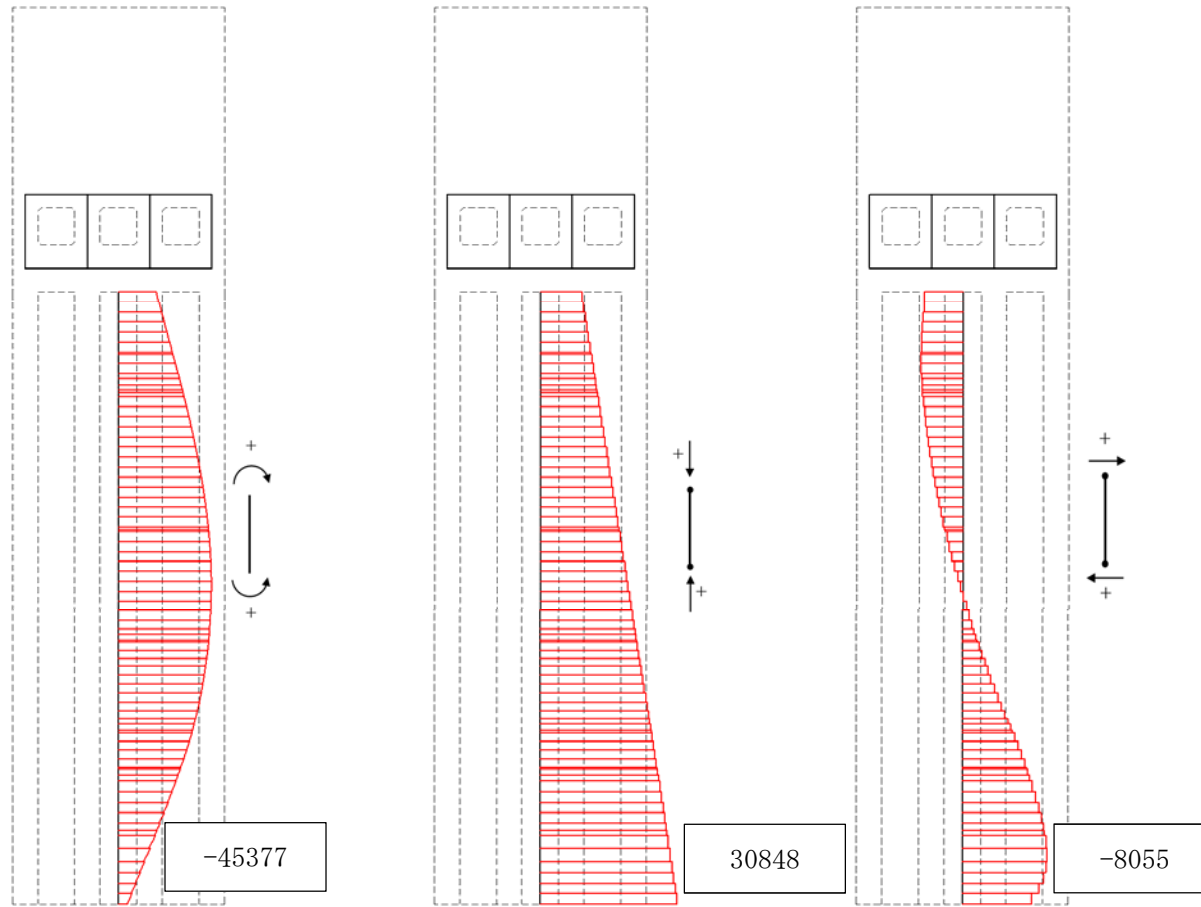


図 5.1-9 (19) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 22$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 69.54$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (20) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の S_s-2 2 において
最も厳しい照査値となる時刻の断面力 (t = 72.85 s)

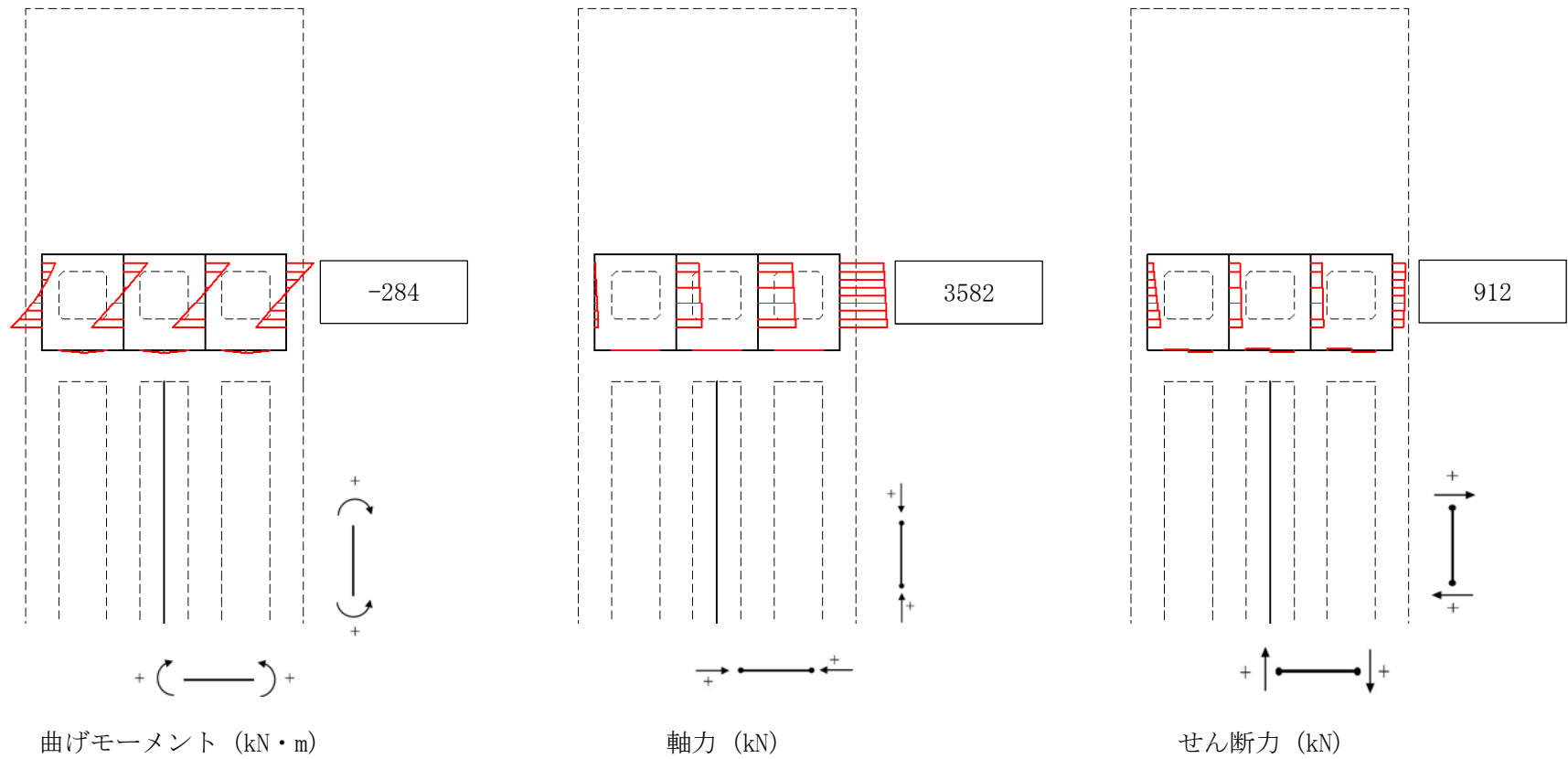
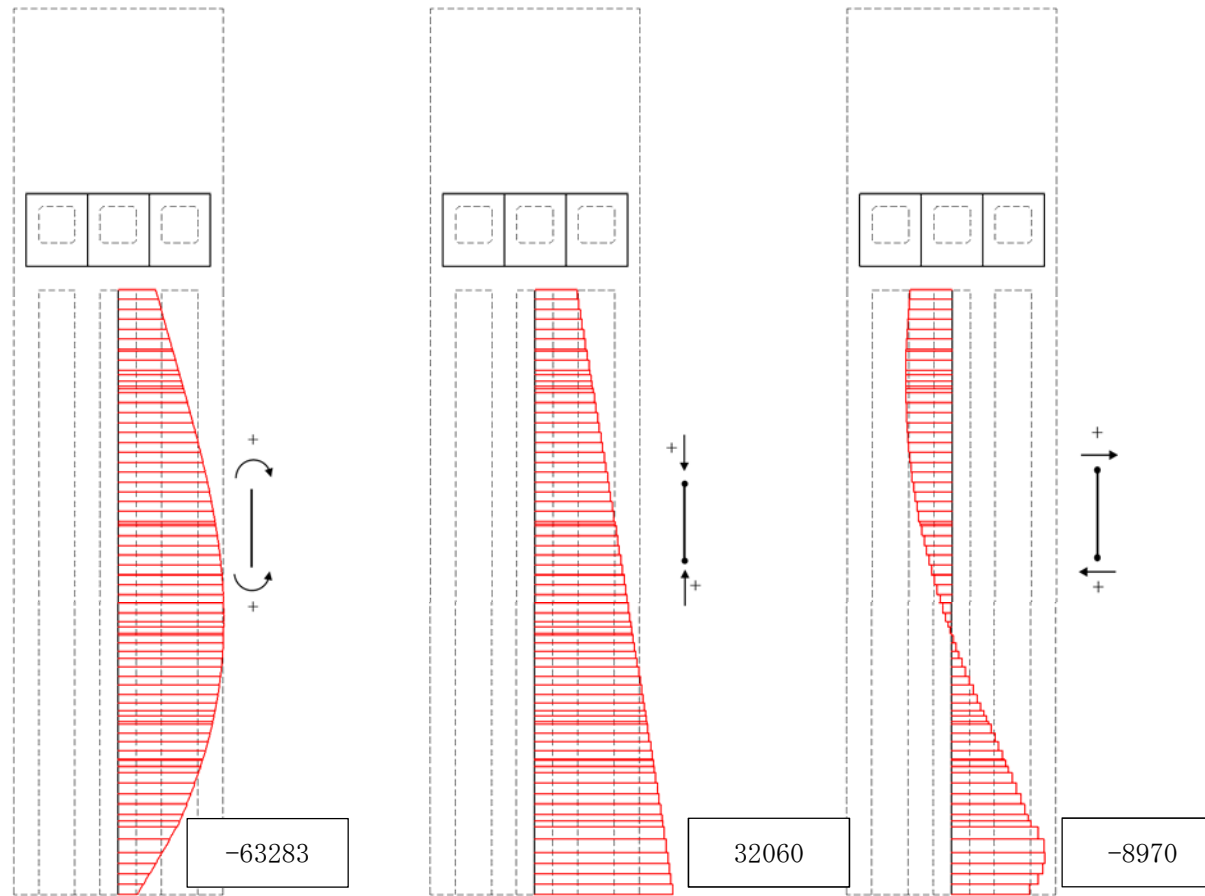


図 5.1-9 (21) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 3.1$ [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.81$ s)



曲げモーメント (kN・m) 軸力 (kN) せん断力 (kN)
 図 5.1-9 (22) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の $S_s - 3 1$ [H+, V+] において
 最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.49$ s)

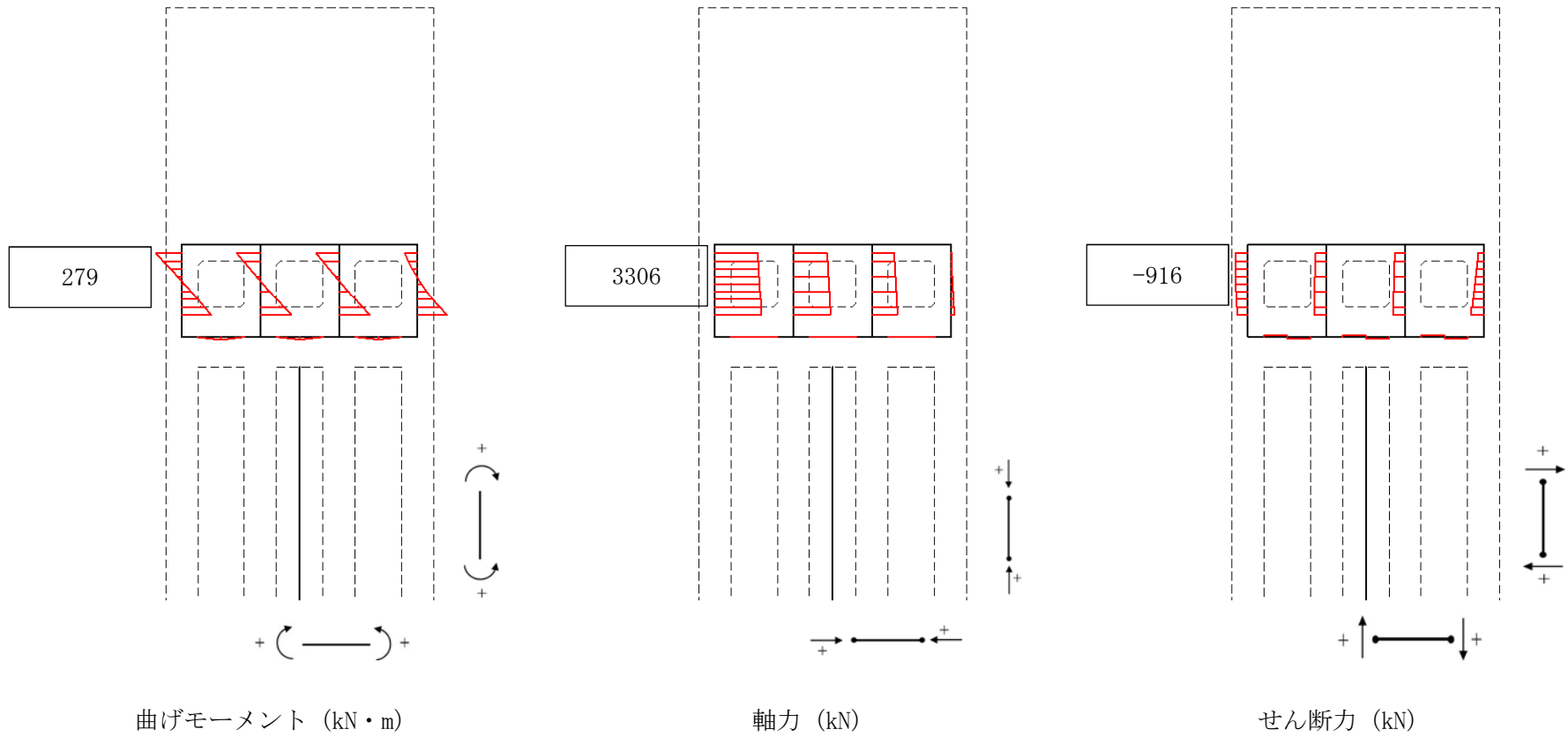
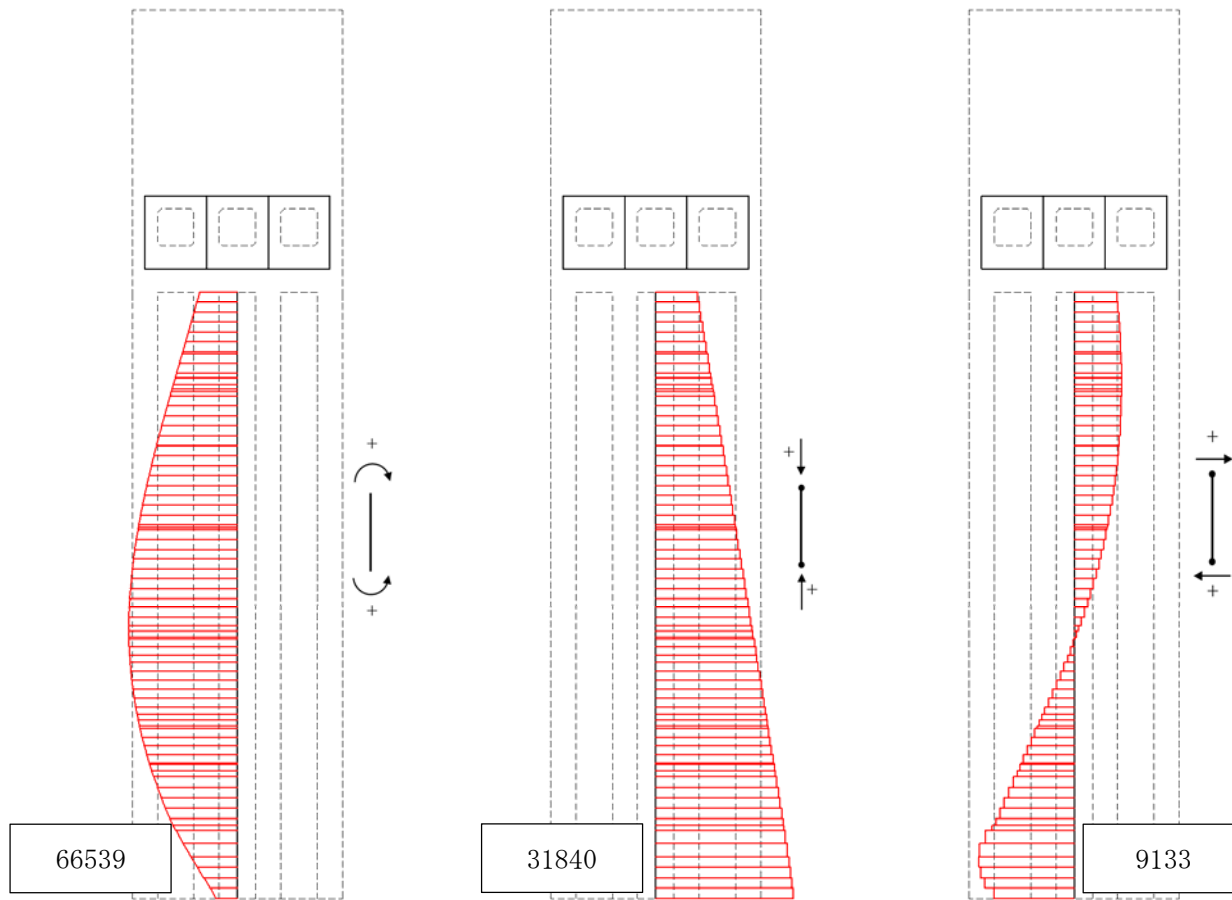


図 5.1-9 (23) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (上部構造) の $S_s - 31$ [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 (t = 8.81 s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-9 (24) 防潮壁縦断方向 (防潮壁部) (下部構造) の $S_s - 31$ [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.49$ s)

表 5.1-9 (1) 防潮壁縦断方向（放水路ゲート部）（上部構造）の各地震波に対して最も厳しい照査値とその照査項目及び評価位置の結果

地震波	位相	抽出照査値と照査項目			
		照査値	照査項目	評価位置	
S _s -D1	H+, V+	0.44	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	6
	H+, V-	0.44	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	6
	H-, V+	0.45	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	1
	H-, V-	0.44	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	1
S _s -11		0.23	曲げ軸力照査（鉄筋）	放水路頂版	15
S _s -12		0.30	せん断力照査	放水路左側壁	22
S _s -13		0.31	せん断力照査	放水路左側壁	22
S _s -14		0.27	せん断力照査	放水路右側壁	28
S _s -21		0.41	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	6
S _s -22		0.50	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	6
S _s -31	H+, V+	0.46	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	6
	H-, V+	0.46	曲げ軸力照査（鉄筋）	ゲート頂版	1

表 5.1-9 (2) 防潮壁縦断方向（放水路ゲート部）（下部構造）の各地震波に対して最も厳しい照査値とその照査項目及び評価位置の結果

地震波	位相	抽出照査値と照査項目			
		照査値	照査項目	評価位置	
S _s -D1	H+, V+	0.46	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
	H+, V-	0.46	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
	H-, V+	0.46	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
	H-, V-	0.46	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -11		0.21	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -12		0.38	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -13		0.37	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -14		0.36	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -21		0.30	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -22		0.36	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
S _s -31	H+, V+	0.39	せん断力照査	地中連続壁基礎	36
	H-, V+	0.40	せん断力照査	地中連続壁基礎	36

注記 : 評価位置は図 5.1-6 に示す。

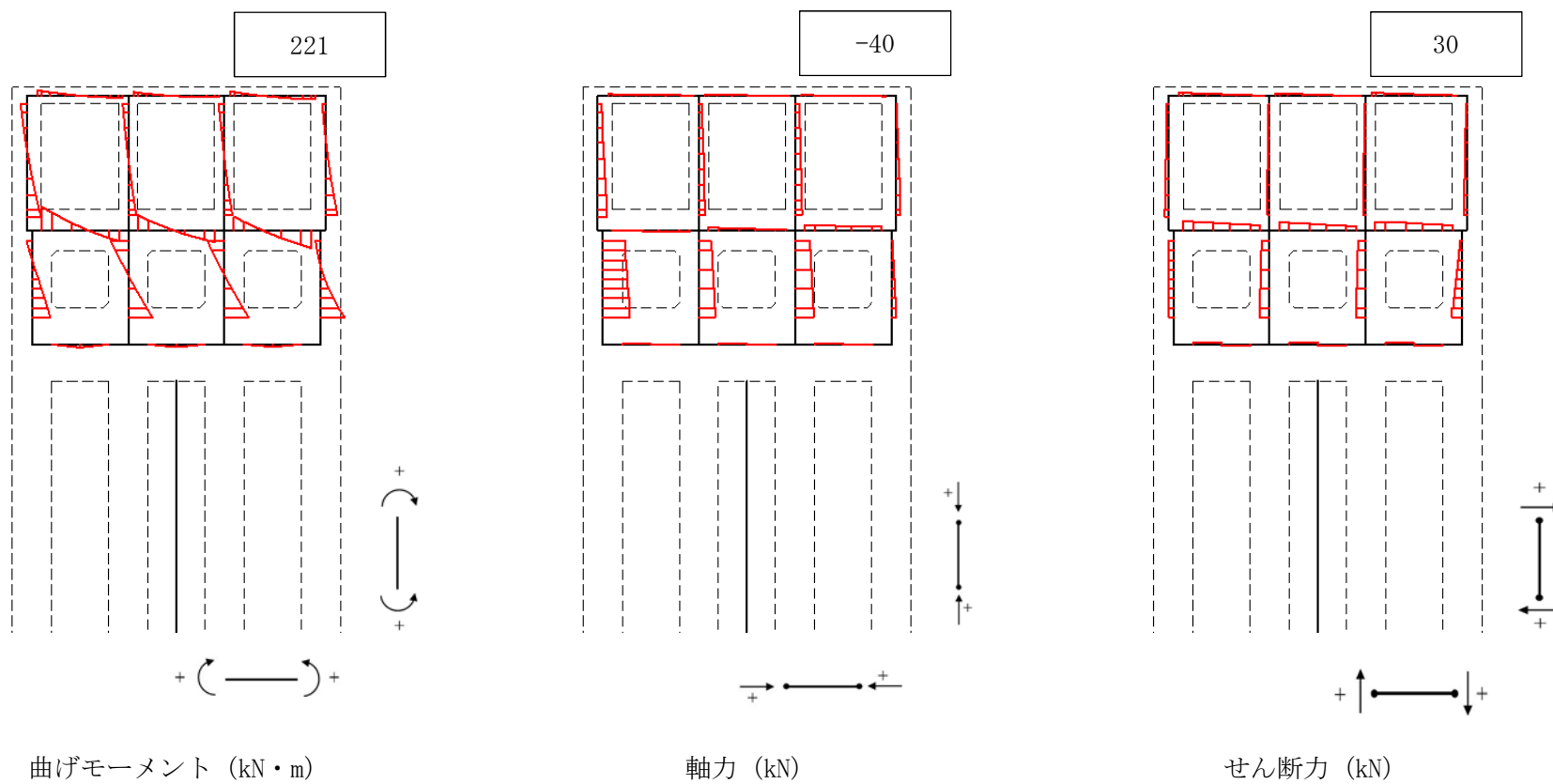
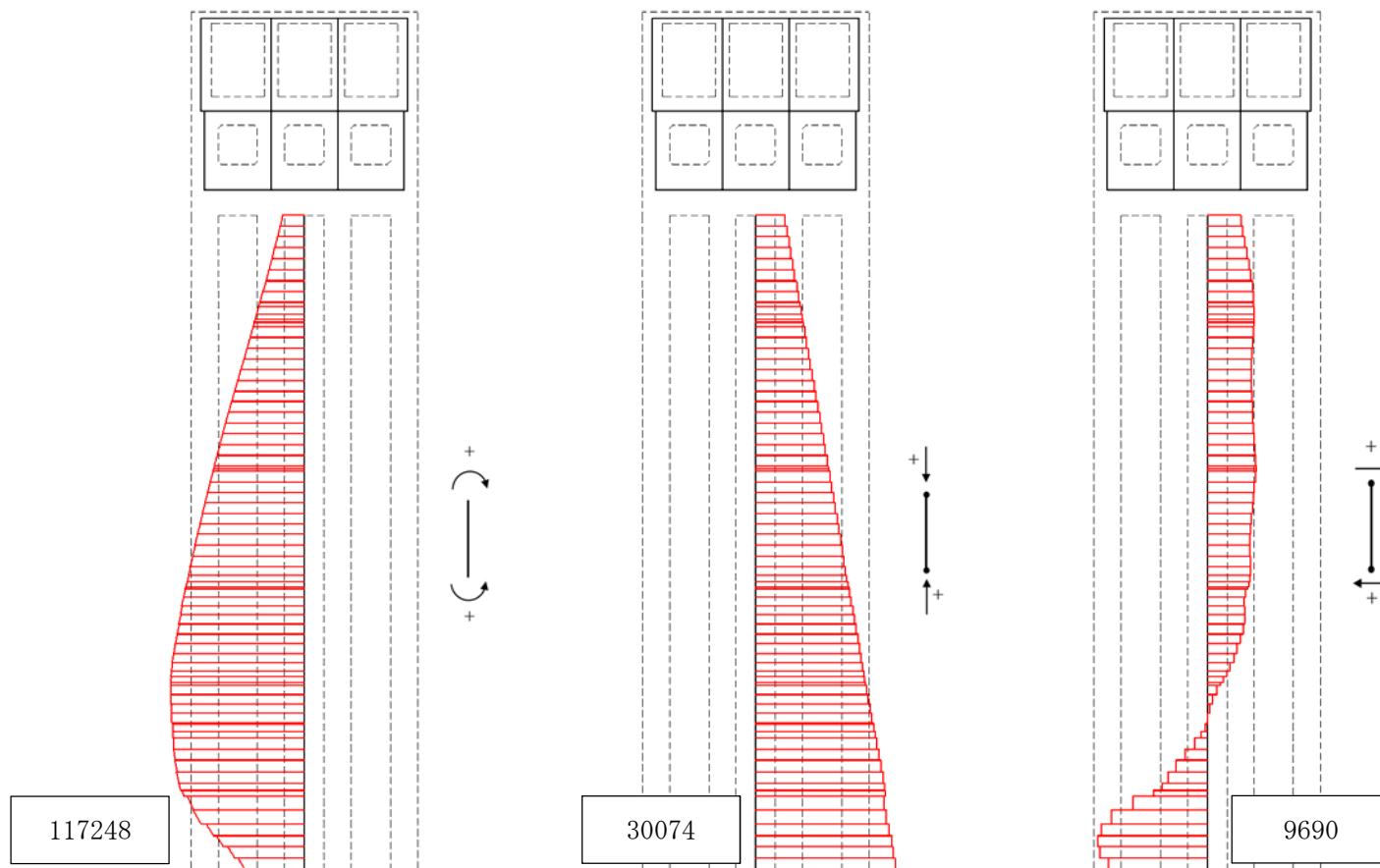


図 5.1-10 (1) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の S_s-D1 [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.95$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (2) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-D1 [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.69$ s)

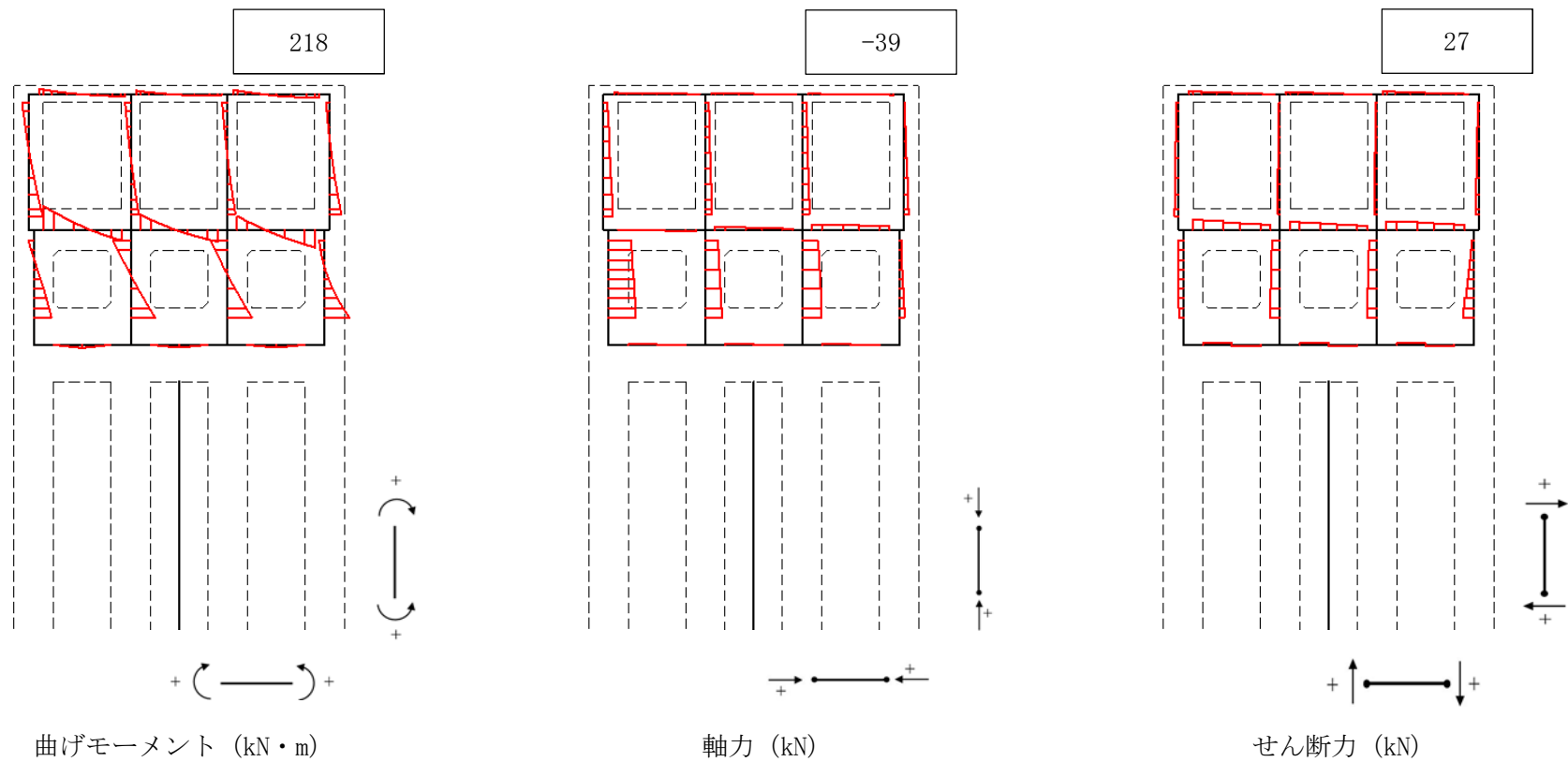
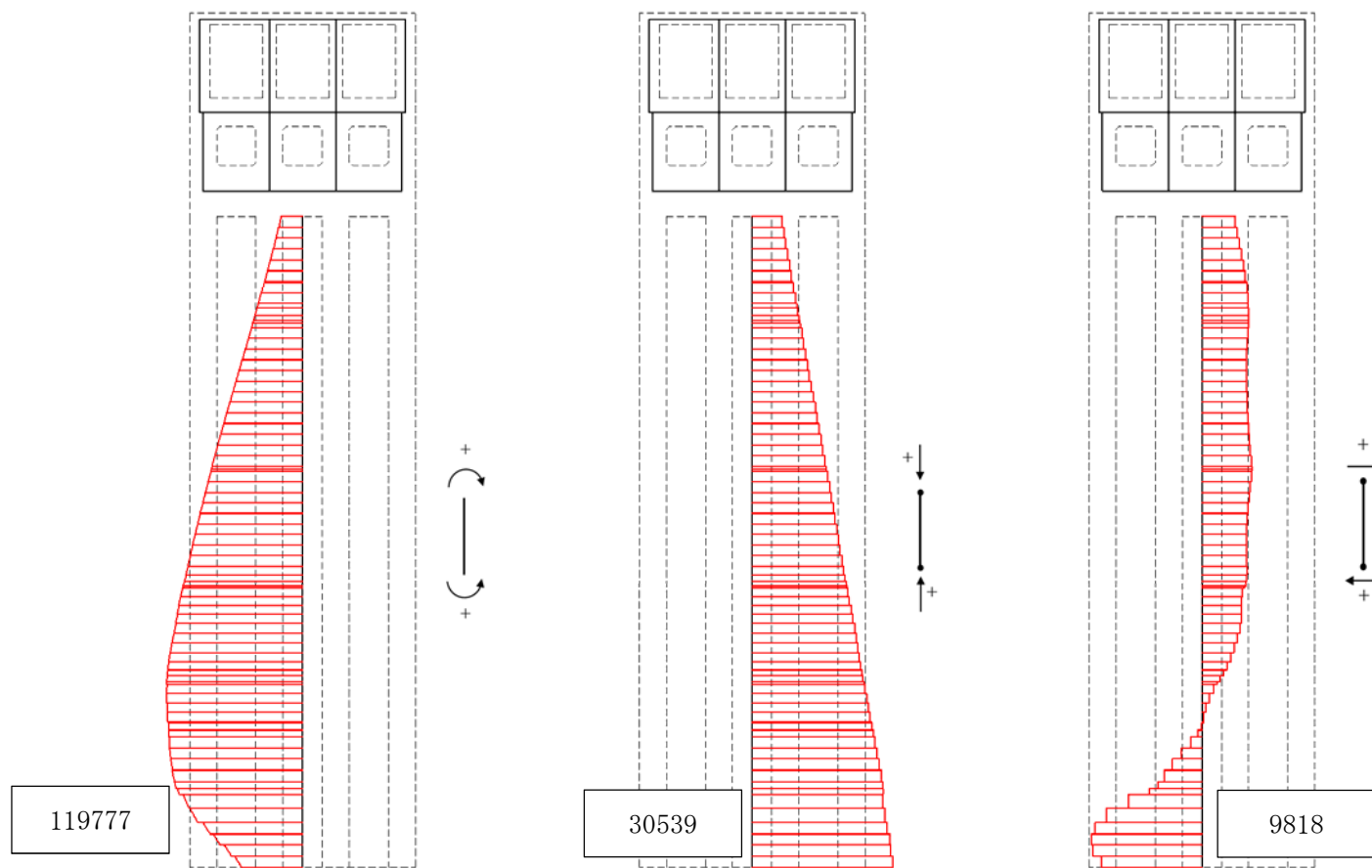


図 5.1-10 (3) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の S_s-D1 [H+, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=53.95$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (4) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-D 1 [H+, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 (t = 53.69 s)

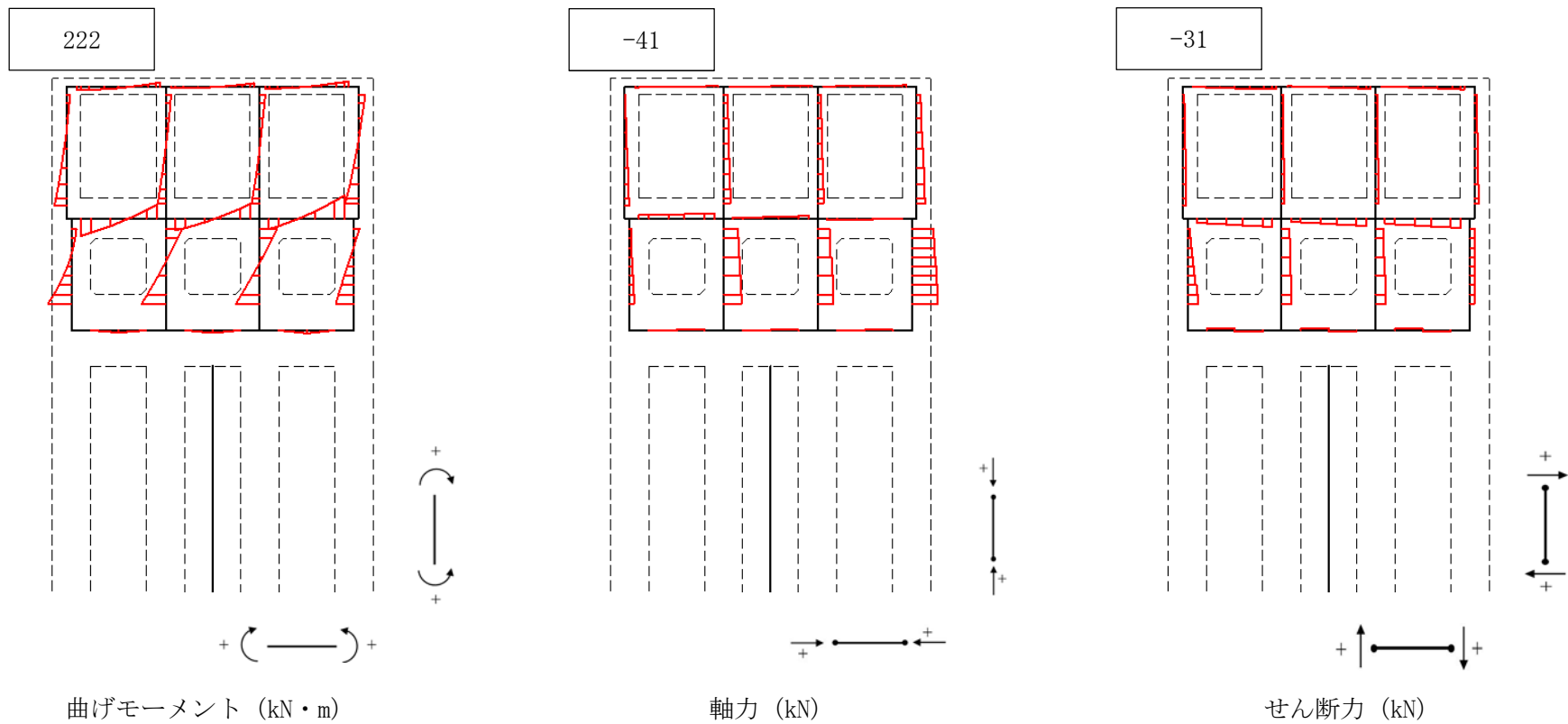
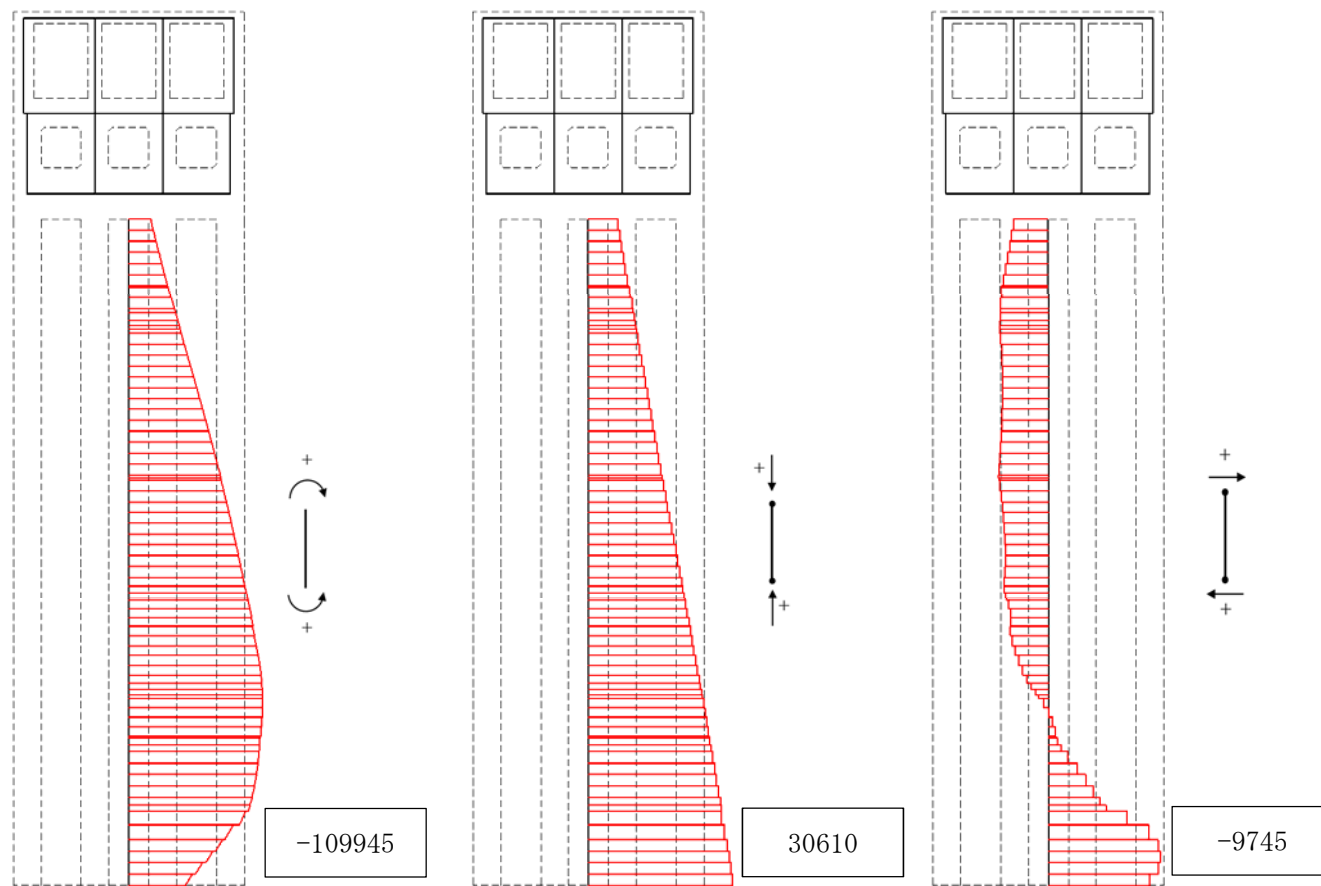


図 5.1-10 (5) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の S_s-D1 [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.95$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (6) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-D1 [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.69$ s)

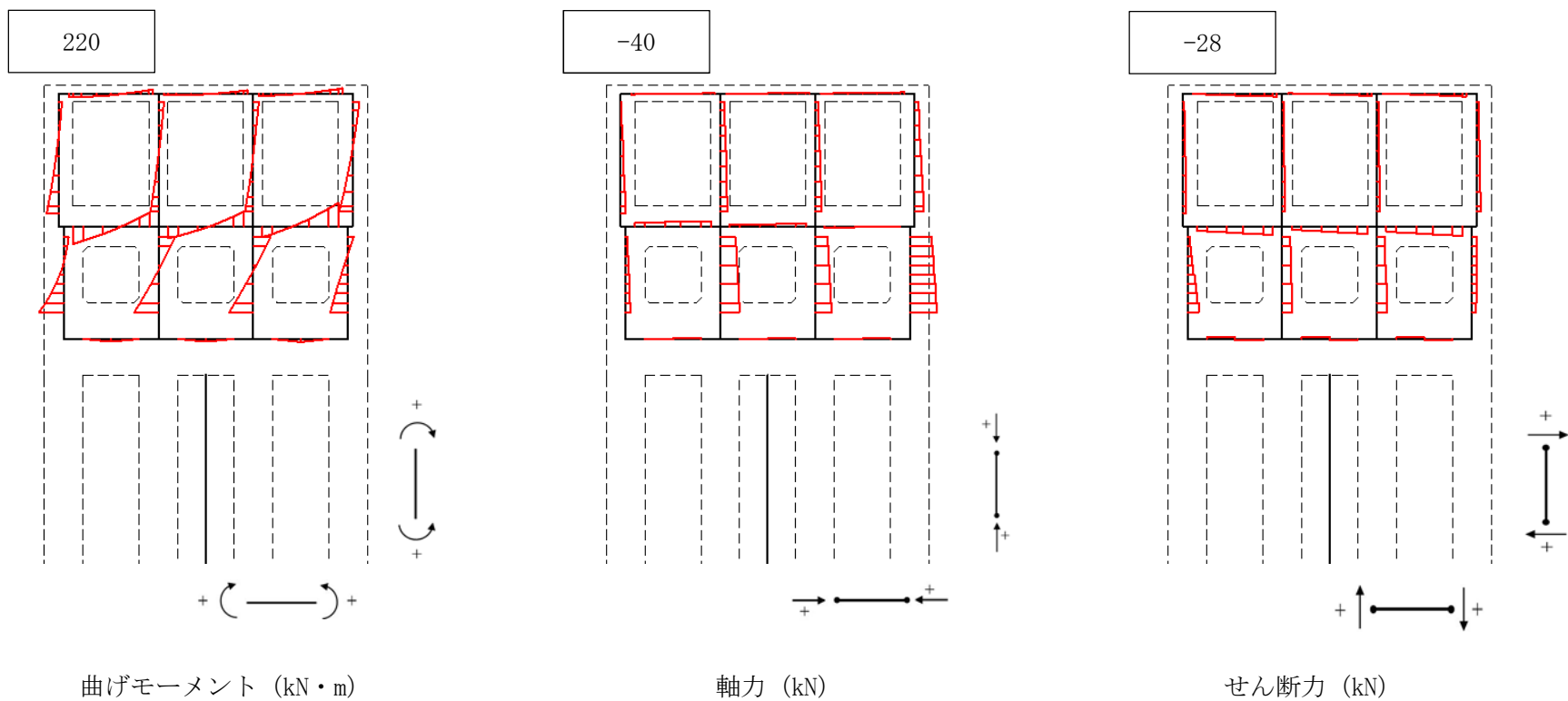
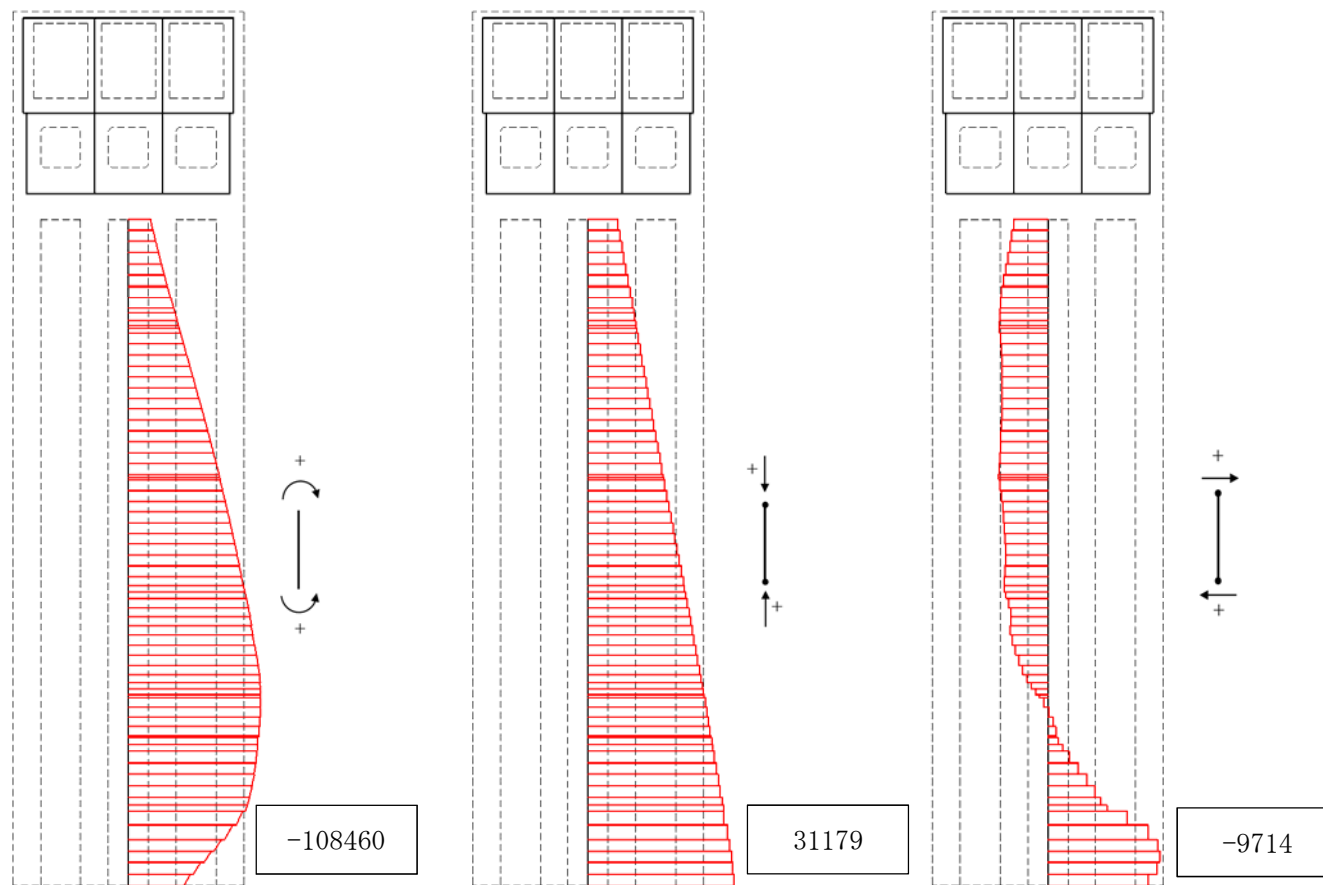


図 5.1-10 (7) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.95$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (8) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-D1 [H-, V-] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 53.69$ s)

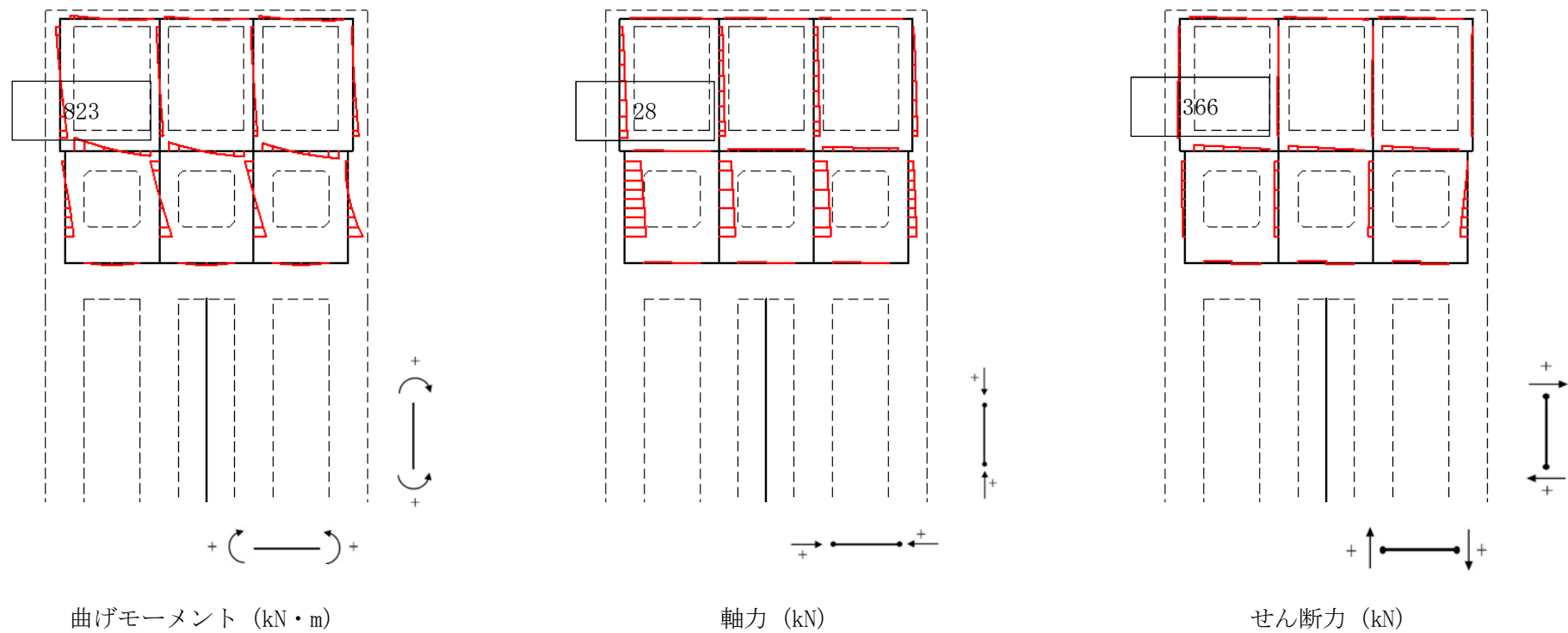
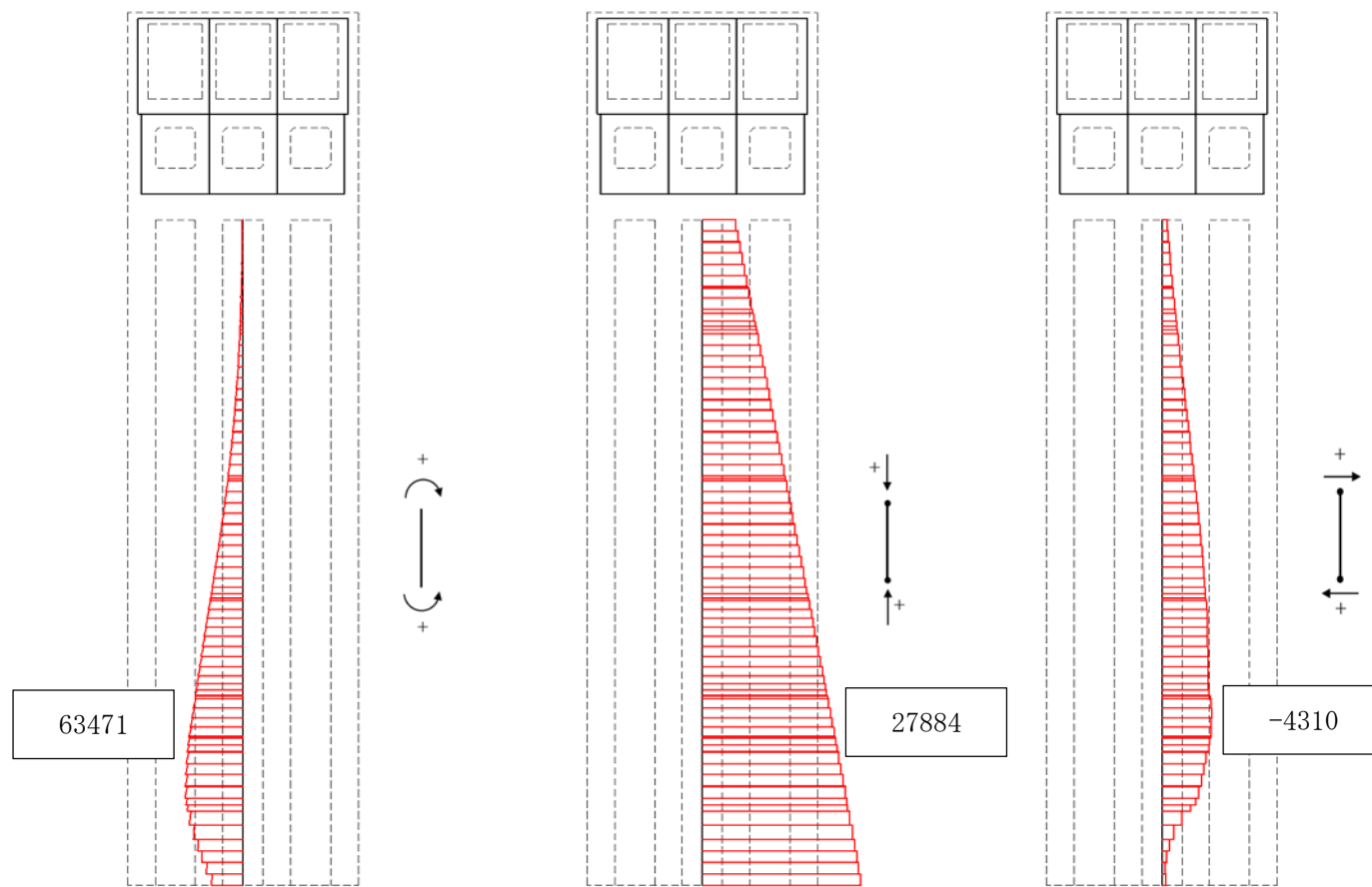


図 5.1-10 (9) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の S_s-11 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=26.75$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (10) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の $S_s - 11$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 24.46$ s)

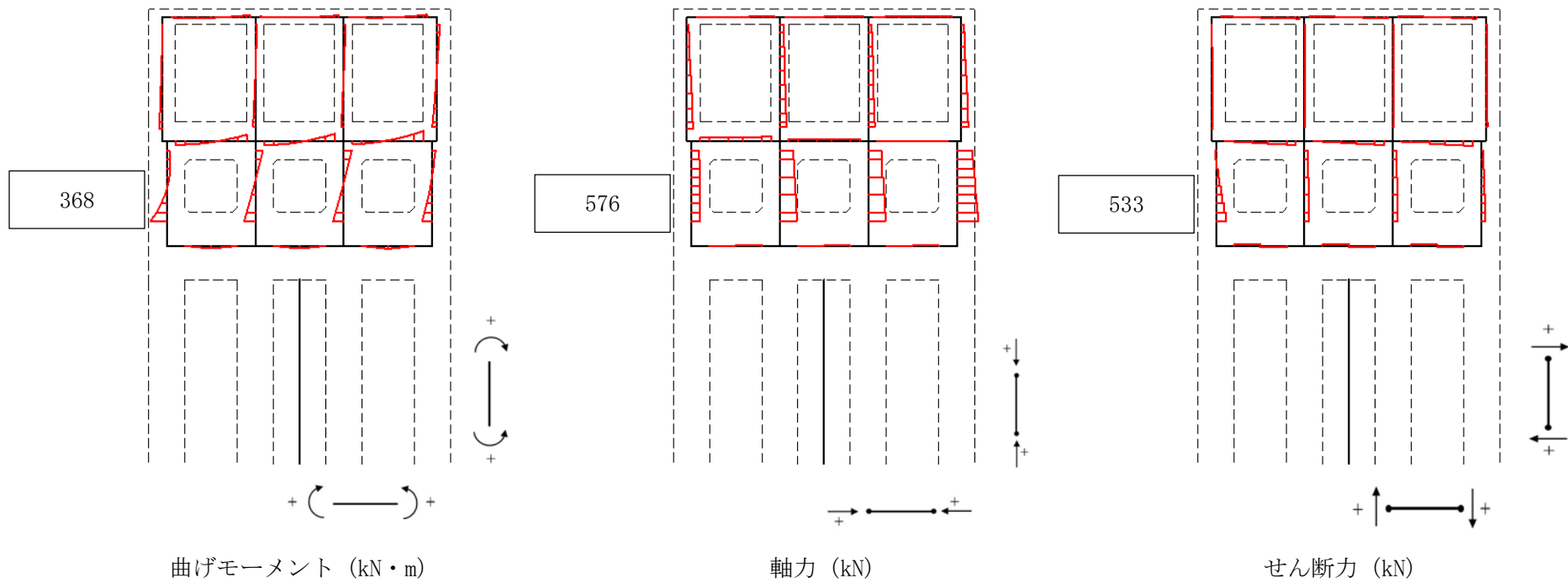
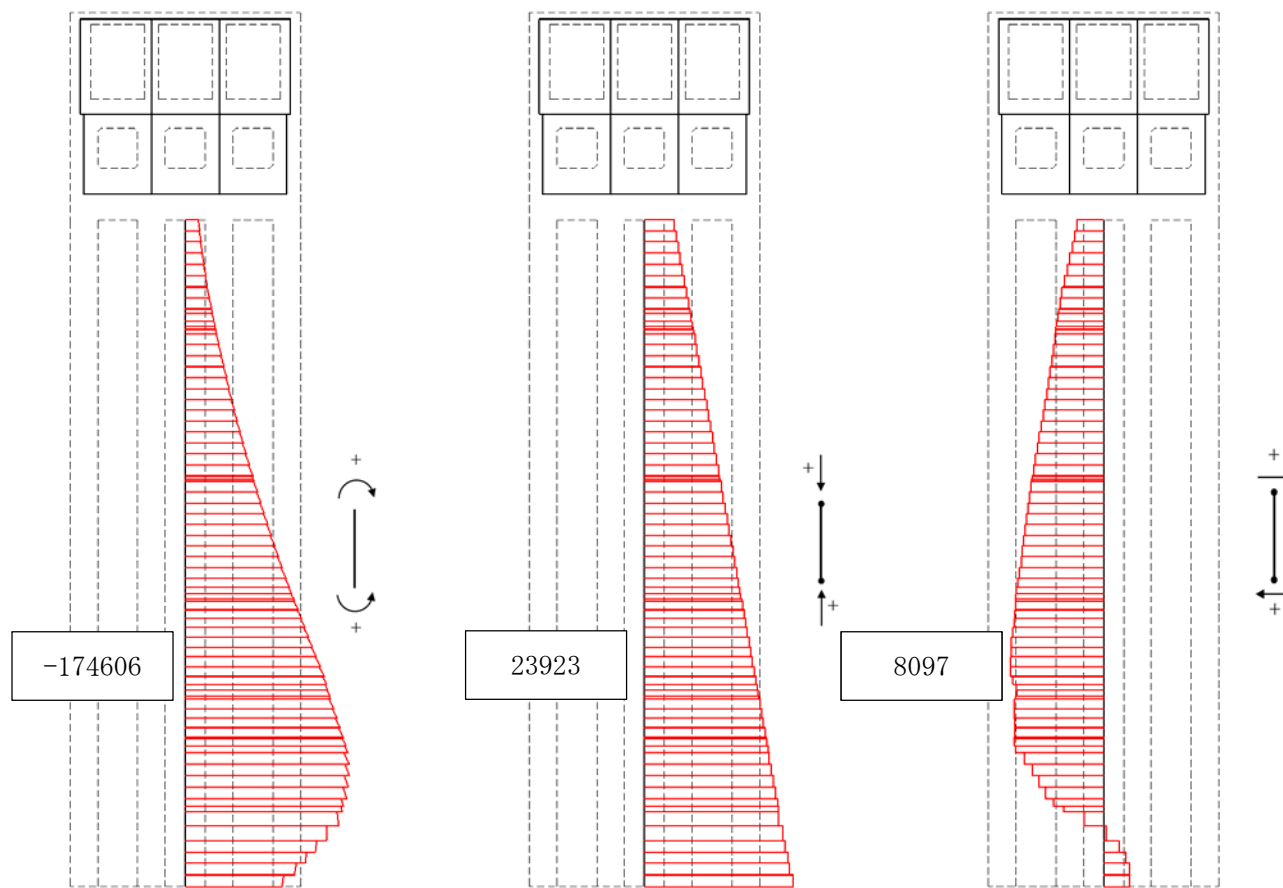


図 5.1-10 (11) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 12$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 33.62 \text{ s}$)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (12) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の $S_s - 12$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 31.84$ s)

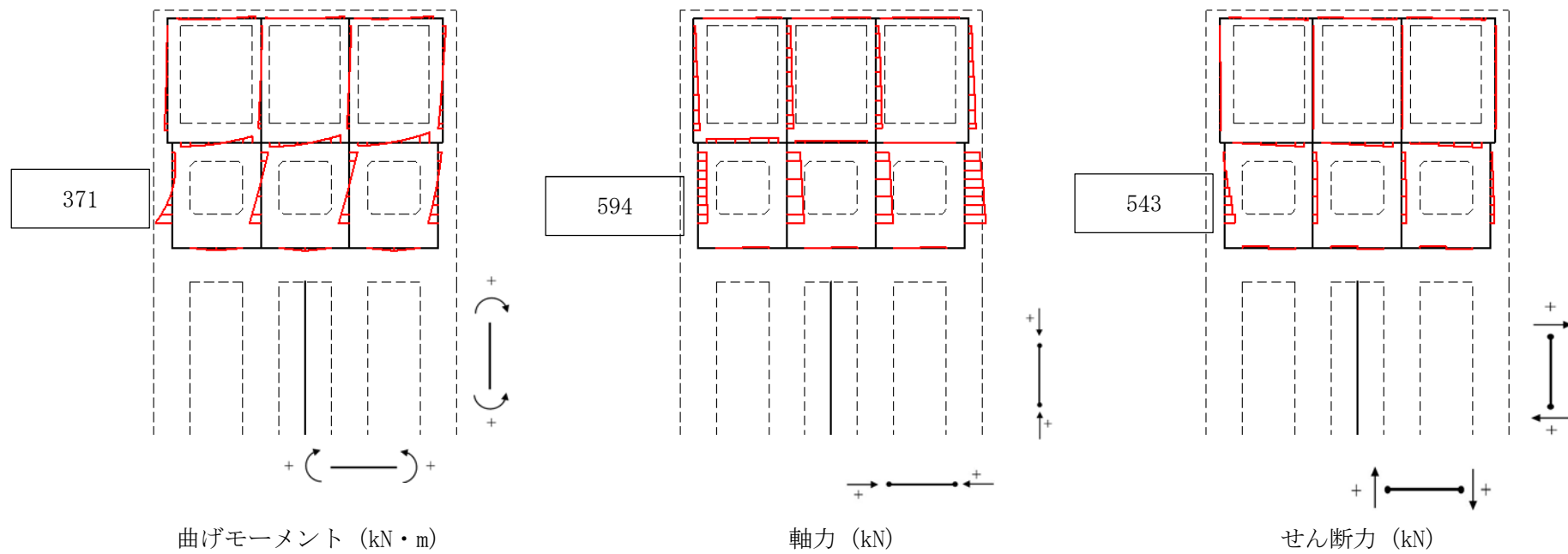
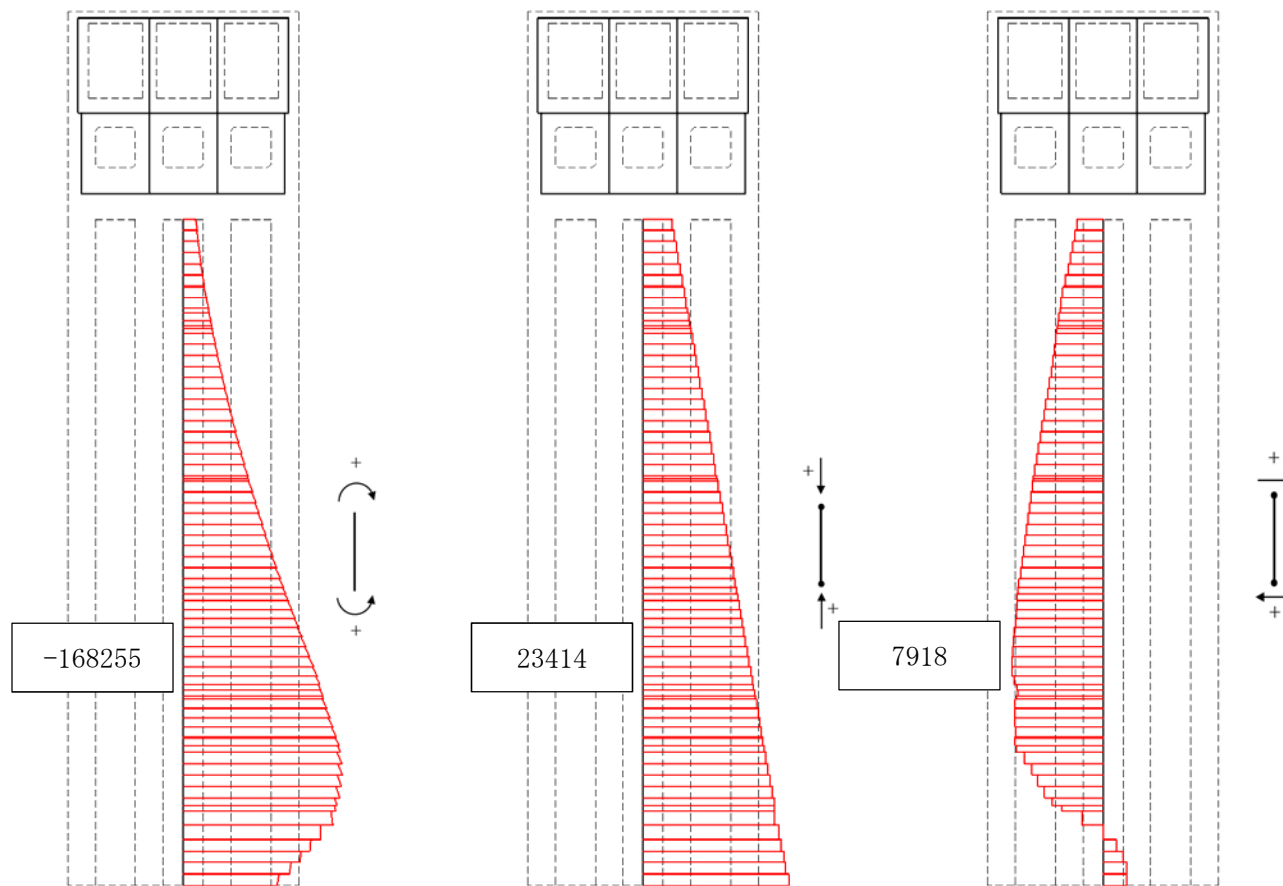


図 5.1-10 (13) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 13$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 30.84$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (14) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-13 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=29.06$ s)

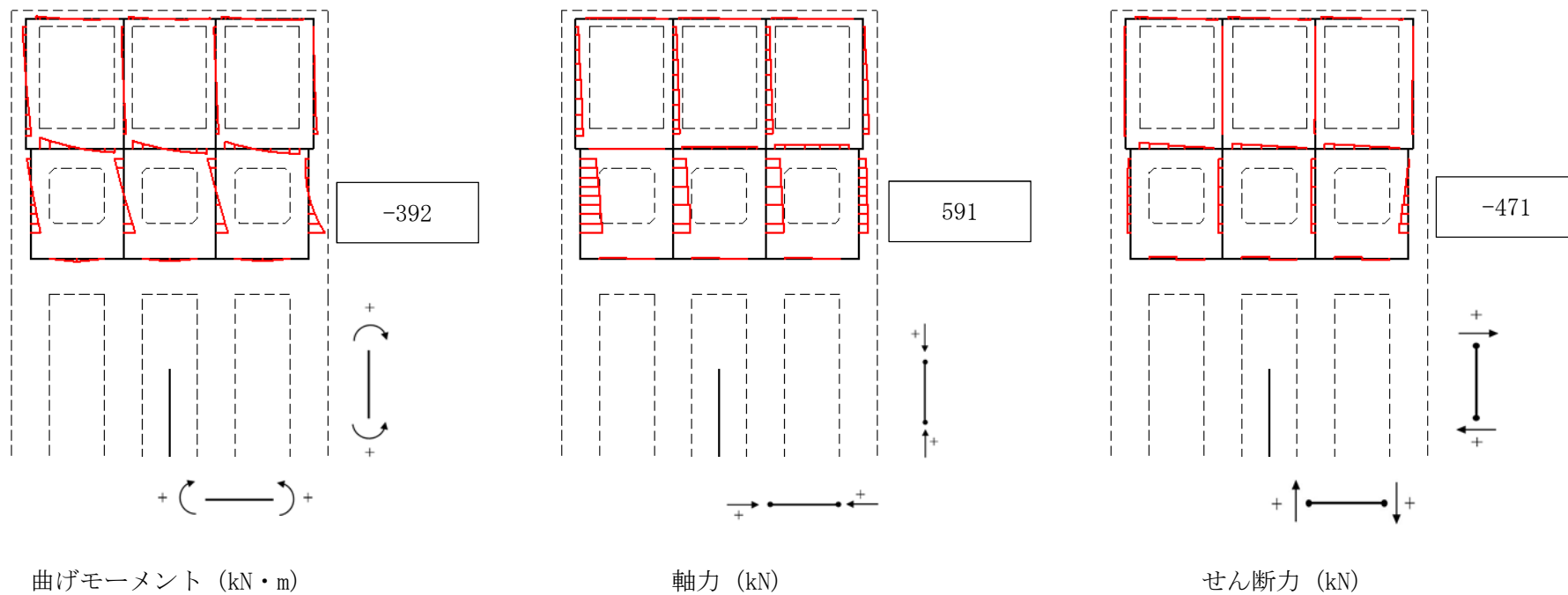
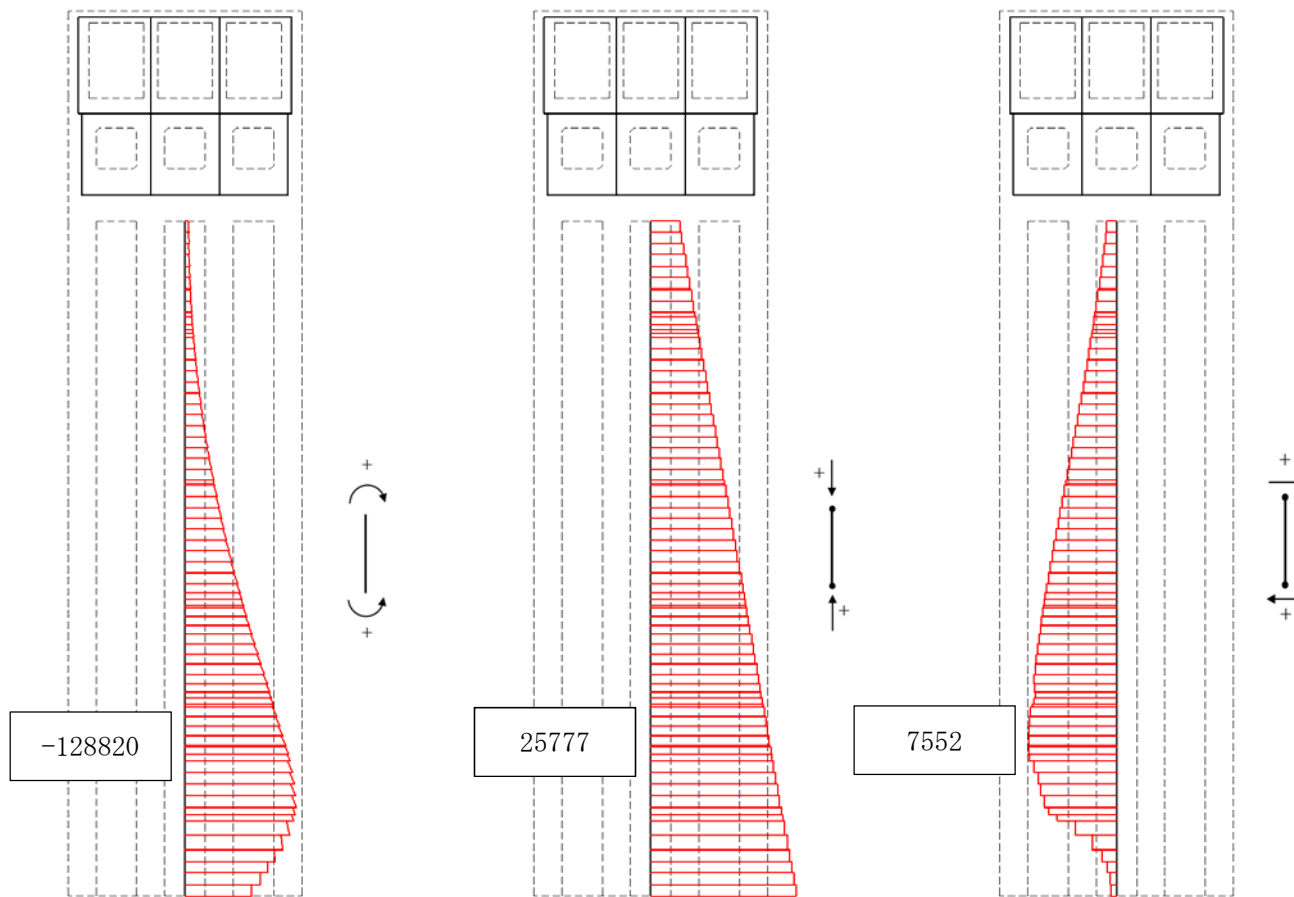


図 5.1-10 (15) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 14$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 32.02$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (16) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-14 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=31.61$ s)

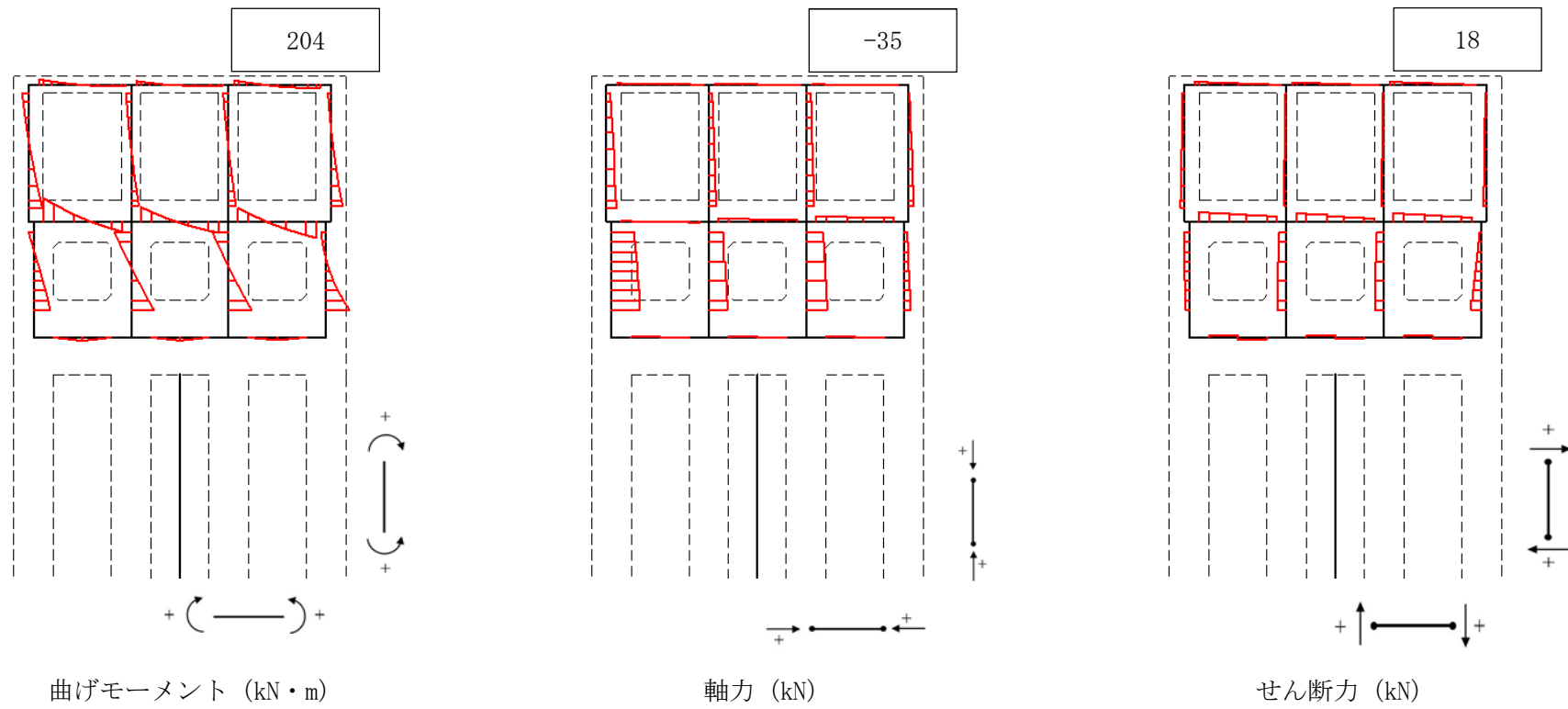
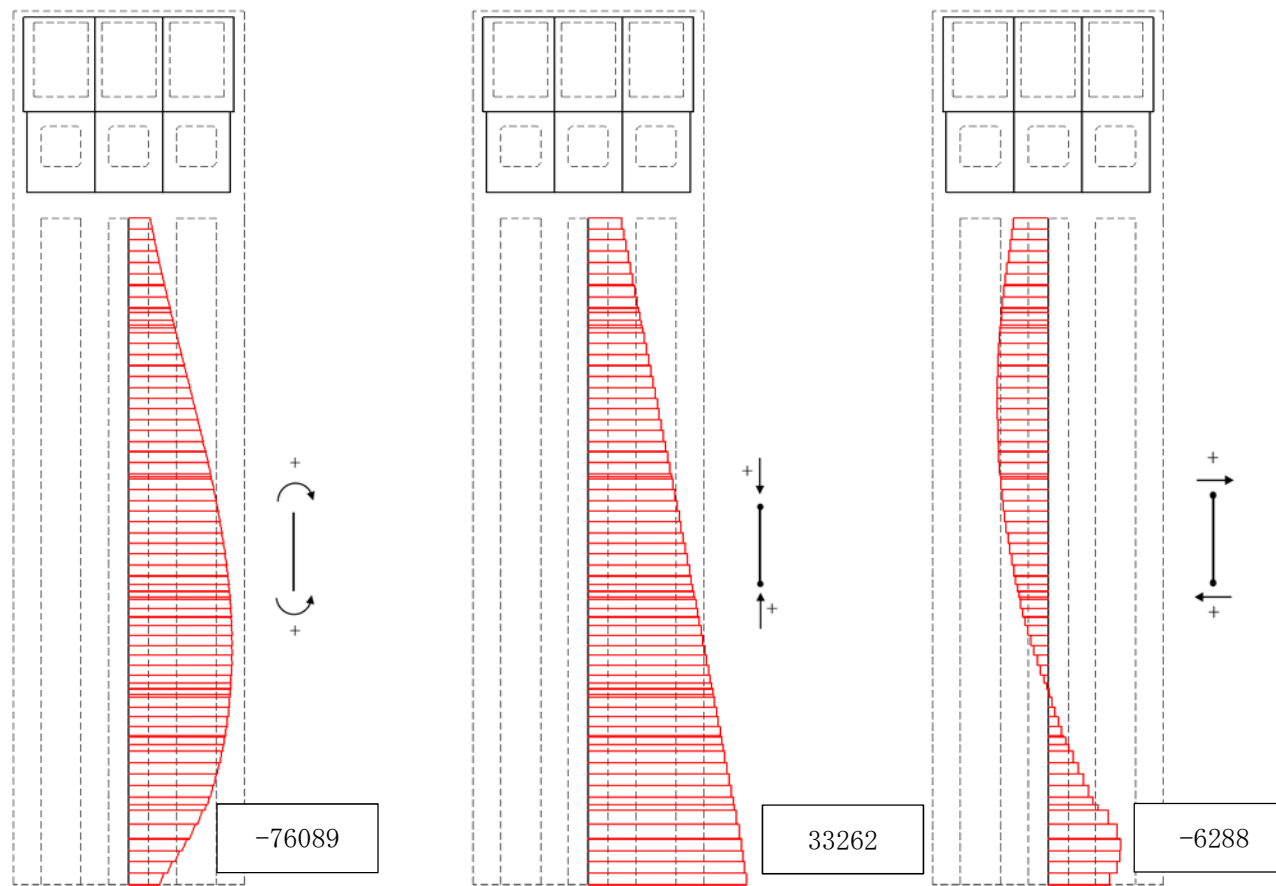


図 5.1-10 (17) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 21$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 61.75$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (18) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-21 において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 (t=61.76 s)

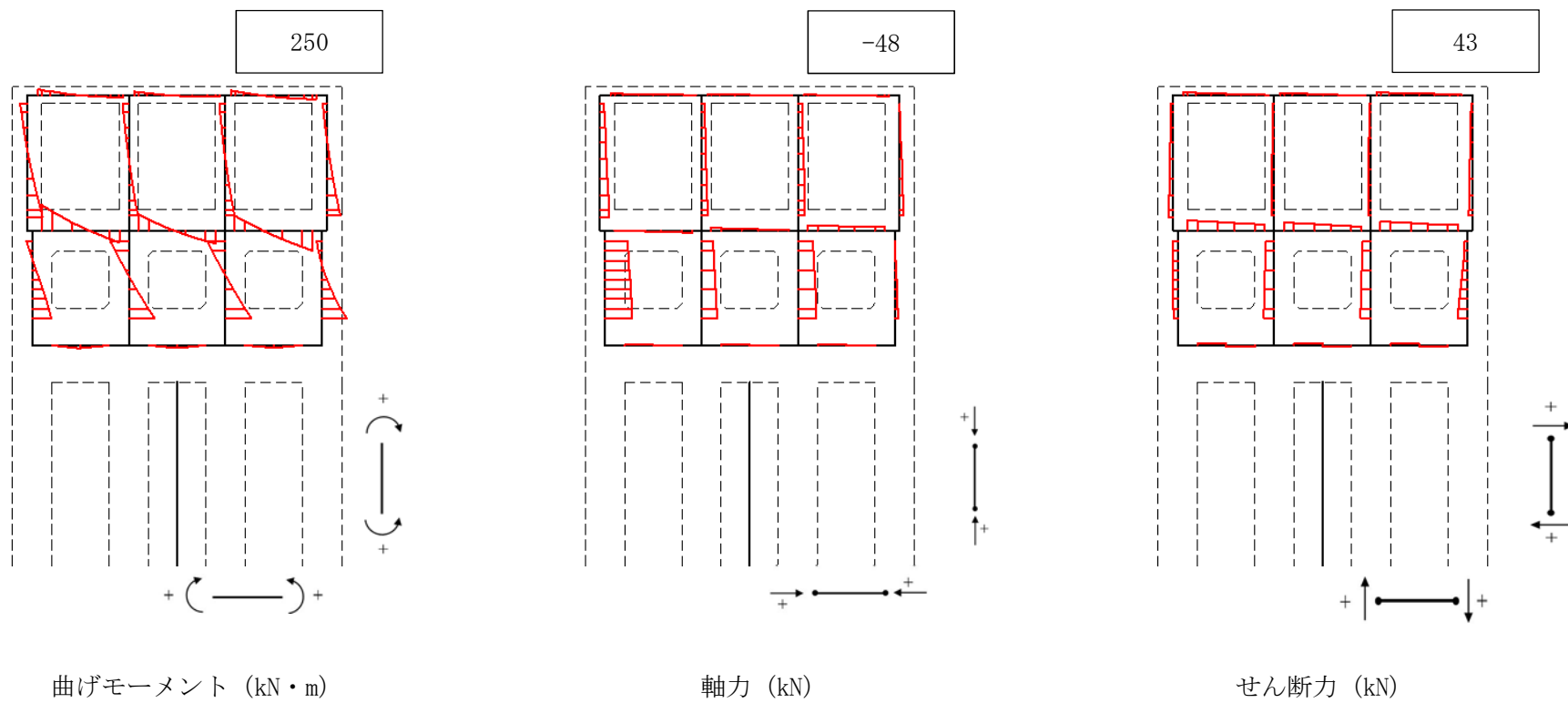
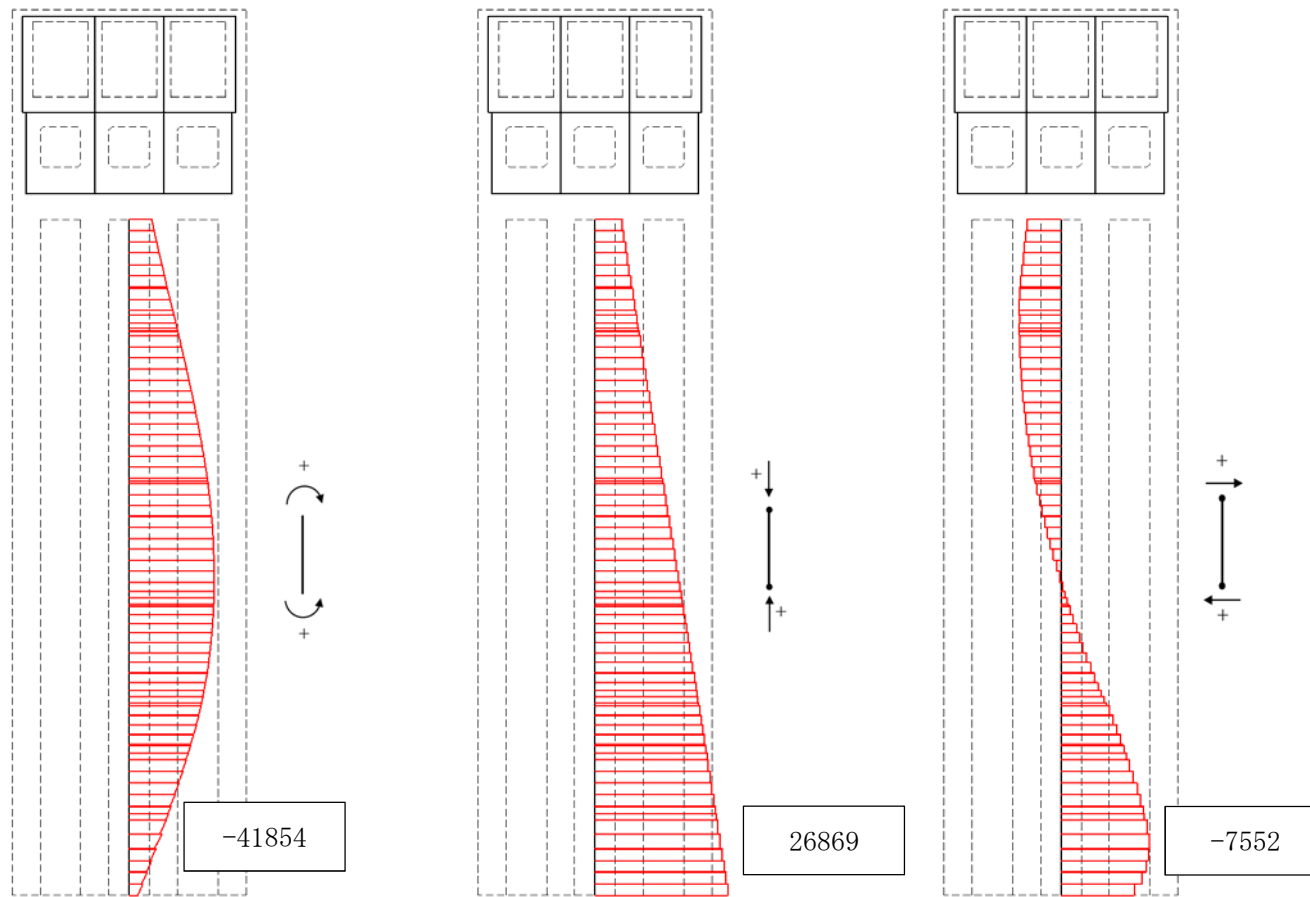


図 5.1-10 (19) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 22$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 69.52$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (20) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の $S_s - 22$ において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 72.85$ s)

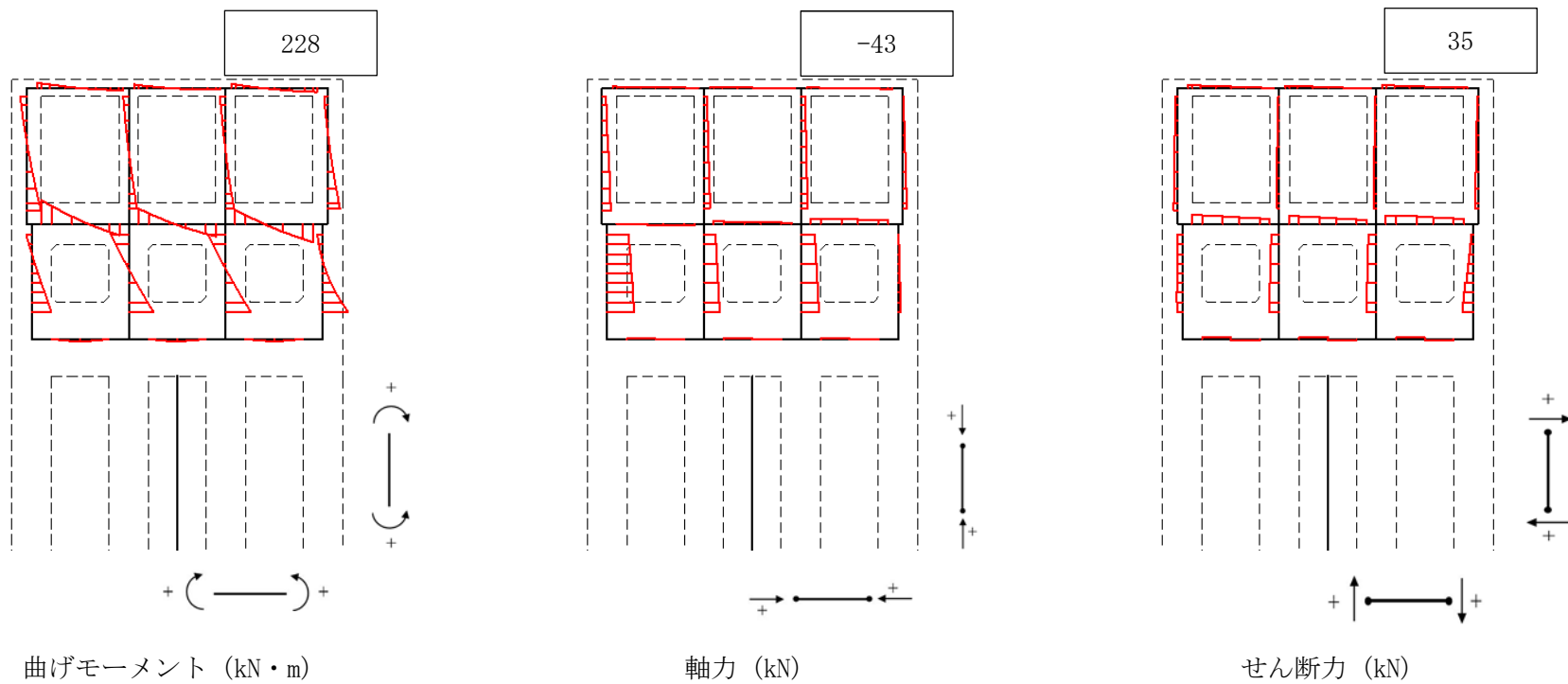
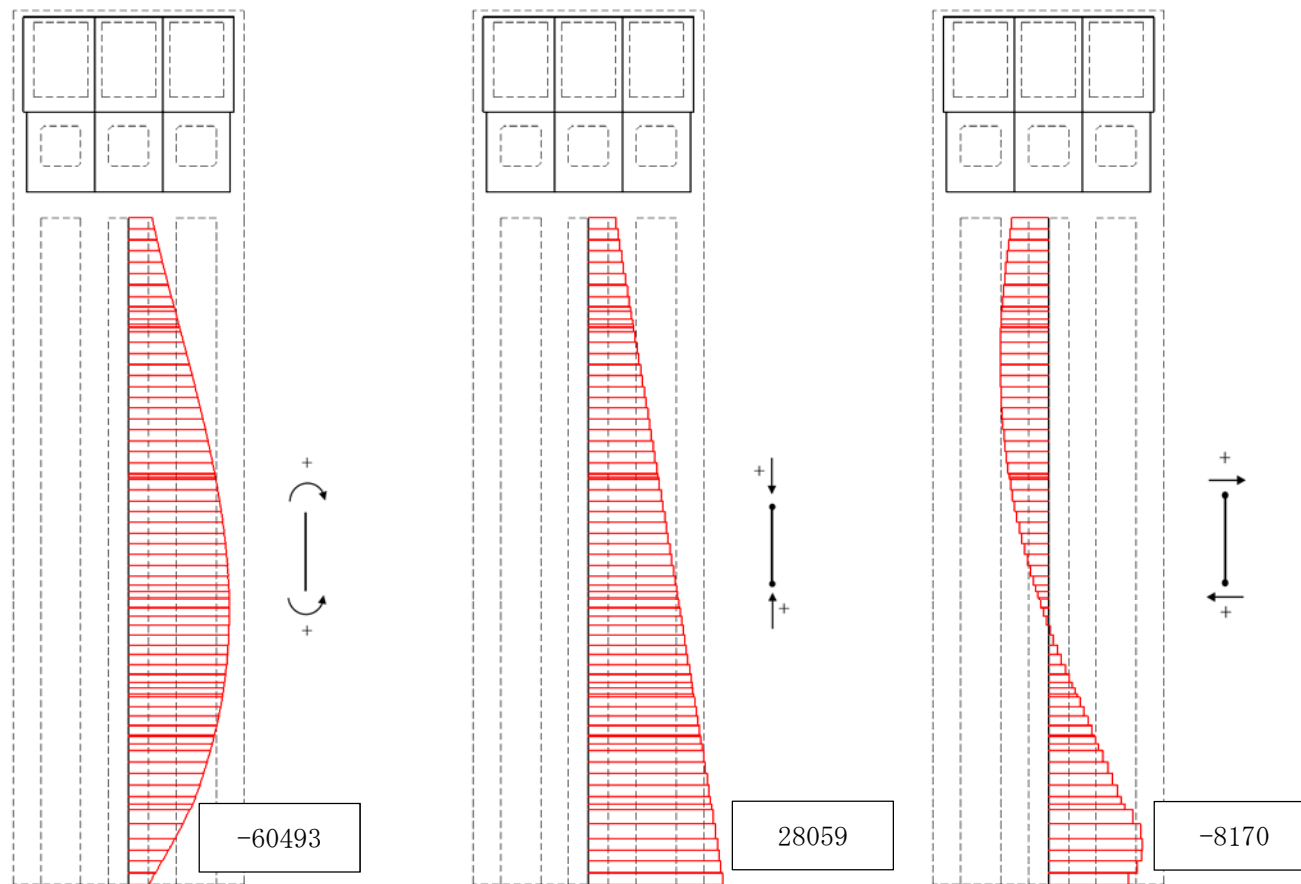


図 5.1-10 (21) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 3 1$ [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.44$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (22) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の $S_s - 3 1$ [H+, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.48$ s)

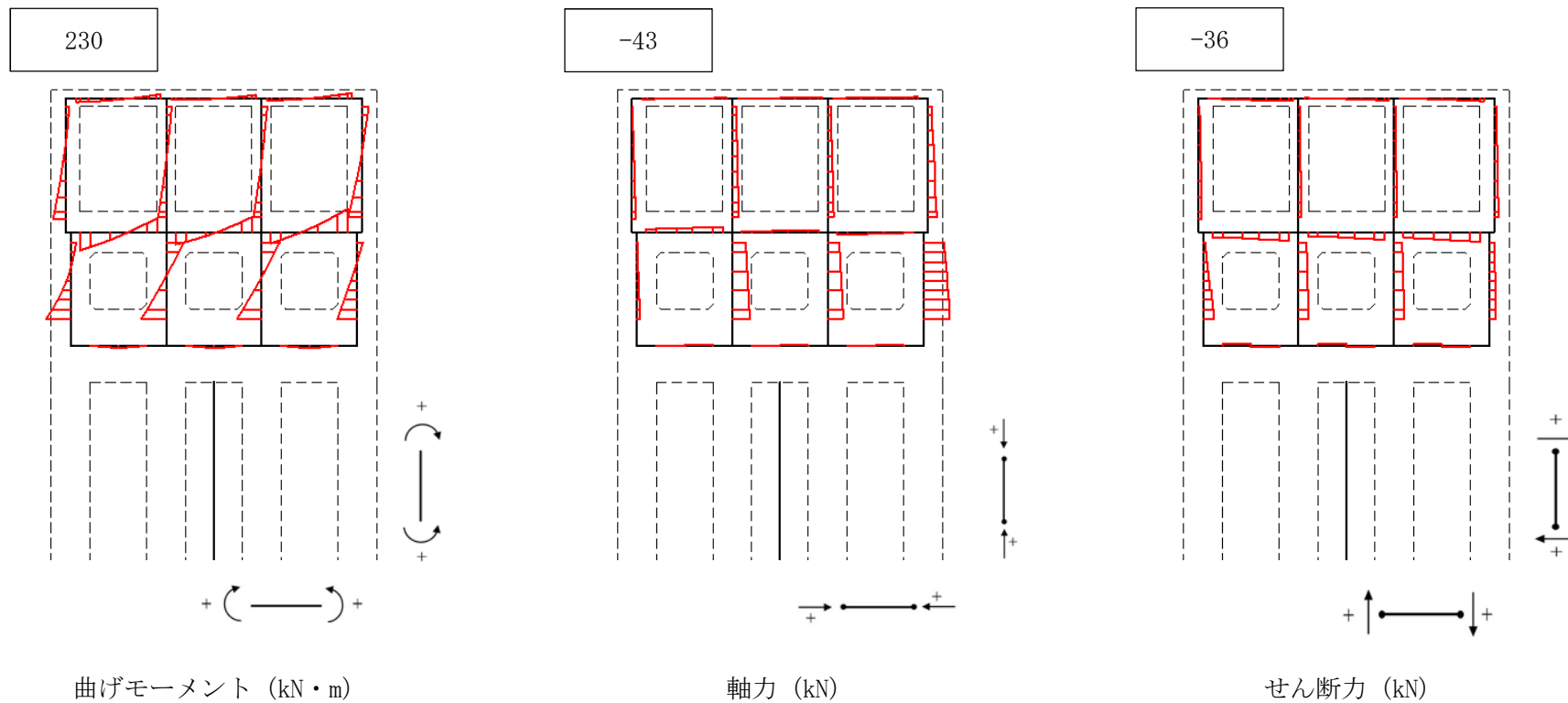
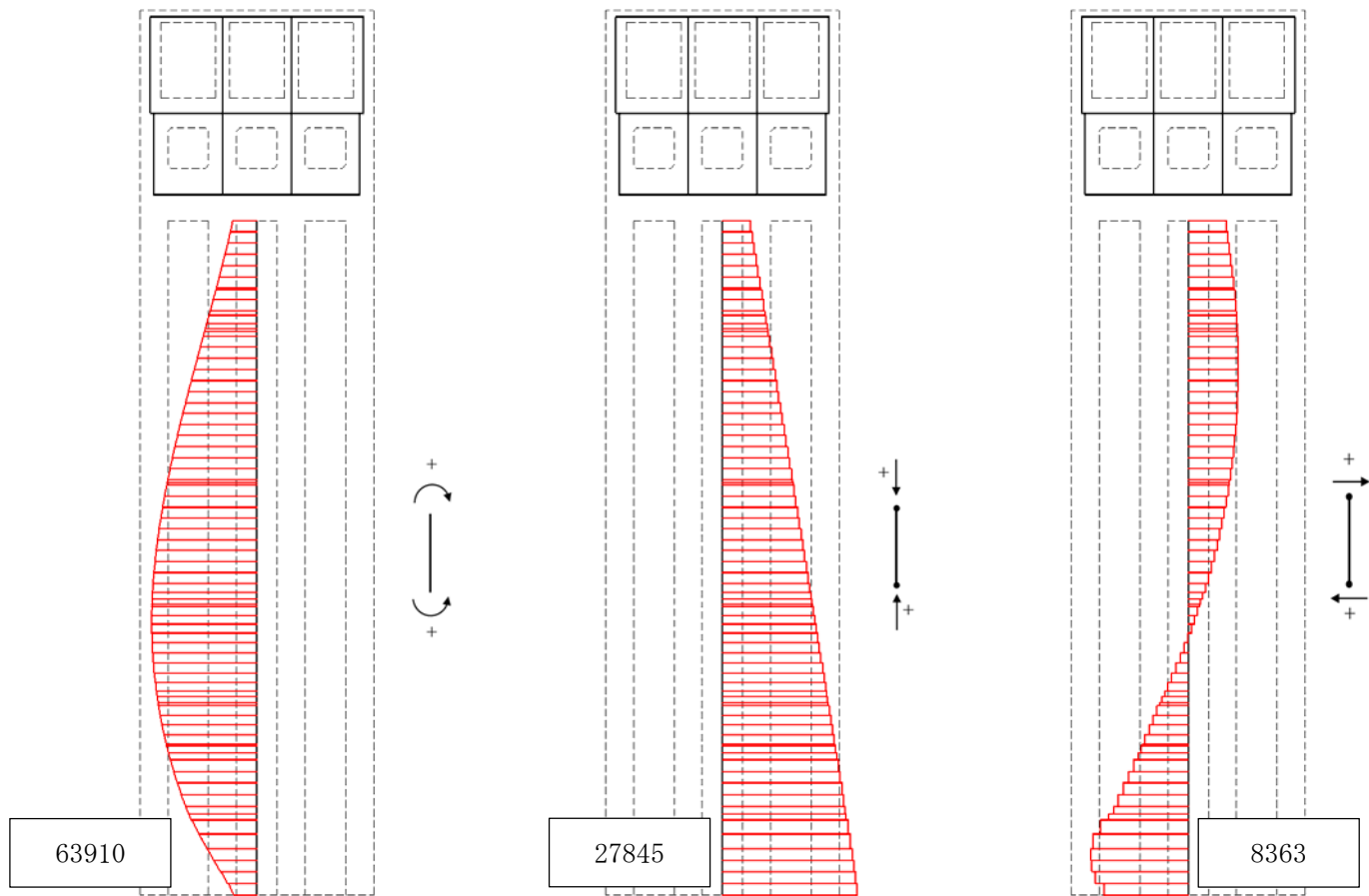


図 5.1-10 (23) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (上部構造) の $S_s - 3 1$ [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t = 8.44$ s)



曲げモーメント (kN・m)

軸力 (kN)

せん断力 (kN)

図 5.1-10 (24) 防潮壁縦断方向 (放水路ゲート部) (下部構造) の S_s-31 [H-, V+] において最も厳しい照査値となる時刻の断面力 ($t=8.48$ s)

5.1.3 最大せん断ひずみ分布

各要素に発生した最大せん断ひずみを確認するため、地震応答解析の全時刻における最大せん断ひずみの分布を図 5.1-11～図 5.1-13 に示す。



図 5.1-11 (1) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: S_s-D1 [H+, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (2) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: S_s-D1 [H+, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (3) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H+, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
解析モデル全体を示す図

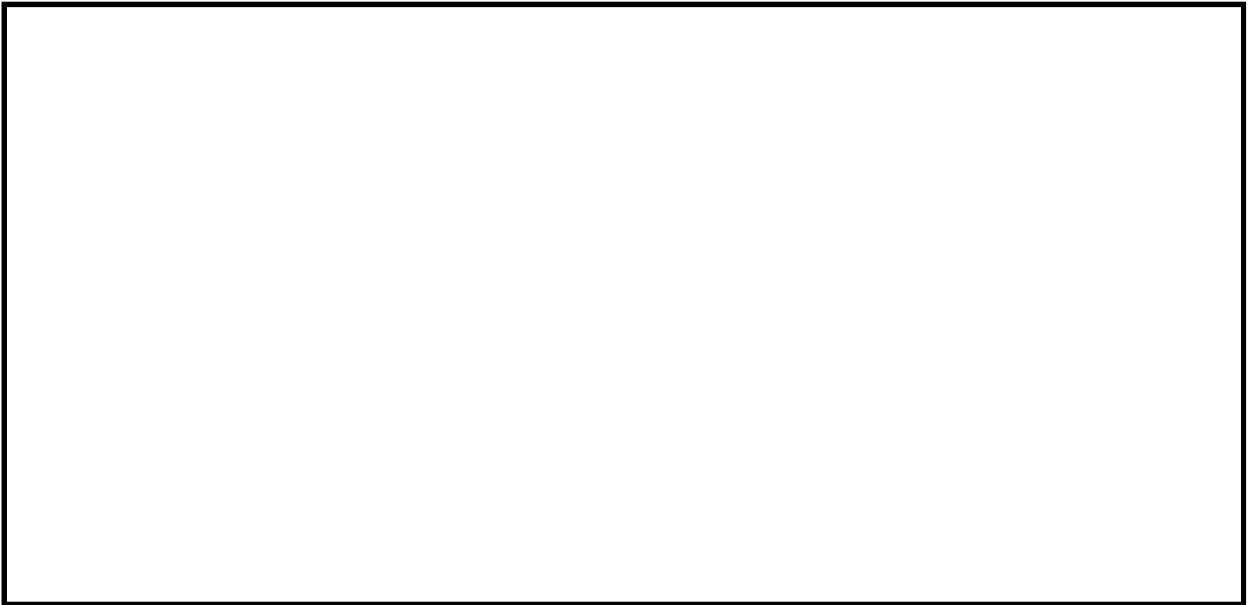


図 5.1-11 (4) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H+, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (5) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - D1$ [H-, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

解析モデル全体を示す図

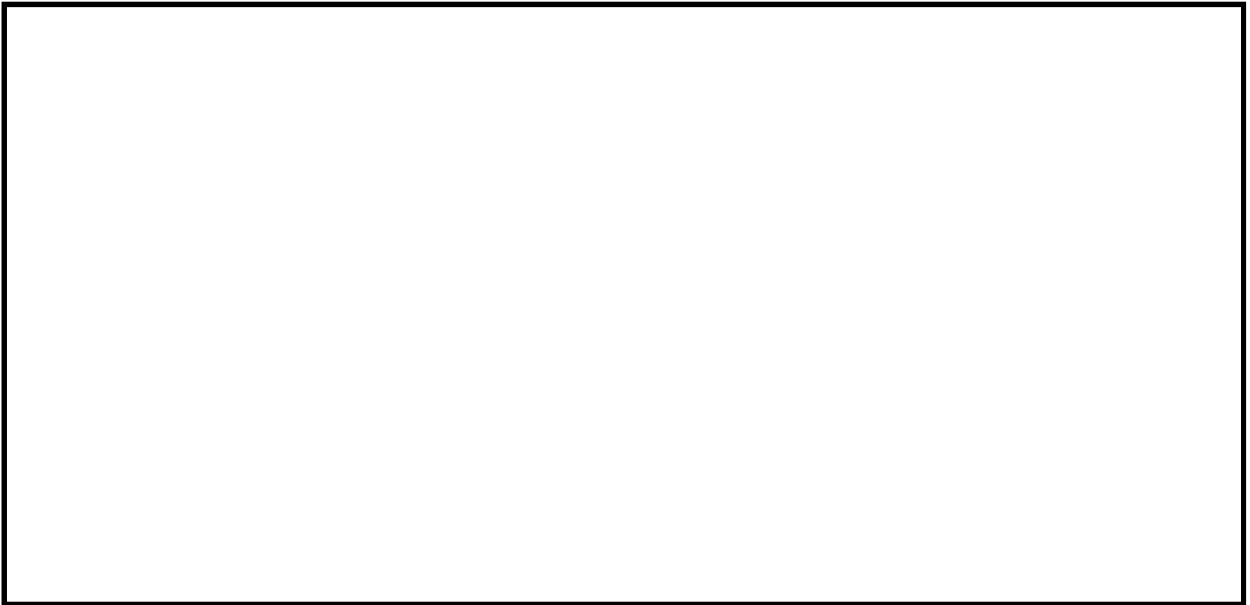


図 5.1-11 (6) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - D1$ [H-, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (7) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H-, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (8) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H-, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (9) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 1.1$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図

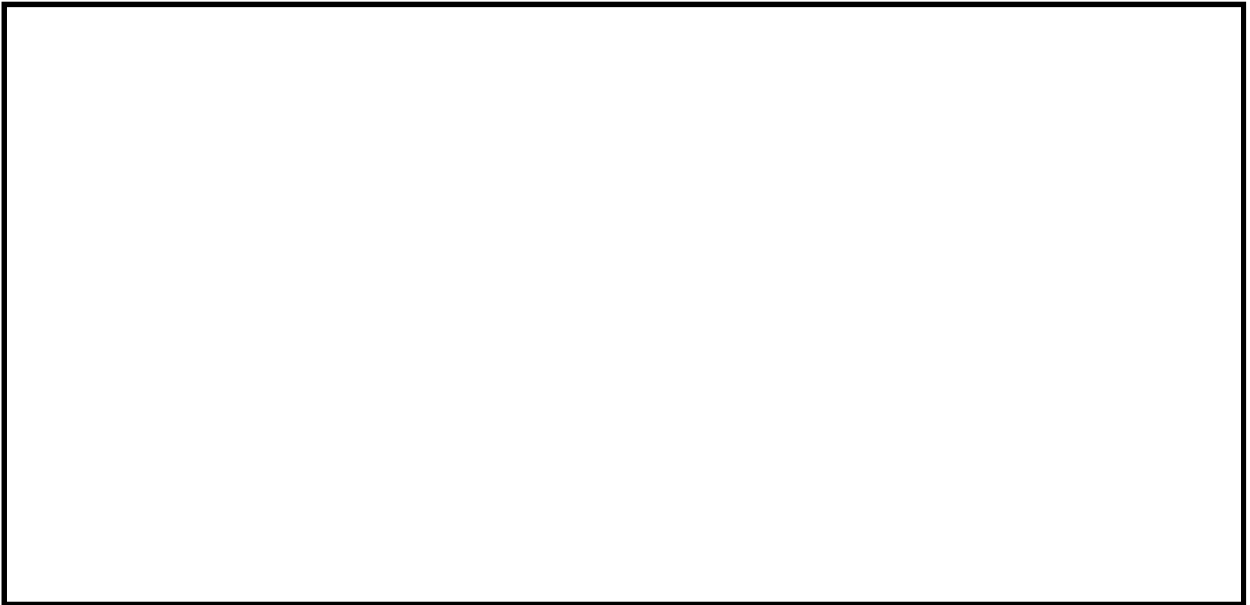


図 5.1-11 (10) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 1.1$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図

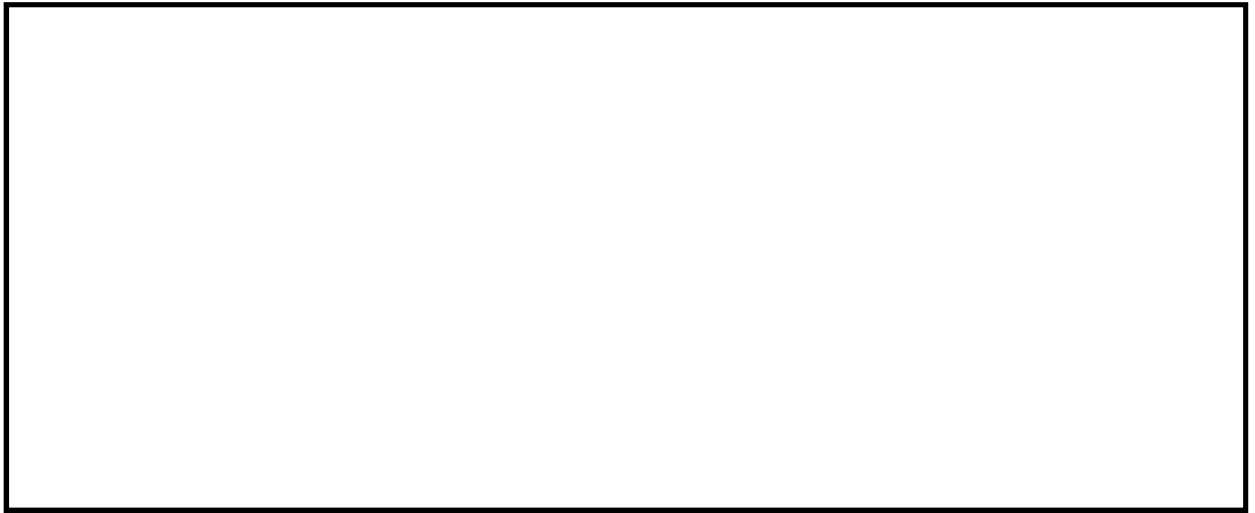


図 5.1-11 (11) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 12$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (12) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 12$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (13) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 13$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (14) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 13$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図

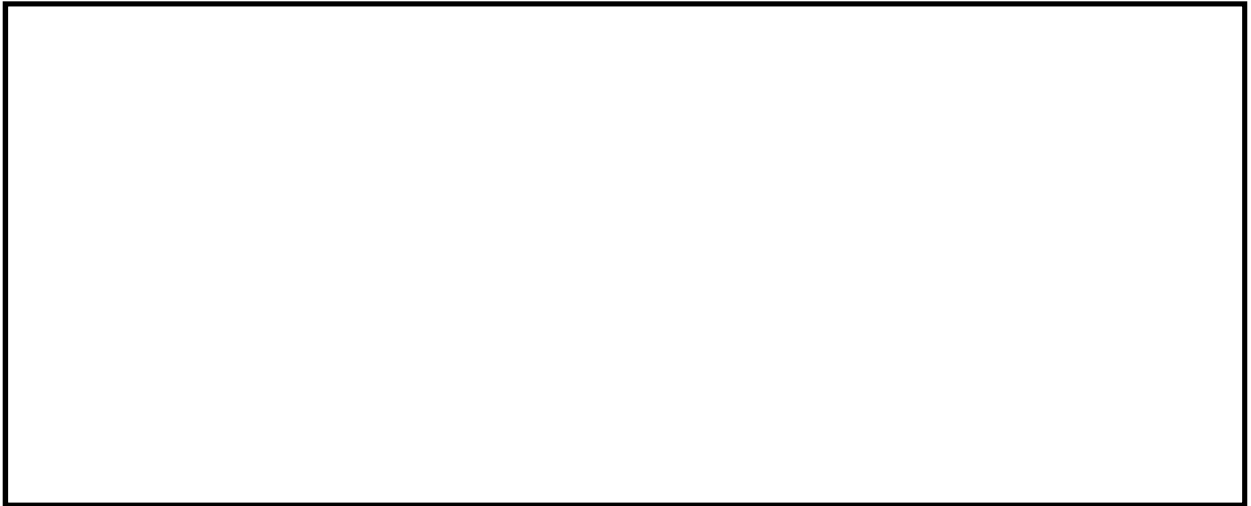


図 5.1-11 (15) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 1.4$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図

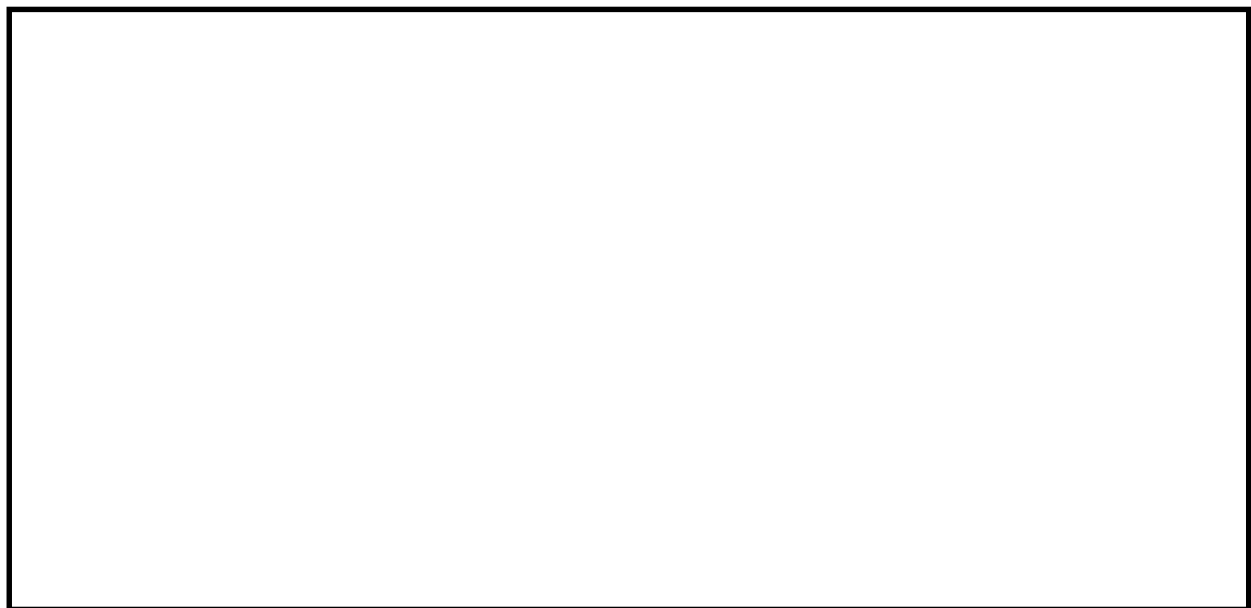


図 5.1-11 (16) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 1.4$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (17) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 21$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図

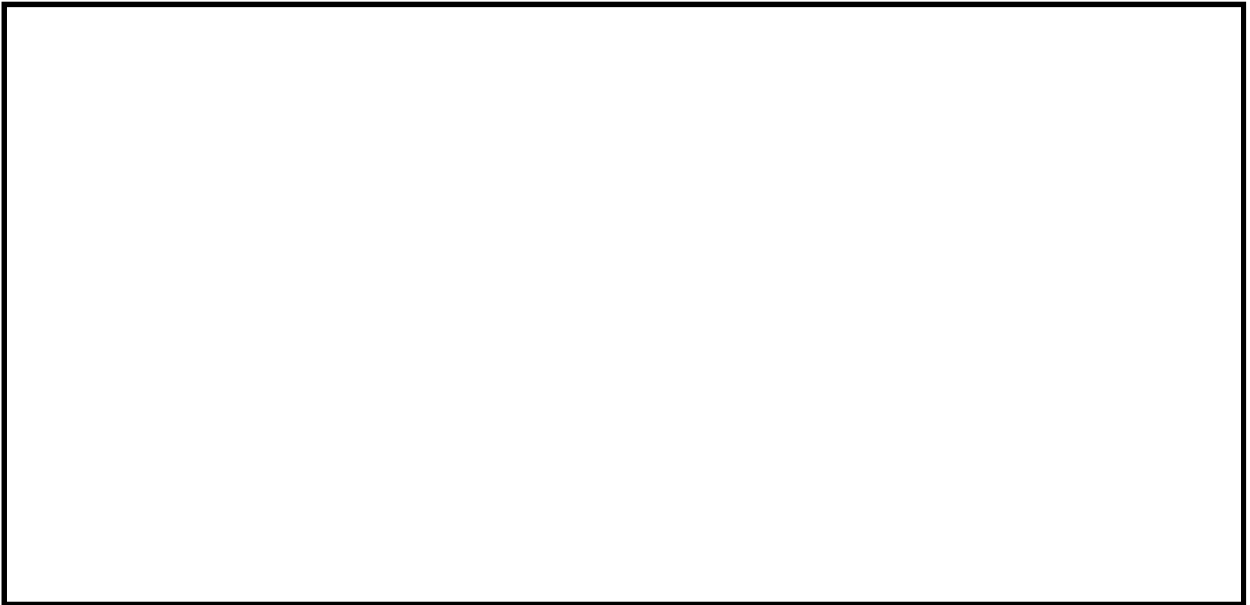


図 5.1-11 (18) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 21$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (19) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 22$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (20) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波 : $S_s - 22$,

検討ケース① : 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図

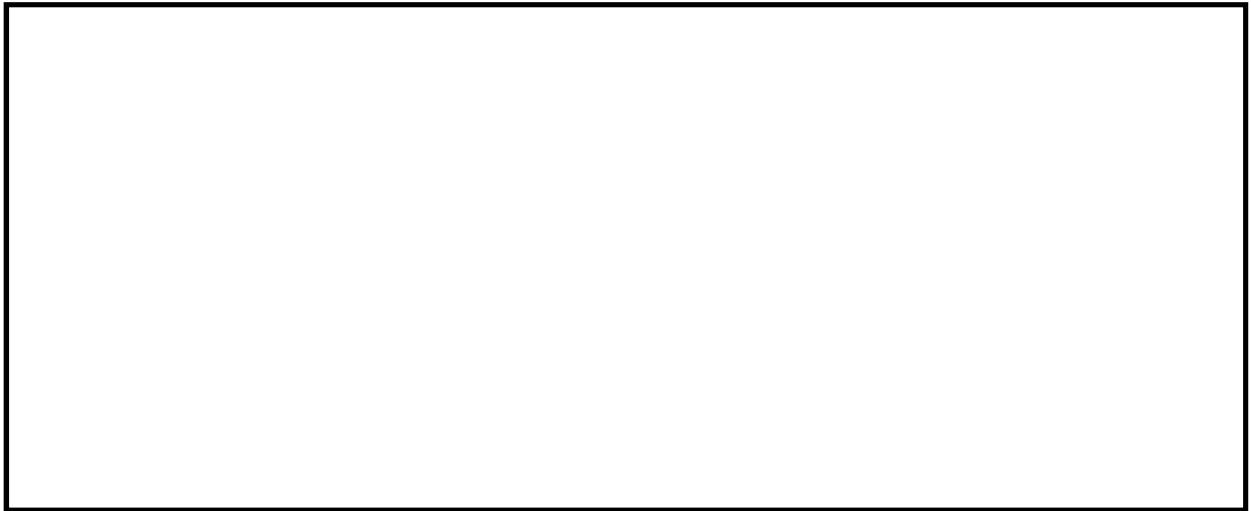


図 5.1-11 (21) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 31$ [H+, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

解析モデル全体を示す図

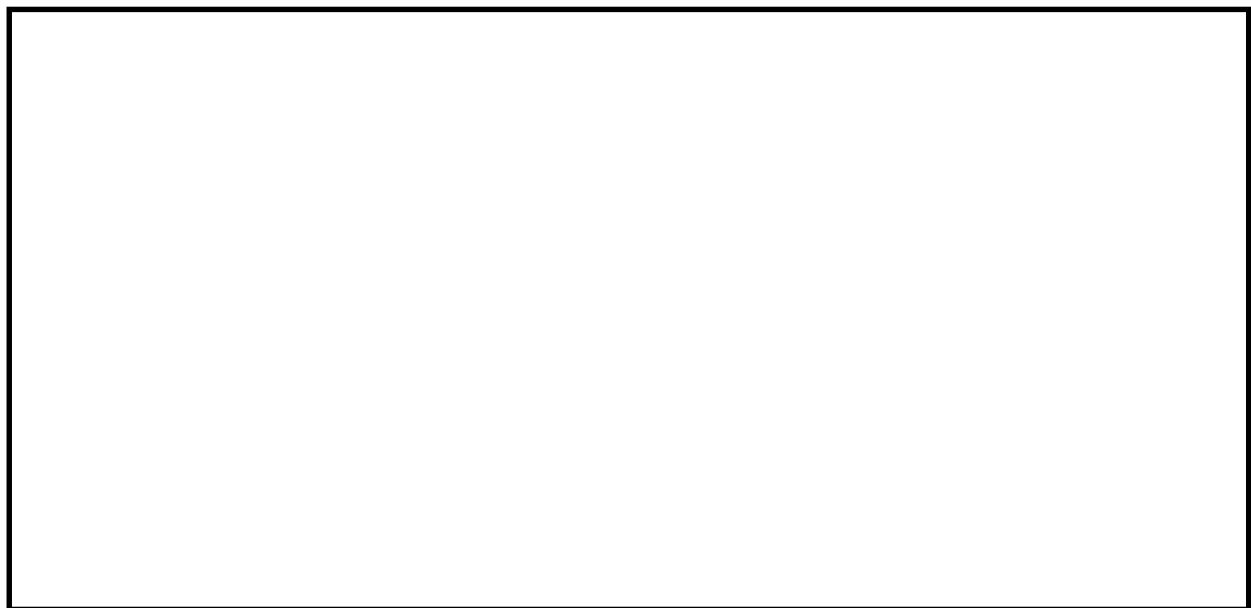


図 5.1-11 (22) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 31$ [H+, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (23) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 3.1$ [H-, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (24) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - 3.1$ [H-, V+],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (25) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース②: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) した解析ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (26) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース②: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図

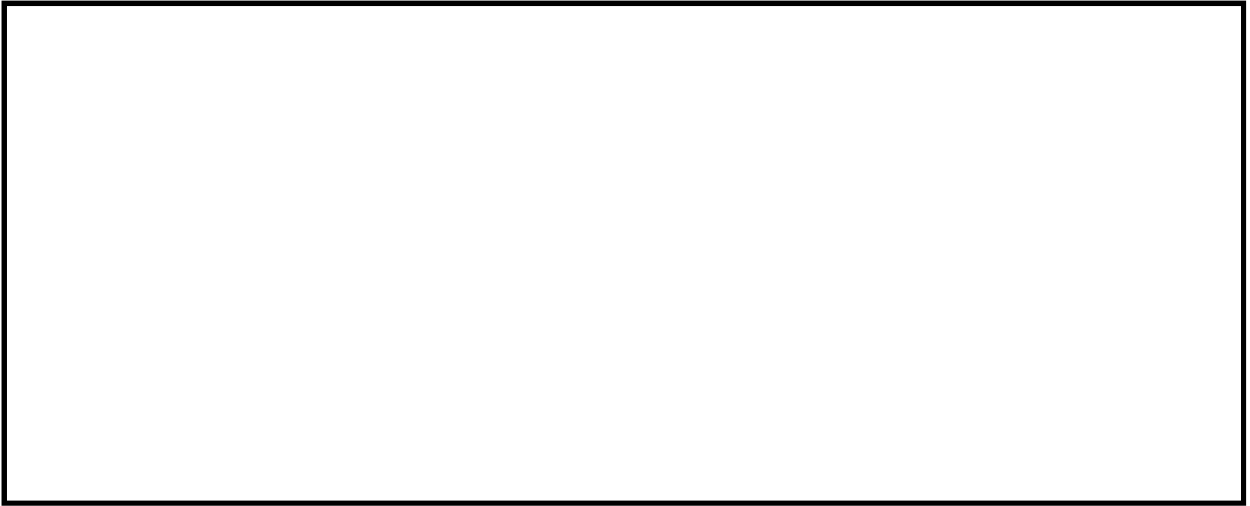


図 5.1-11 (27) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース③: 地盤物性のばらつきを考慮 (-1σ) した解析ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (28) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース③: 地盤物性のばらつきを考慮 (-1σ) した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (29) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H+, V-], 検討ケース④: 敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース)
解析モデル全体を示す図

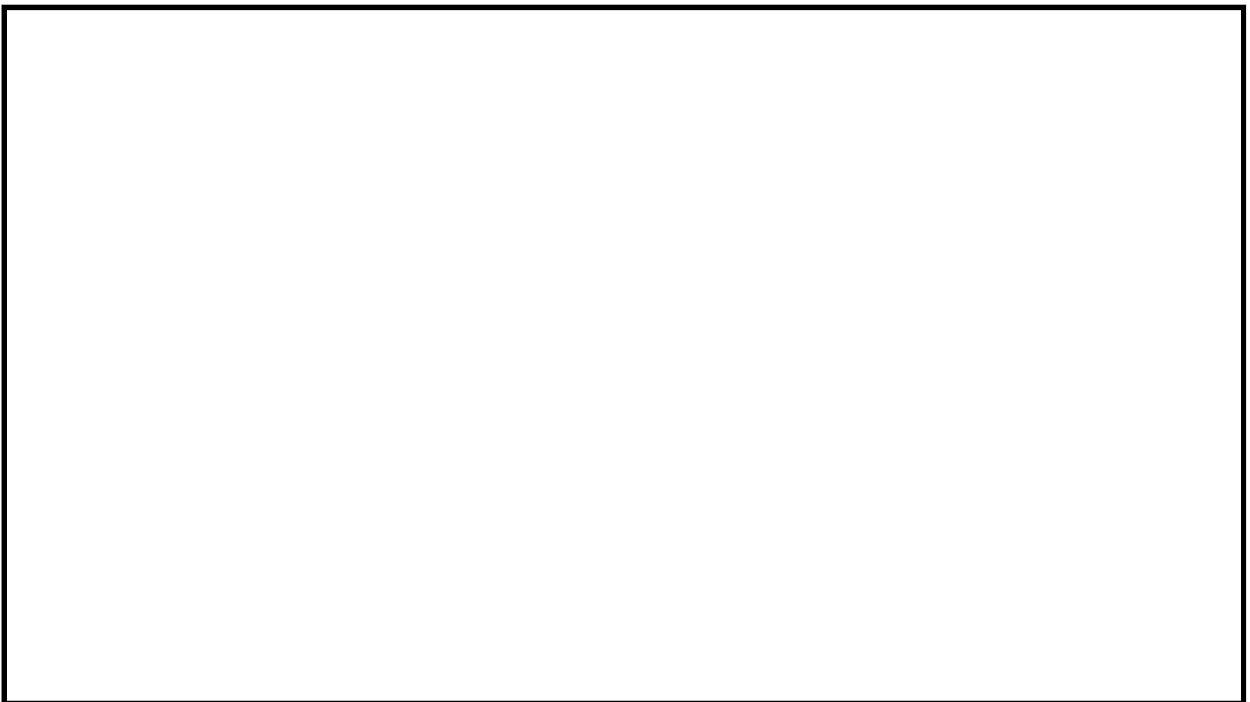


図 5.1-11 (30) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: S_s-D1 [H+, V-], 検討ケース④: 敷地に存在しない豊浦標準砂の
液状化強度特性により地盤を強制的に液状化させることを仮定した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (31) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース⑤: 原地盤において非液状化の条件を仮定した解析ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (32) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース⑤: 原地盤において非液状化の条件を仮定した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-11 (33) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],

検討ケース⑥: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) して非液状化の条件を仮定した解析ケース)

解析モデル全体を示す図



図 5.1-11 (34) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁横断方向)

(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],

検討ケース⑥: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) して非液状化の条件を仮定した解析ケース)

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (1) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (2) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (3) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (4) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (5) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H-, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (6) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H-, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
構造物周辺に着目した拡大図

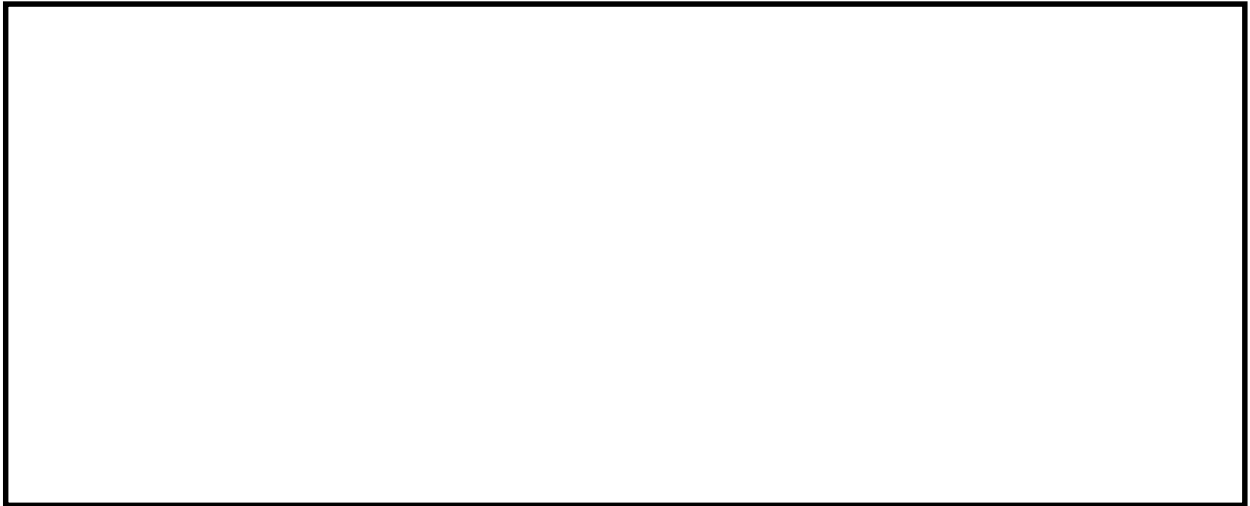


図 5.1-12 (7) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: S_s-D1 [H-, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
解析モデル全体を示す図

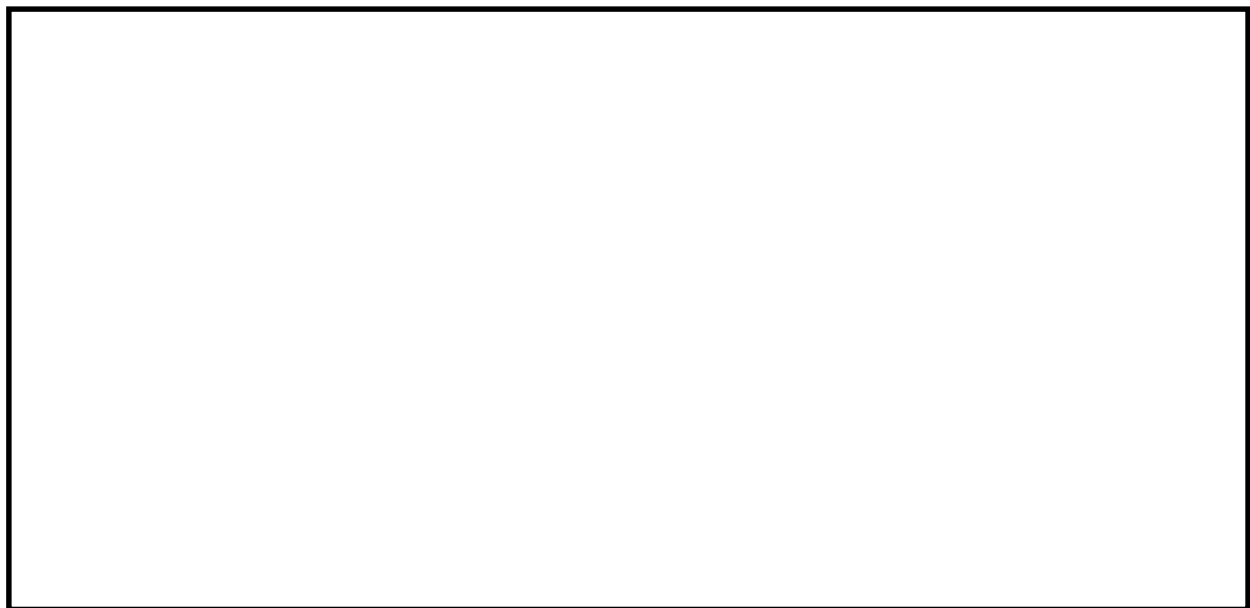


図 5.1-12 (8) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: S_s-D1 [H-, V-],
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))
構造物周辺に着目した拡大図

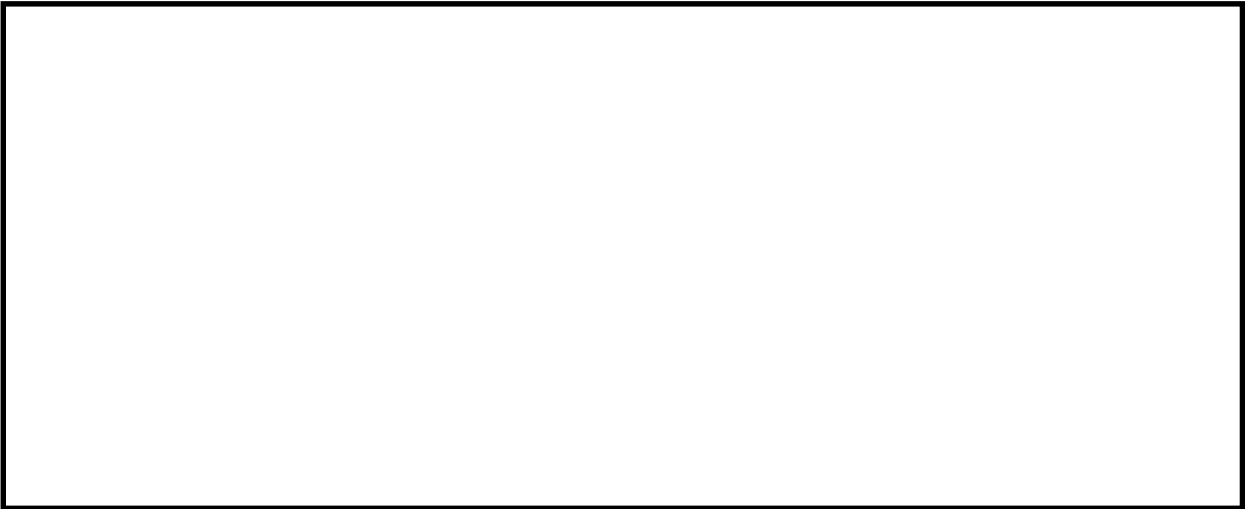


図 5.1-12 (9) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.1$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (10) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.1$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (11) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.2$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (12) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.2$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図

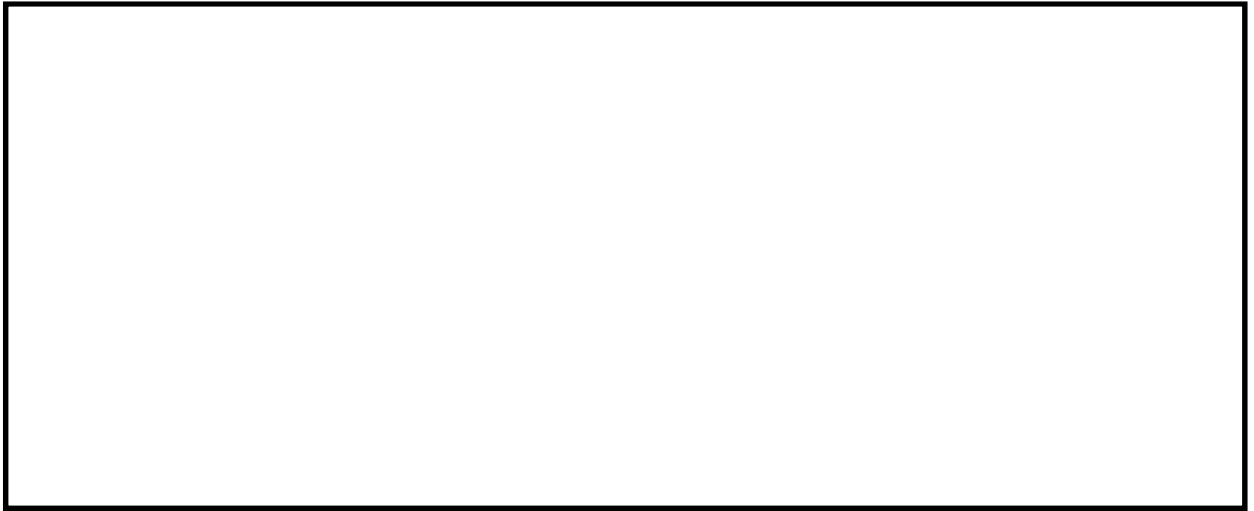


図 5.1-12 (13) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.3$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (14) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.3$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (15) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.4$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (16) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 1.4$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (17) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 21$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (18) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 21$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (19) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 22$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

解析モデル全体を示す図

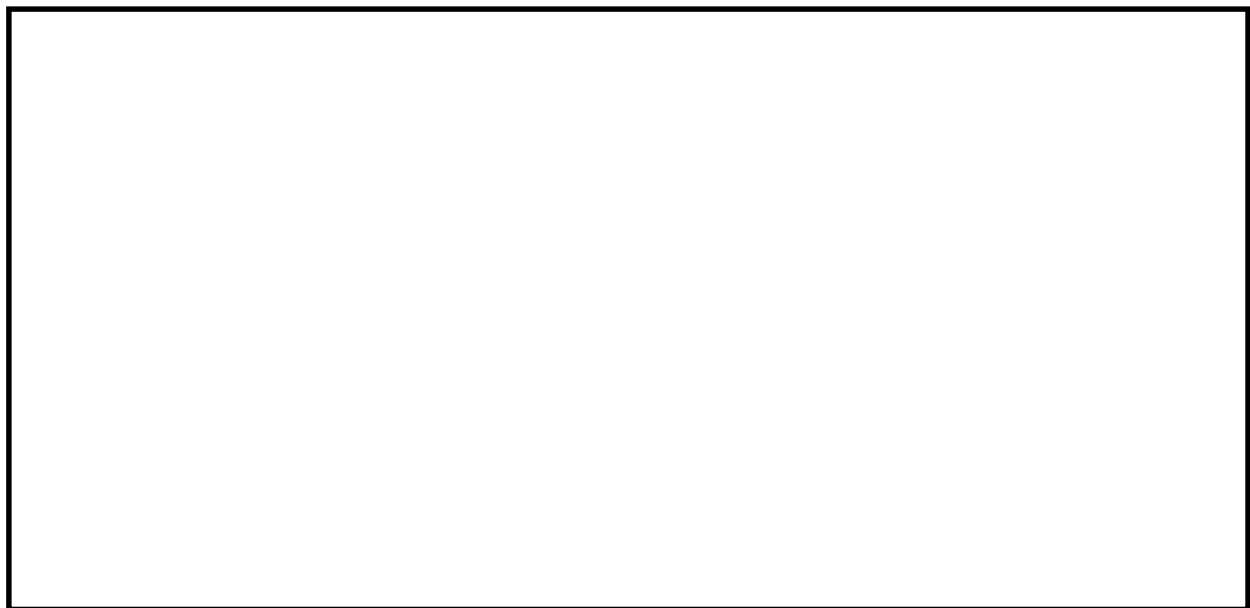


図 5.1-12 (20) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))

(地震波: $S_s - 22$,

検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース))

構造物周辺に着目した拡大図

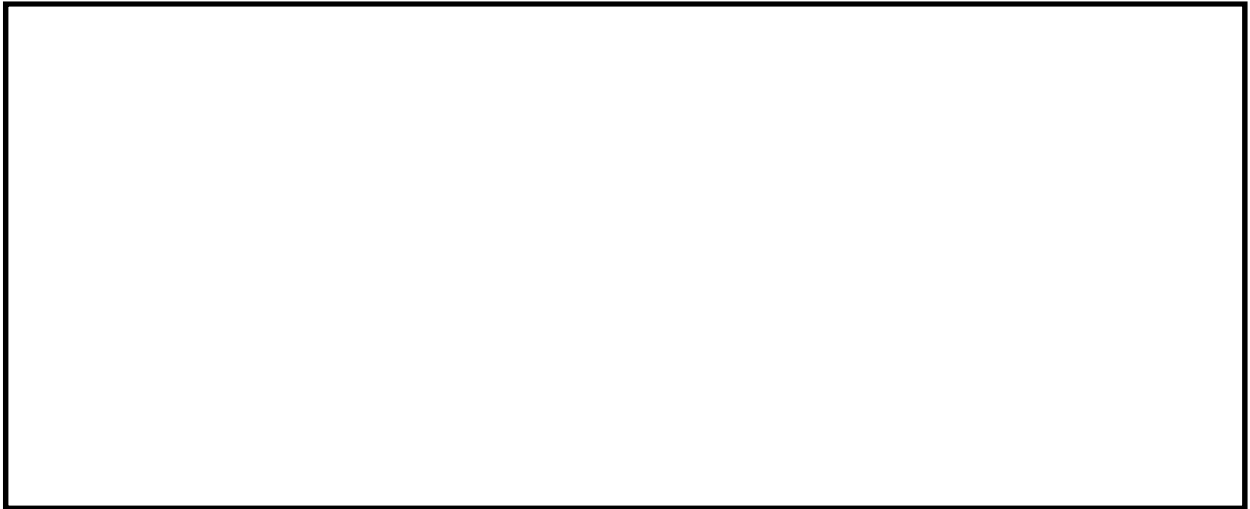


図 5.1-12 (21) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - 31$ [H+, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
解析モデル全体を示す図

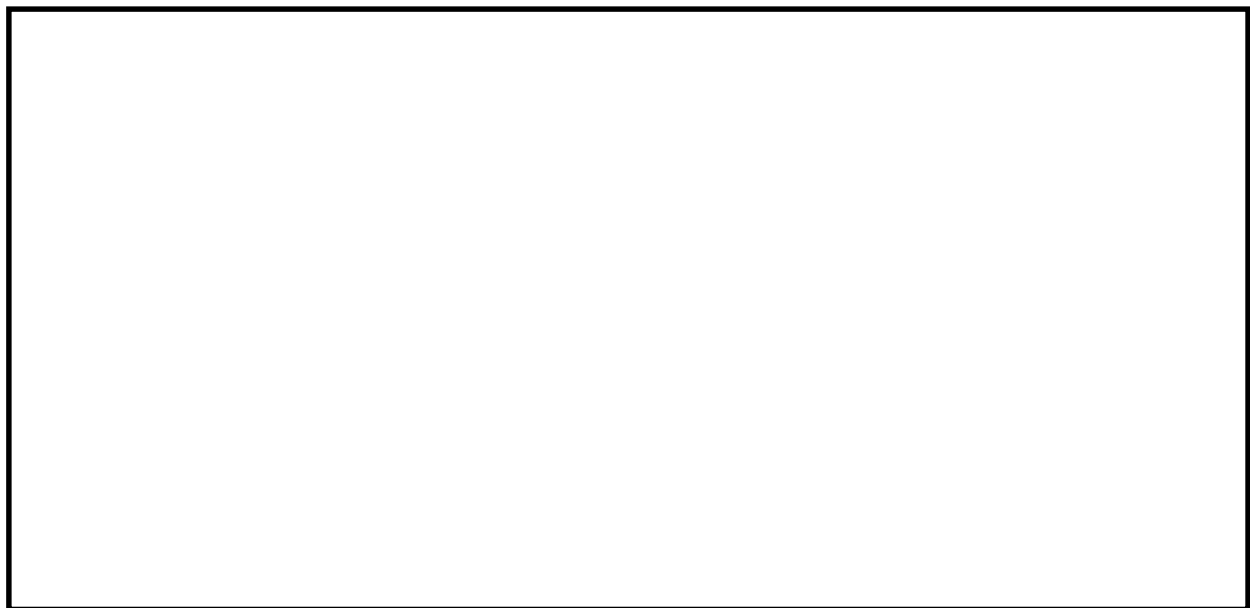


図 5.1-12 (22) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - 31$ [H-, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (23) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - 3.1$ [H-, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (24) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - 3.1$ [H-, V+]),
検討ケース①: 原地盤に基づく液状化強度特性を用いた解析ケース (基本ケース)
構造物周辺に着目した拡大図



図 5.1-12 (25) 最大せん断ひずみ分布 (縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース②: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) した解析ケース)
解析モデル全体を示す図



図 5.1-12 (26) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース②: 地盤物性のばらつきを考慮 (+1 σ) した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図

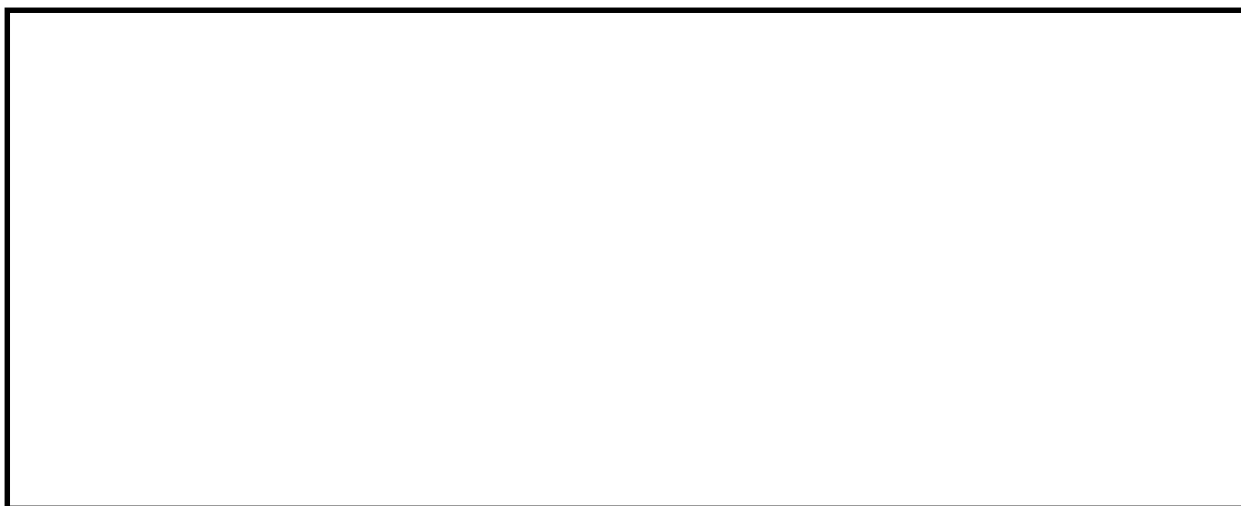


図 5.1-12 (27) 最大せん断ひずみ分布 (縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース③: 地盤物性のばらつきを考慮 (-1σ) した解析ケース)
解析モデル全体を示す図

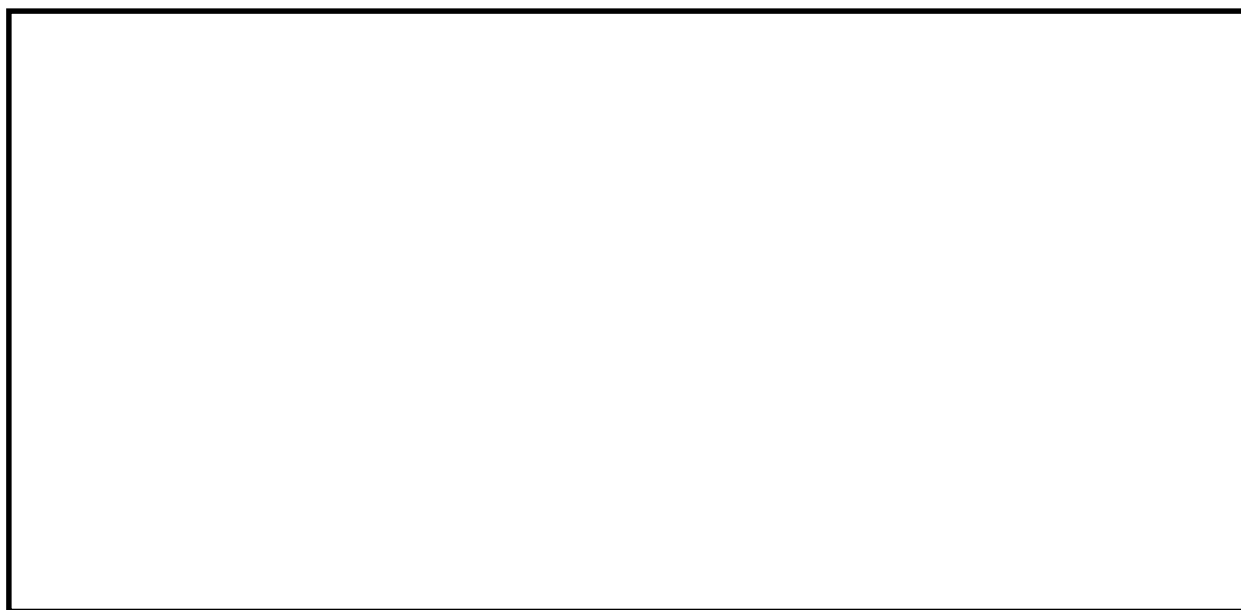


図 5.1-12 (28) 最大せん断ひずみ分布 (防潮壁縦断方向 (防潮壁部))
(地震波: $S_s - D1$ [H+, V-],
検討ケース③: 地盤物性のばらつきを考慮 (-1σ) した解析ケース)
構造物周辺に着目した拡大図